

令和6年度第2回市川市市民活動団体事業補助金審査会 次第

日時：令和7年3月19日（水）午後1時30分から

場所：市川市役所 第1庁舎 2階 市民活動支援センター（ミーティングスペース）

次 第

1. 議 題

- （1）令和7年度市川市市民活動団体事業補助金交付申請の審査
- （2）令和6年度市川市市民活動団体事業補助金実績報告の審査
- （3）その他

2. 配布資料

- 資料1：申請書類一式
- 資料2：団体別審査表
- 資料3：質疑に対する回答の一覧表
- 資料4：投票シート

審査会の進め方について

資料A

1. 事務局により確認済みである継続事業（39団体）の交付可否一括決議

2. 特に審査が必要と認める事業（8団体）の交付可否個別決議（タイムスケジュールは下記参照）

（1）事前質疑への回答を受けたご意見交換（8団体）

（2）投票および交付可否の審議

添付資料4「投票シート」の項目毎に評価を行い、最終評価を記入してください。

最終評価は、「1 交付する」、「2 条件付きで交付する」、「3 交付しない」の中で、あてはまるものに○をして下さい。また、その理由をご記入ください。

【タイムスケジュール】

① 事前質疑への回答を受けた意見交換 ② 交付可否決定の審査 ③ 投票

14:00～15:10 (予定)	1回目申請団体	121	特定非営利活動法人LIBERTY BELL
		122	鬼まち一家
		123	手児奈太鼓保存会
		124	市川ごたまぜ実行委員会
		125	市川民話の会
		126	特定非営利活動法人みんなのサンタ
15:10～15:40 (予定)	4回目申請団体	111	市川わんぱく広場実行委員会
		113	特定非営利活動法人M&M Table

(投票用紙記入、集計、発表含む)

審査結果は、後日、文書により団体に通知する予定です。

3. 令和6年度実績報告について（事務局より連絡）

以上

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

令和7年1月14日

市川市長

団体 特定非営利活動法人 LIBERTY BELL

代表者名

所在地

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象事業の名称

医療・福祉講演会

2 補助対象事業の概要

(補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。別紙添付可。)

補助対象事業の目的は市川市民を対象に、医療・福祉講演会を行う事により、自分や家族、友人に至るまで、健康・福祉について知る事を促進することを目的とする。医療面では現在名古屋医師を招聘し講演会の予定をしております。老後の生活の仕方や、老人福祉施設について、介護保険などについても題目を考えており、社会資源をうまく使うことにより、老後を楽しく不安なく、健康寿命を延ばし、過ごせていける事を目的としております。

また、高齢化社会において、救急問題もあります。厚生労働省のガイドラインにより、人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスを知ることにより、アドバンス・ケア・プランニング(ACP) 急変時の本人の意思の尊重や、家族の心構えなど、ACPについても学べるような講演会にしていくことを目的とします。

講演会での効果についてですが、参加していただいた方々に、講演会の資料(パワーポイントの資料・緊急時に必要な病院受診ファイル(仮名称)などを配布し、参加できなかった方々にも読んでいただける工夫をし、幅広く知り、学んで頂く事を目的とする。

現在講演会については年間4回から6回を予定しています。

3 申請に係る補助対象事業の申請回数

(該当する回数に○を付けてください。) 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額 260,000 円

5 補助対象経費総額 242,000 円

6 交付申請額 121,000 円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書(様式第2号)
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書(様式第3号)
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書(様式第4号)
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類

1 団体の概要

団 体 名	特定非営利活動法人 LIBERTY BELL		
代 表 者 氏 名			
主たる事務所の所在地			
その他事務所の所在地			
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<input checked="" type="checkbox"/> 1 保健、医療又は福祉の増進 <input type="checkbox"/> 2 社会教育の推進 <input type="checkbox"/> 3 まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 4 観光の振興 <input type="checkbox"/> 5 農業又は水産業の振興 <input type="checkbox"/> 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 7 環境の保全 <input type="checkbox"/> 8 災害救援活動 <input type="checkbox"/> 9 地域の安全の確保 <input type="checkbox"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 11 国際協力 <input type="checkbox"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="checkbox"/> 13 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 14 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 15 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 16 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 <input type="checkbox"/> 18 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 <input type="checkbox"/> 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野		
設 立 年 月 日	令和5年8月8日	会 員 数	10名(令和7年1 月現在)
ホ ー ム ペ ー ジ	https://npolibertybell.com	E - m a i l	stayfreelibertybell@gmail.com
会報等の発行	有 (回 発行) ・ (無)		
団体の活動目的	市民の皆様に対し、医療・福祉の啓発活動や、手助けが必要な方々に対しての援助を目的とする		
団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	(注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動(不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。)」のことが定められていますか。(はい) ・ いいえ)		

役員名簿

(法人名称) 特定非営利活動法人 LIBERTY BELL

役名	ふりがな 氏名	住所又は居所	報酬の有無
理事長			有
副理事長			無
副理事長			無
理事			無
理事			無
監事			無

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	医療・福祉講演会																																								
補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)	<table border="1"> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進	<input type="checkbox"/>	2 社会教育の推進	<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進	<input type="checkbox"/>	4 観光の振興	<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興	<input type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	<input type="checkbox"/>	7 環境の保全	<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動	<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保	<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進	<input type="checkbox"/>	11 国際協力	<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進	<input type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成	<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展	<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興	<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化	<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護	<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
<input checked="" type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進																																								
<input type="checkbox"/>	2 社会教育の推進																																								
<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進																																								
<input type="checkbox"/>	4 観光の振興																																								
<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興																																								
<input type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																								
<input type="checkbox"/>	7 環境の保全																																								
<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動																																								
<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保																																								
<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進																																								
<input type="checkbox"/>	11 国際協力																																								
<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進																																								
<input type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成																																								
<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展																																								
<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興																																								
<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化																																								
<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護																																								
<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																								
解決したい地域課 題は何ですか	<p>医療・福祉の講演会を行う事により、正しい知識の取得、予防・社会資源の使用方法などを啓発していく事により健康寿命を延ばし、老後の不安などを解消できるように多くの市民に講演に参加していただきたい。</p> <p>医療講演会では、警察署・消防などとも連携を取り、警察署では犯罪の注意喚起・対策、消防では正しい救急車・救急対応などパンフレットを参加者に配布することにより、市民の健康・安全・救急車の適正利用などの啓発活動も行える。</p>																																								
地域課題により困 っている人は誰で すか	市川市民高齢者・またその家族。消防署での救急車の適正出動																																								
事業を行う目的は 何ですか	<p>医療・福祉の講演会を聞き、学ぶことにより、緊急時の対応力、家族のサポート体制の構築を促すことを目的とする。</p> <p>講演会を通じ家族との今後の話を設けるにあたり、老後の過ごし方や、家族とのかかわりをもう一度考えることにより、適切な社会資源を使用することができる</p> <p>消防車の適正利用を学ぶことにより、病院・救急隊への負担を減らすことができる。</p> <p>医療・福祉講演会では題目に対しての予防や対処法であったりだけではなく、大きな枠組み（救急車の呼び方・老人福祉施設の選び方の注意点など）様々な方向から問題提起し、市民がその事案に遭遇した時に対応できる、知識を提供できることを目的としています。</p>																																								

資料1-1

<p>事業の実施方法 (該当するものに○、例示以外は具体的に記載)</p>	<p>講演会 セミナー 講座 研修会 ワークショップ 交流会 大会開催 発表会 コンサート 訓練・養成 体験学習 フェスティバル 保全活動</p> <p>その他：</p>			
<p>事業の主体 (該当するものに○)</p>	<p>当該団体 / 市の他課 / 他の団体 / その他 ()</p> <p>上記に関する補足</p>			
<p>改善状況</p>	<p>審査会からの指摘事項 (以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること)</p> <table border="1" data-bbox="421 568 708 797"> <tr> <td>指摘なし</td> <td>指摘あり</td> <td>改善策</td> </tr> </table>	指摘なし	指摘あり	改善策
指摘なし	指摘あり	改善策		
<p>事業内容</p>	<p>事業の<u>対象者</u>は誰ですか</p> <p>市川市民 (参加想定人数 80人から100人)</p>			
	<p>事業は<u>いつ</u>行いますか</p> <p>年4回から6回を実施予定</p>			
	<p>事業は<u>どこ</u>で行いますか</p> <p>宮久保自治会館・全日警ホール、市民活動センター、八幡市民交流館、柏井公民館等</p>			
	<p>事業を<u>どのよう</u>に行いますか (事業の内容を具体的に記載してください。)</p> <p>医療・福祉に対する、知識が不足している市民に対し、講演を行い知識向上の講演を行う。 全6講演会を予定しており、宣伝広告は主にチラシ(2000部配布予定)を利用し、地域の居宅支援センターにも協力していただき、出来るだけ多くの市民に参加していただけるよう、宣伝告知していきたいと思っております。 年4回から6回 市川市内の公民館・自治会館・ホールを使用し医療・福祉にまつわる題目の資料を作成し、プロジェクターを使用し、大きな画面でのわかりやすい講演会を行います。 講演会后自宅に帰ってからわかるように、講演会での発表用資料の配布も検討しております。 約1時間から1時間30分程度の講演になります。 その他個別に医療・福祉の相談会を実施し個別にお応えできるようにします。 また、講演会を行う前に、警察署からのオレオレ詐欺やサポート詐欺等々チラシや警察と協力し注意喚起をして頂く事も考えております。 令和6年度の講演会では警察署・消防署よりチラシを頂き、配布・説明なども行いました。</p>			

	外部講師等への依頼はあります ますか	なし / あり (参加する市民の人数 50~100 人)
準備スケジュール (別紙添付可)	(時期)	(やること) 詳細は別紙参照 (担当人数)
	4月	年末12月頃に行う医療・福祉講演会(第5回目)講師となる医師に題目などの打ち合わせ 5名
	5月	年間スケジュール(講演会回数・場所)の決定 警察署・消防署打ち合わせチラシ・パンフレットなど 2名 第1回目医療・福祉講演会(場所未定)題目「熱中症予防について」 3名
	6月	第2回目医療・福祉講演会(場所未定)題目「熱中症予防について」 3名
	7月	第5回目医療・福祉講演会題目決定医師との打ち合わせ 1名
	8月	第3回目医療・福祉講演会(場所未定)題目未定 3名
	9月	
	10月	第4回目医療・福祉講演会(場所未定)題目未定 3名
	11月	第5回目医療・福祉講演会最終打ち合わせ 1名
	12月	第5回目医療・福祉講演会(全日警ホール 予定) 5名
	1月	第6回目医療・福祉講演会(場所未定)題目未定 3名
	広報の計画 及び方法	<p>※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。</p> <p>1 広報の計画(別紙添付可) 年間を通じ講演活動を行う事により、参加者の口コミやチラシ配布の宣伝効果が期待できる。また年末に予定している、講師との打ち合わせを早い段階で決定事項にし、早期の段階でチラシ・ホームページによる告知、他の媒体を使って、目標人数(50人)に達するようにする</p> <p>2 広報の方法</p>

	<p><input checked="" type="checkbox"/> インターネットを活用した情報発信 (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、 ツイッター等)</p> <p><input type="checkbox"/> フリーペーパーへの掲載</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広報いちかわ(市民の広場)に掲載 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>
--	--

様式第3号 準備スケジュール 別紙

年間を通じ4～6回の医療・福祉講演会を開催予定

6回開催	4回開催
第1回目 5月	
第2回目 6月	第1回
第3回目 8月	
第4回目 10月	第2回
第5回目 12月	第3回
第6回目 2月	第4回

上記が開催予定となり、都合により4回になる場合にはとなる予定です。

第5回目年末の開催には名古屋医師による医療・福祉講演会を予定しており、

50名～100名の参加者を得られるように、早い段階よりチラシの製作（合計4000枚）を検討しております。

自治会館や、市民活動センター、公民館の利用時には約1か月前からのチラシの配布（2000部）また、地域の商店・居宅介護支援センターなどに協力をお願いしたいと考えております。

警察署・消防署などとも連携を図り、早期の段階よりチラシを頂き、打ち合わせなども行います。

参加者の皆様には、現在の状況が本人・医療従事者・家族が一目でわかるファイルの資料の配布も行います。（参考ファイル添付致します。）

資料1-1

様式第4号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収入】 (単位：円)

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	0	
寄附金収入	0	
補助金収入	121,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	139,000	団体の本会計より充当
合計	260,000	

2 【支出】 (単位：円)

項目	金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	50,000	50,000	年末講演者（医師）に対する報償費
交通費	23,000	23,000	荷物車搬送及び従事者の交通費
消耗品費	107,500	107,500	○コピー用紙 @500円（500枚入り）×6冊＝3,000円 ○資料綴じ込みファイル @430円×150部＝64,500円 ○熱中症対策飲料 @150円×150人＝22,500円 ○コピー代 @5円×3000枚＝15,000円 ○クリアファイル @1,250円（100枚セット）×2＝2,500円
印刷製本費	70,000	52,000	講演会用宣伝チラシ ○第1・2・3・4・6回目 @11,300円×5回（各2000部）＝56,500円 ○第5回目 @13,500円×1回（4000部）＝13,500円 ※事業総額の20%分が補助対象
通信運搬費	0	0	
保険料	0		
使用料 及び賃借料	9,500	9,500	宮久保自治会館・全日警ホールなど
原材料費	0	0	
合計	260,000	242,000	

備考

- 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書（様式第11号）を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書（様式第12号）とともに領収書を添付する必要があります。

資料1-1

(その他市長が必要と認める書類)

令和6年度の事業報告

団体名称

1. 事業の成果

令和5年8月に法人としての活動を始め、6年度は認知度アップのために市民活動を行った。NPO法人という認知度は市民には低く、なかなか信頼度・認知度アップにはつながらなかったが、医療・福祉講演、病院受診の付き添いや、医療・福祉の無料相談をすることにより、認知度・信頼度も成果が上がった。現在は全事業無料提供をしてきたが、来年度より有償事業に繋げることができる成果が上がったと思える。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
医療・福祉講演	講演活動	3月・6月・8月	宮久保自治会館	15名 人	20名 人 (20名 人)	0
病院受診の付き添い	病院受診時の付き添い事業	市川市内	市川市内	20 人	10 人 (10 人)	0
医療福祉相談	医療や福祉にまつわる相談事業	市川市内	市川市内	31 人	31 人 (31 人)	0
				人	人 (人)	
小計				51 人 (a)	41 人(b) (41 人)	0 (c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
役員会	年2回の定例会	4月・8月	事務所	10 人	8 人 (2 人)	0
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				10 人 (d)	8 人(e) (2 人)	0 (f)
合計				(a)+(d)=(g) 61	(b)+(e)=(h) 49	(c)+(f)=(i) 0

全活動に占める社会貢献活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a)/(g)	(b)/(h)	(c)/(i)
	84%	84%	#DIV/0!

(その他市長が必要と認める書類)

団体要件・事業要件に関する宣誓書

◆確認事項

団体要件	以下、該当する項目に <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 法令、条例等に違反する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない <input checked="" type="checkbox"/> 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない <input checked="" type="checkbox"/> その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下、該当する項目に <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 原則として市内において実施する <input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 参加者の50%以上は市川市民を予定している <input checked="" type="checkbox"/> 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としてない <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

令和7年 1月14日

団体名 特定非営利活動法人 LIBERTY BELL

代表者名

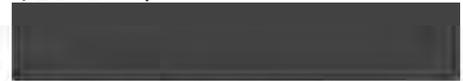
様式第1号(第5条関係)

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

2025年 1月 14日

市川市長

団体名 鬼まち一家
代表者名
所在地



市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

- 1 補助対象事業の名称 鬼まち一家「鬼まちマルシェ」
- 2 補助対象事業の概要
(補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。
別紙添付可。)

目的：地域活性化・コミュニティづくりにより、住民同士のつながりを深め、地域の安全・安心を向上させること。

地域住民の生活の質が向上し、地域で世代を超えた繋がりが持てること、地域経済の活性化が目標。親戚よりも身近な近所の人、昔からあるような皆が気軽に集まれる場所を目指している。

内容及び効果：当マルシェでは地域の特産物を活かしたり、季節に沿ったイベントやワークショップを開催することで、地域の文化や伝統を再認識することが出来たり、日本の特徴である四季を地域で感じる事が出来る。そして地域の伝統や知識が次世代に引き継がれ、地域のアイデンティティが強化される。

これらにより当マルシェは単に物販の場ではなく、地域コミュニティの場となる。さらに地域の学校や団体とも連携しているため、子どもたち～若者、親子、高齢者の方々まで幅広い世代での交流を楽しむことが出来る。

これらを通してコミュニティの分断や地域経済の停滞等の課題を解決できるよう活動している。

- 3 申請に係る補助対象事業の申請回数
(該当する回数に○を付けてください。) 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額 577,630 円

5 補助対象経費総額 385,630 円

6 交付申請額 192,815 円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書(様式第2号)
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書(様式第3号)
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書(様式第4号)
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書

様式第2号(第5条関係)

市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書

1 団体の概要

団 体 名	鬼まち一家		
代 表 者 氏 名	[REDACTED]		
主たる事務所の所在地	【 専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他 () 】		
その他事務所の所在地	なし		
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<input type="checkbox"/> 1 保健、医療又は福祉の増進 <input type="checkbox"/> 2 社会教育の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 3 まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 4 観光の振興 <input type="checkbox"/> 5 農業又は水産業の振興 <input type="checkbox"/> 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 7 環境の保全 <input type="checkbox"/> 8 災害救援活動 <input type="checkbox"/> 9 地域の安全の確保 <input type="checkbox"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 11 国際協力 <input type="checkbox"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="checkbox"/> 13 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 14 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 15 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 16 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 <input type="checkbox"/> 18 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 <input type="checkbox"/> 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野		
設 立 年 月 日	2023年7月22日	会 員 数	6名 (2025年1月現在)
ホームページ	設立中	E-mail	onimachi.marche@gmail.com
会報等の発行	有 (回 発行) ・ (無)		
団体の活動目的 団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	<p>・地域活性化・コミュニティづくりにより、住民同士のつながりを深め、地域の安全・安心を向上させること。</p> <p>・地域住民の生活の質が向上し、地域で世代を超えた繋がりが持てること、地域経済の活性化が目標。親戚よりも身近な近所の人、昔からあるような皆が気軽に集まれる場所を目指している。</p> <p>(注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動(不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。)」のことが定められていますか。(はい) ・ (いいえ)</p>		

主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流・地域経済の活性化のためマルシェを開催 ・子どもたちの居場所づくり（読み聞かせや子どもに特化したイベント） ・親子の憩いの場、コミュニティづくり
<p>これまでの主な活動実績</p> <p>団体の主たる取組を簡潔に記載してください。</p> <p>これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください（自由記載）。</p>	<p>(2023年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計5回の大小マルシェを開催。各200~400人程の来場者。 ・SNSの開設やチラシ作成の依頼等の広報に力を注ぐ。 ・最寄り駅：京成線鬼越駅と連携していただき、駅構内でイベント同時開催を開始。また当イベントで子ども達が板に絵を描き、駅構内に飾られていただく。 ・当イベントを新聞やラジオ等のメディアにて取り上げられる。 <p>(2024年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計7回の大小マルシェを開催（予定）。 ・子どもから高齢者、市川市民から周辺市民まで幅広い方々に来ていただき、毎各100~600人程の来場者。 ・近隣神明社で実施した神明社大祭での宵宮プロデュースを一任された。 ・市川市観光課の方々も当イベントをお知りいただき、2025年度連携予定。
団体の特徴、アピールをしたいこと等	<p>私たち役員は市川市在住者であり、市川市の魅力を皆様に知っていただきたい、さらに市川市を盛り上げたいという共通の思いを持って活動中。</p> <p>マルシェは物販の場ではなく、地域コミュニティの強化、地域経済の活性化、文化の発信など、さまざまな側面で地域に貢献している。また地域の特産物や文化を発信することにより、地域ブランドの向上に寄与する。地元の生産者が集まり、直接消費者と交流することで、地域の魅力を再発見し、地域への愛着を深めることに繋がる。</p>

2 申請に係る連絡先

事務所連絡先	
連絡責任者	
E-mail	
連絡手段の優先度	<p>優先順を1、2、3で記入してください。</p> <p>(1) E-mail ・ (なし) FAX ・ (2) 郵送</p>

3 役員名簿（別紙添付可）

役職	役員氏名	事業における役割	住所
会長		責任者	
副会長		副責任者	
監査		会計監査	
会計		会計	
広報		広報	
書記		書記	

様式第3号 (第5条関係)

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

<p>補助対象事業 の名称</p>	<p>鬼まち一家「鬼まちマルシェ」</p>																																								
<p>補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)</p>	<table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進	<input type="checkbox"/>	2 社会教育の推進	<input checked="" type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進	<input checked="" type="checkbox"/>	4 観光の振興	<input checked="" type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興	<input type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	<input type="checkbox"/>	7 環境の保全	<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動	<input checked="" type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保	<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進	<input type="checkbox"/>	11 国際協力	<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進	<input checked="" type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成	<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展	<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興	<input checked="" type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化	<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護	<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進																																								
<input type="checkbox"/>	2 社会教育の推進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	4 観光の振興																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興																																								
<input type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																								
<input type="checkbox"/>	7 環境の保全																																								
<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保																																								
<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進																																								
<input type="checkbox"/>	11 国際協力																																								
<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成																																								
<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展																																								
<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化																																								
<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護																																								
<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																								
<p>解決したい地域課 題は何ですか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの分断：地域住民同士の交流が少なく、孤立感が増している と日々自分自身含め感じている。 ・経済の停滞：地元の商業が衰退し、地域経済の活性化が乏しい。 ・子どもの居場所づくり：地域コミュニティの中で子ども達が安心して遊べ たり学べたりすることが出来る場を提供したい。地域の伝統や日本の四季を 経験して欲しい。 																																								
<p>地域課題により困 っている人は誰で すか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親子：子育てに関する悩みを抱えている親、遊ぶ場所や出かけ る場所に困っている親子。コミュニケーションの場を必要としている。 ・高齢者：高齢者は独立しやすく、何かあった際に地域に頼れる人や場所が 必要。 																																								
<p>事業を行う目的は 何ですか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの強化：地域住民が集まれる場所を提供し交流を促進。 地域の絆が深まり、住民同士の協力や支援が生まれやすくなる。 地域の文化や伝統の紹介・体験が出来るため、地域のアイデンティティを強 化する役割にもなる。 ・地域経済の活性化：マルシェは地元の生産者や商業者に直接的な販売機会 を提供し地域内での経済循環を促進。特に当事業では市川市内～近隣にて活 動している出店者を選出しているため、地域内での経済活性化に強化してい る。そしてお互いに顔を見ながらコミュニケーションを取りながら売買でき るため、地域交流の場ともなる。 ・観光促進：マルシェの開催は観光客等の地域住民以外を引き寄せる要素と なり、地域の魅力を広める役割を果たす。 ・地域環境：地元の農産物を直接購入することで輸送による環境負担を減ら し、また生産者が環境に配慮した農法で育てた作物を提供することが多く、 消費者の環境意識を高めることが出来る。 																																								

<p>事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記載)</p>	<p>講演会 セミナー 講座 研修会 ワークショップ 交流会 大会開催 発表会 コンサート 訓練・養成 体験学習 フェスティバル 保全活動</p> <p>その他：</p>		
<p>事業の主体 (該当するものに○)</p>	<p>当該団体 /市の他課 /他の団体 /その他 ()</p> <p>上記に関する補足</p>		
<p>改善状況</p>	<p>審査会からの指摘事項 (以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>指摘 なし</p> </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>指摘 あり</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">改善策</p>	<p>指摘 なし</p>	<p>指摘 あり</p>
<p>指摘 なし</p>	<p>指摘 あり</p>		
<p>事業 内 容</p>	<p>事業の対象者 は誰ですか</p> <p>・地域で生活する子どもから高齢者</p> <p style="text-align: right;">(参加想定人数 合計 2300人)</p>		
	<p>事業はいつ行 いますか</p> <p>・2025年4月、5月、7月、8月、10月、12月 ・2026年2月</p>		
	<p>事業はどこで 行いますか</p> <p>神明寺</p>		
	<p>事業をどのよ うに行います か (事業の内容 を具体的に記 載してくださ い。)</p> <p>市川市～近辺で活動する出店者と地域住民の架け橋になれるようなマルシェの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶各イベント開催時にその時の季節行事を地域で楽しんでもらえる様に何度もミーティングを重ねて検討・準備。協力団体への依頼や打ち合わせを実施。 ・最寄り駅の鬼越駅が連携して下さり、駅構内で同時イベントを開催。 ・市川市役所観光課と花まつりイベントとして令和7年3～4月連携予定。 ・市川市ご当地ヒーローとの連携。 ▶出店希望者を募る。 ・どのような出店内容か、地域課題を解決でき、尚且つ当活動の趣旨に賛同して下さる出店者を選出する。 ・また時にはどの様な出店内容か他のイベントに視察へ訪問・面談を行う。 ▶集客のための広報。 ・地域デザイナーへチラシの作成やHPの更新を依頼。SNSを使用した宣伝を実施。チラシを地域自治体や近隣店舗・商店街に協力していただき掲示していく。 ▶地域コーディネーターとの連携。 ・地域の中学校にてボランティア学生を募集。学生達に地域交流を深めてもらう場としても。また同コーディネーターを経由してイベント開催時に学生達の吹奏楽や地域のダンススクールの発表会を開催する。 ▶子どもへの読み聞かせの会を開催し、親子で交流出来る場を設ける。 ▶大規模マルシェの他、未就学園児やその親が安心して楽しみ交流が出来る場を提供。自宅では準備が大変な季節の遊びや、遊び道具を作成する段階から楽しむワークショップや体験等の子どもを対象とした小規模マルシェをさらに盛り上げていく。 ▶食品を扱う出店者もいるため、事前に消防署や保健所等の行政機関へ必要書類作成し毎回行事開催を申請。当日も安全に提供されているか消防隊員の立ち合い・実行委員が必ず各店舗確認を行う。 ▶安全にイベントが開催できる様に、出店者の導線を考え図面化する。 ▶前日は必ずシミュレーションを実施。当日に向けての最終調整を行う。 ▶当日は学生ボランティアの他、地域住民の大人のボランティア、実行委員が全体を警備・見守りを行い、安全に円滑にイベントが運営出来るようにしている。また保険にも加入し安全に考慮する。 ▶終了後には出店者へアンケートを実施。後日の会議では振り返りを実施し次回へのフィードバックを行う。 		

	外部講師等への依頼はありますか	なし / あり (参加する市民の人数 合計 23000 人) 毎回入口に来場者人数をカウントするスタッフを配置しているため、人数把握が出来る。また、子ども達にお菓子を配布・ウォークラリー開催時の配布用紙等の残りにて子ども達の参加人数の把握に努めている。		
準備スケジュール(別紙添付可)	(時期)	(やること)	(担当人数)	
	4月	・随時グループLINEやメール、Googleドライブ等で連絡を取り合ったり情報共有をしたりと報連相を密に取っている。 ・またSNS更新も毎月・随時更新。		
	5月	4月 第一回イベント開催 次回イベント内容の協議。		
	6月	5月 第一回反省会、開催報告書作成 第二回イベント開催 次回イベント内容の協議		
	7月	6月 第一回反省会、開催報告書作成 第三回イベント開催の準備 各協力団体との打ち合わせ		
	8月	運営委員ミーティング 7月 第三回イベント開催 次回イベント内容の協議		
	9月	8月 第三回反省会、開催報告書作成。 第四回イベント開催 次回イベント内容の協議、	全て各6名	
	10月	9月 第四回反省会、開催報告書作成。 次回イベント開催の準備 各協力団体との打ち合わせ		
	11月	運営委員ミーティング 10月 第五回イベント開催 11月 第五回反省会、開催報告書作成。		
	12月	次回イベント内容の協議、 12月 第六回イベント開催 今年の振り返り/来年の活動について協議		
	1月	1月 第六回反省会、開催報告書作成 次回イベント開催の準備 各協力団体との打ち合わせ		
	2月	運営委員ミーティング 2月 第七回イベント開催 3月 第七回反省会、開催報告書作成。		
3月	次回イベント内容の協議、			
広報の計画及び方法	<p>※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。</p> <p>1 広報の計画(別紙添付可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のデザイナーと連携しており、チラシの作成やSNS・HP作成を依頼。よりクリエイティブで視認性と来訪意欲を高める工夫をすることが出来る。 ・SNS総フォロワー数1万人のため、インターネットを通じて多くの方々に見てもらえる。 ・鬼越駅や地域商店街、自治体とも連携しているため、チラシ掲載の依頼をすることができ、より多くの方々にチラシを見ることが出来る。 <p>2 広報の方法</p>			

	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> インターネットを活用した情報発信 (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、 ツイッター等)<input type="checkbox"/> フリーペーパーへの掲載<input checked="" type="checkbox"/> 広報いちかわ(市民の広場)に掲載<input checked="" type="checkbox"/> 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等<input type="checkbox"/> その他 ()
--	--

資料1-2

様式第4号(第5条関係)

市川市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収入】 (単位:円)

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	307,300	出店料1500円×25店/4回。1300円×7店/3回。売上13万
寄附金収入		
補助金収入	192,815	市川市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	77,515	団体の本会計より充当
合計	577,630	

2 【支出】 (単位:円)

項目	金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	60000	60000	パフォーマー5000円 3人×4回
交通費	39,020	39,020	スタッフ交通費 @440×3 @300×2 @340×1 上記×開催数7回 パフォーマーパーキング @1100×3 上記×開催数4回 ボランティアスタッフ交通費@500×5 上記開催数4回
消耗品費	125,000	125,000	各イベント装飾・ゴミ袋等消耗品 10000円×7回。 生花・甘茶・かぼちゃ・豆等各イベント消耗品約7,500円×4回。 夏のイベント露店販売仕入れ代(ロックアイス、シロップ、容器、ストロースプーン、雑巾・ペーパー、フランクフルト、ケチャップ・マスタード、容器、炭)計25,000円
印刷製本費	24,500	24,500	チラシ印刷2,000円×7回、他提出書類印刷代1500円×7回、
通信運搬費	1320	1320	出店者と連絡書類郵送代 110円×3人×4回
保険料	5890	5890	賠償責任保険(施設・生産物に対し)
使用料 及び賃借料	89,000	77,000	神明寺使用料@11000×開催数7回 ミーティング時1000円×12回(対象外)
原材料費	38,900	38,900	春:梅雨を楽しむレイングッズ作成(傘330円×20人・ビニールテープ110円×10個・油性ペン110円×20本)計9,900円。 秋:ハロウィン節分仮装衣装(5000円×3体)計15,000円。 冬:懐かしい遊び道具作成(羽子板500円×20人・こまの作成200円×20人)計14,000円
スタッフ費	180000	0	運営スタッフ代
その他	14,000	14,000	Instagram広告費(各イベント1週間前から当日まで配信(イメージはTVのCM)2000円×7回)
合計	577630	385630	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市民活動団体補助決定事業実績報告書(様式第11号)を提出する際、市川市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書(様式第12号)とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)

令和 6 年度の事業報告

団体名称

1. 事業の成果

鬼まちマルシェを開催し、地域住民やその他の地域から多くの参加者があった。毎回メインイベントを開催しているため、その中で地域住民同士の交流が多くあった。またワークショップの開催を通して参加した方々同士の交流もみられ、親睦を深めている姿がみられた。地域で同じ学校や園に通う子ども達が、当イベントに来場することで親同士・子同士の交流の広がりを感じた。出店者は主に市川市や周辺で活動している店舗を選出。多くの出店者が完売し地域経済の活性化、地産地消に繋げることが出来た。今年度から開始した子どもを対象とした小規模マルシェは、子どもに特化したワークショップを考えるも予算の関係で断念した内容がある。来年度は予算を増やし季節や地域に沿った遊びや体験を考え、子どもの居場所となる環境づくりに繋げていきたい。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
鬼まちマルシェ	四季折々のイベントを通しての地域交流	年9回	神明寺	96人	2,300人 ()人	516,100
			神明寺	人	人 ()人	
			神明寺	人	人 ()人	
			神明寺	人	人 ()人	
小計				96人 (a)	2,300人(b) ()人	516,100 (c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
役員会	月1回の定例会	毎月	事務所	6人	6人 ()人	0
				人	人 ()人	
				人	人 ()人	
				人	人 ()人	
小計				6人 (d)	6人(e) ()人	0 (f)
合計				(a)+(d)=(g) 102	(b)+(e)=(h) 2,306	(c)+(f)=(i) 516,100

全活動に占める社会貢献活動の割合	(e)/(g)	(b)/(h)	(c)/(i)
※ 小数点以下は四捨五入してください。	94%	100%	100%

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

2025年 1月12日

市川市長

団体名 手児奈太鼓保存会
代表者名 
所在地 

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象事業の名称
手児奈太鼓 30 周年記念演奏会

2 補助対象事業の概要

・手児奈太鼓保存会 30 周年記念演奏会の実施を通じて、広く市民に「伝統芸能に触れる機会」及び「音楽に触れる」機会を提供し、音楽の普及を図ると共に、生涯学習機会の提供と地域の文化振興を目指します。

3 申請に係る補助対象事業の申請回数
(該当する回数に○を付けてください。) 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額 706,000 円

5 補助対象経費総額 617,000 円

6 交付申請額 300,000 円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書(様式第2号)
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書(様式第3号)
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書(様式第4号)
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類

1 団体の概要

団 体 名	手児奈太鼓保存会		
代 表 者 氏 名	[REDACTED]		
主たる事務所の所在地	【 専用事務所 ・ <u>住居と兼用</u> ・ その他 () 】		
その他事務所の所在地	なし		
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<input type="checkbox"/> 1 保健、医療又は福祉の増進 <input type="radio"/> 2 社会教育の推進 <input type="checkbox"/> 3 まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 4 観光の振興 <input type="checkbox"/> 5 農業又は水産業の振興 <input checked="" type="radio"/> 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 7 環境の保全 <input type="checkbox"/> 8 災害救援活動 <input type="checkbox"/> 9 地域の安全の確保 <input type="checkbox"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 11 国際協力 <input type="checkbox"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="checkbox"/> 13 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 14 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 15 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 16 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 <input type="checkbox"/> 18 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 <input type="checkbox"/> 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野		
設 立 年 月 日	1995年4月1日	会 員 数	14名(2025年1月現在)
ホームページ	https://ameblo.jp/tekona-daiko/	E-mail	ryo0203@gmail.com
会報等の発行	有 (回 発行) ・ <u>無</u>		
団体の活動目的	和太鼓の演奏等の活動(以下、合わせて「事業」という。)を行うことにより、和太鼓演奏の技法等を保存するとともに、広く市民に日本の伝統芸能や音楽に触れる機会を提供し、市民の伝統芸能や音楽への興味関心を増進することを目的とする。		
団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	(注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動(不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。)」のことが定められていますか。(<u>はい</u> ・ いいえ)		

主な事業内容	(1) 演奏会の実施 (2) イベントへの出演及び体験会の実施 (3) 老人ホーム等への慰問演奏及び体験会の実施 (4) 幼稚園、小学校及び中学校等での演奏及び体験会の実施
これまでの主な活動実績 団体の主たる取組を簡潔に記載してください。 これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください(自由記載)。	(1) 練習会 毎週日曜日(一部土曜日)市川小学校にて午後1時から5時まで 見学可能、体験可能 各会練習参加人数の平均はおよそ10名/回 見学者および体験者の平均は20名/年 (2) イベントへの参加(主なもの) ・地域のイベント(手児奈祭り、夏祭り、ほおづき市など)およそ10回/年 ・市外イベントへの参加 ダスキンフェスタ(習志野市:2022年) くさぶえの丘太鼓まつり(佐倉市:2021年から毎年) 松本城太鼓まつり(松本市:2016年等 5回) コルトンプラザふえず(市川市:2024年) 日本ドイツデイイベント(市川市:2011年) ドイツ日本デイイベント(ドイツローゼンハイム市:2010年) (3) 市川市立真間小学校への太鼓の貸出および講師派遣
団体の特徴、アピールをしたいこと等	普段は触れることができない、本当の和太の音を聞き、実際に触れて楽しむことができる。

2 申請に係る連絡先

事務所連絡先	
連絡責任者	
E-mail	
連絡手段の優先度	優先順を1、2、3で記入してください。 (1) E-mail ・ () FAX ・ (2) 郵送

3 役員名簿(別紙添付可)

役職	役員氏名	事業における役割	住所
会長		統括	
副会長		統括補佐	
副会長		統括補佐	
監査		会計監査	
監査		会計監査	
監査		監査	

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

<p>補助対象事業 の名称</p>	<p>手児奈太鼓 30 周年記念演奏会</p>																																								
<p>補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)</p>	<table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進	<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進	<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進	<input type="checkbox"/>	4 観光の振興	<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興	<input checked="" type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	<input type="checkbox"/>	7 環境の保全	<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動	<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保	<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進	<input type="checkbox"/>	11 国際協力	<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進	<input type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成	<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展	<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興	<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化	<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護	<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進																																								
<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進																																								
<input type="checkbox"/>	4 観光の振興																																								
<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																								
<input type="checkbox"/>	7 環境の保全																																								
<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動																																								
<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保																																								
<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進																																								
<input type="checkbox"/>	11 国際協力																																								
<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進																																								
<input type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成																																								
<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展																																								
<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興																																								
<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化																																								
<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護																																								
<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																								
<p>解決したい地域課 題は何ですか</p>	<p>伝統芸能や和太鼓に触れる機会や音を聞く機会があまりなく、文化芸能に触れる機会が少ない。</p>																																								
<p>地域課題により困 っている人は誰で すか</p>	<p>日本の伝統芸能に興味がある人 和太鼓に興味がある人 音楽に触れてみたいと思っている人</p>																																								
<p>事業を行う目的は 何ですか</p>	<p>和太鼓を身近に感じてもらい、多くの人に和太鼓や音楽の楽しさを知って いただきたい。</p>																																								
<p>事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記載)</p>	<p>講演会 ○ セミナー ○ 講座 ○ 研修会 ○ ワークショップ ○ 交流会 ○ 大会開催 ○ 発表会 ○ コンサート ○ 訓練・養成 ○ 体験学習 ○ フェスティバル ○ 保全活動 ○ その他：</p>																																								
<p>事業の主体 (該当するものに○)</p>	<p>当該団体 ○ / 市の他課 / 他の団体 / その他 () 上記に関する補足</p>																																								

改善状況	審査会からの指摘事項（以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること） <input checked="" type="radio"/> 指摘なし / <input type="radio"/> 指摘あり	改善策
事業内容	事業の <u>対象者</u> は誰ですか	市川市民およびその知友人等 (参加想定人数 300 人)
	事業はいつ行いますか	2025年9月14日 14時から17時
	事業はどこで行いますか	市川市文化会館小ホール
	事業をどの <u>よ</u> うに行いますか (事業の内容を具体的に記載してください。)	手兒奈太鼓保存会が有する楽曲の演奏 外部講師（和太鼓奏者）による演出、舞台におけるコメント、演奏 外部講師（囃家）による講演
	外部講師等への依頼はあります	なし / <input checked="" type="radio"/> あり (参加する市民の人数 300 人) 外部講師：和太鼓奏者（プロ奏者・大学講師） 外部講師：囃家

	(時期)	(やること)	(担当人数)
準備スケジュール (別紙添付可)	4月	予告チラシの作成・印刷・配布 演奏会演目の決定 講師等手配・契約	4名 2名 1名
	5月		
	6月	ポスター・チラシ作成・印刷 会場設営計画作成	2名 2名
	7月	楽器整備 講師打合せ	5名 2名
	8月	当日パンフレット、チケット等作成・印刷	2名
	9月	演奏会実施	受付2名 その他2名
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
広報の計画 及び方法	<p>※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。</p> <p>1 広報の計画 (別紙添付可) チラシ作成 (2000枚程度) ポスター作製 (50枚程度) 近隣商店や施設を通じて配布</p> <p>2 広報の方法</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> インターネットを活用した情報発信 (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、 ツイッター等)</p> <p><input type="checkbox"/> フリーペーパーへの掲載</p> <p><input type="checkbox"/> 広報いちかわ (市民の広場) に掲載</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>		

様式第4号(第5条関係)

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収入】

(単位:円)

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	300,000	1,000円×300名
寄附金収入		
補助金収入	300,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	106,000	団体の本会計より充当
合計	706,000	

2 【支出】

(単位:円)

項目	金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	239,000	180,000	和太鼓講師謝礼 100,000円 (補助対象は50,000円) 嘶家謝礼 50,000円 映像作成謝礼 30,000円 音響謝礼 20,000円 照明謝礼 30,000円 受付謝礼 3,000×3名(補助対象外) 9,000円 合計 239,000円
交通費			
消耗品費	25,000	25,000	・会場設営用消耗品(テープ等) ・救急用品(酸素缶等) ・文房具(芳名帳、ペン、ポストイット、接着剤等) ・演奏時用消耗品(花吹雪、ペンライト、蓄光テープ、太鼓台固定用強力テープ) ・舞台小物(鍋・お玉・扇子等)他
印刷製本費	140,000	140,000	ポスター・チラシ・チケット・パンフレット作製デザイン料50,000円 ポスター・チラシ印刷費(3,000枚) 予算50,000円 チケット・パンフレット印刷費(各400枚) 40,000円
通信運搬費	60,000	60,000	当日の資材運搬料(往復) 55,000円 案内・チラシ等郵送費 5,000円
保険料			
使用料 及び賃借料	167,000	167,000	会場使用料等 97,000円 機材使用料等 70,000円
原材料費	45,000	45,000	・受付パネル作成材料費 (パネル、模造紙、スタンド、装飾用モール等) ・舞台セット作成材料費(ベニヤ・プラスチックパネル・固定用金具等) ・舞台衣装、衣装用付属品(モール材・布・綿等)
食費	30,000		当日昼食代 25,000円 当日水分補給用飲料費 5,000円
合計	706,000	617,000	

備考

- 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書(様式第11号)を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書(様式第12号)とともに領収書を添付する必要

(その他市長が必要と認める書類)

令和 6 年度の事業報告

団体名称

1. 事業の成果

令和6年の主な活動実績は以下の通り

- 4月 史跡まつり(市川市)演奏・体験会 主な参加者は市川市民
- 5月 コルフェス(市川市)演奏 主な参加者は市川市民
- 7月 ほおずき市(市川市)演奏・体験会 2日間 主な参加者は市川市民
- 8月 手児奈盆踊り(市川市)盆踊り太鼓 演奏 主な参加者は市川市民
- 10月 国府台病院まつり(市川市)演奏 主な参加者は市川市民および病院利用者
真間秋祭り(市川市)演奏・体験会 主な参加者は市川市民
くさぶえの丘太鼓祭り(佐倉市)演奏 市内外の太鼓演奏者および太鼓に興味のある人が参加
- 11月 手児奈の響き(市川市)演奏 主な参加者は市川市民他手児奈に関心を寄せる人

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
史跡まつり	イベント内での演奏および体験会の実施	4月21日	手児奈霊神堂	9人	60人 (50人)	
コルフェス	イベント内での演奏	5月6日	ニッケコルトンプラザ	10人	60人 (50人)	
ほおずき市	イベント内での演奏および体験会の実施	7月20日21日	手児奈霊神堂	18人	150人 (120人)	
手児奈盆踊り	イベント内での盆太鼓の演奏および組太鼓の演奏	9月16日	真間小学校	10人	300人 (150人)	
国府台病院祭り	イベント内での演奏	10月12日	国府台病院	10人	40人 (20人)	
真間秋祭り	イベント内での演奏	10月14日	手児奈霊神堂	10人	60人 (50人)	
手児奈の響き	イベント内での演奏	11月15日	市川市文化会館小ホール	8人	400人 (150人)	
小計				75人 (a)	670人 (b) (370人)	0 (c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
くさぶえの丘太鼓祭り	イベント参加および演奏	10月20日	佐倉市くさぶえの丘	10人	300人 (不明人)	
				人	人	
				人	人	
				人	人	
小計				10人 (d)	300人 (e) (0人)	0 (f)
合計				(a) + (d) = (g) 85	(b) + (e) = (h) 970	(c) + (f) = (i) 0

全活動に占める社会貢献活動の割合	(a) / (g)	(b) / (h)	(c) / (i)
※ 小数点以下は四捨五入してください。	88%	69%	0%

(その他市長が必要と認める書類)

団体要件・事業要件に関する宣誓書

◆確認事項

団体要件	以下、該当する項目に <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 法令、条例等に違反する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない <input checked="" type="checkbox"/> 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない <input checked="" type="checkbox"/> その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下、該当する項目に <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 原則として市内において実施する <input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 参加者の50%以上は市川市民を予定している <input checked="" type="checkbox"/> 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としてない <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

2025年 1月 14日

団体名 手児奈太鼓保存会

代表者名

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

2025年1月14日

市川市長 田中甲 様

団体名 市川ごたまぜ実行委員会

所在地

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象事業の名称

第2回「市川ごたまぜミュージカルパレード」

2 補助対象事業の概要

(補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。別紙添付可。)

“ごたまぜ”こそが全て～All you need is ごたまぜ!～

市川市には多種多様多彩な人々が暮らしています。そうした方々の創作活動の発表の場を創出し、人と人、地域と人をつなげます。

私たちは、チンドン屋や盆踊り、マーチングバンドなど、音楽と動きのある活動の全てを「ごたまぜミュージカル」と定義します。

「市川ごたまぜミュージカルパレード」は、閉ざされた世界や価値観から飛び出し、芸術や文化の力で共生社会のありかたを考え行動します。そして、彩り豊かな文化と芸術を育む「共生文化都市・市川」の実現に寄与することを目的とします。

現在、2025年2月11日(祝)に予定する第1回目の開催に向けて準備中です。これを成功させるとともに、第2回目の開催事業を申請します。

主な事業内容としては、次の3イベントを同時開催します。

① 市川ごたまぜミュージカルパレード…一日パレード

② 市川ごたまぜアート展…市内の商店にて2か月間展示

③ 市川ごたまぜマルシェ…パレード当日のみ実施

開催日時：2026年2月22日(日)12:00～16:00

(*予定。会場管理者と日程交渉中)

会場：(共催)ニッケコルトンプラザ

3 申請に係る補助対象事業の申請回数

(該当する回数に○を付けてください。) ○1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額 1,523,000 円

5 補助対象経費総額 574,000 円

6 交付申請額 287,000 円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書(様式第2号)
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書(様式第3号)
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書(様式第4号)
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類

1 団体の概要

団 体 名	市川ごたまぜ実行委員会		
代 表 者 氏 名			
主たる事務所の所在地			
その他事務所の所在地	なし		
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<input type="checkbox"/> 1 保健、医療又は福祉の増進 <input type="radio"/> 2 社会教育の推進 <input type="radio"/> 3 まちづくりの推進 <input type="radio"/> 4 観光の振興 <input type="checkbox"/> 5 農業又は水産業の振興 <input checked="" type="radio"/> 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 7 環境の保全 <input type="checkbox"/> 8 災害救援活動 <input type="checkbox"/> 9 地域の安全の確保 <input type="checkbox"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 11 国際協力 <input type="checkbox"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="checkbox"/> 13 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 14 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 15 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 16 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 <input type="checkbox"/> 18 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 <input type="checkbox"/> 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野		
設 立 年 月 日	2024年4月24日	会 員 数	15名(2025年1月現在)
ホームページ	https://ichikawa-gotamaz e.com/	E - m a i l	ichikawagotamazepara@gmail.com
会報等の発行	有 (年 発行) ・ ○無		
団体の活動目的 団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	<p>委員会は、社会貢献活動としての市川ごたまぜミュージカルパレード(以下「ミュージカルパレード」)の円滑な運営を期するため、必要な事業を行うことを目的とする。(規約第2章)</p> <p>(注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動(不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。)」のことが定められていますか。(<input type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ)</p>		

資料1-4

主な事業内容	現在、2025年2月11日（火祝）第1回市川ごたまぜミュージカルパレード&パフォーマンス ごたまぜアート展 ごたまぜマルシェ 開催に向けて準備中。 1月14日（火）～2月16日（日） 市内36カ所の商店で「ごたまぜまちなかアート展」開催中。
これまでの主な活動実績	2024年4月 有志による準備構想の話し合い 以後毎月1回の協議を重ねて、第1回開催に向けて準備してきました。
団体の主たる取組を簡潔に記載してください。	2024年4月より準備を始めて、2025年2月11日（祝）の「第1回市川ごたまぜミュージカルパレード」開催に向けて準備中です。 1月14日（火）～2月16日（日） 市内36カ所の商店で「ごたまぜまちなかアート展」開催中。
これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください（自由記載）。	補助金獲得は無し。 2025年1月6日締め切りのクラウドファンディングで開催資金を確保しました。
団体の特徴、アピールをしたいこと等	「いちかわ市民ミュージカル」を開催支援するNPO いちかわ市民文化ネットワークを始め、ダンス、音楽演奏、高齢者、障がい者、学生など、多種多様なサークル団体を“ごたまぜ”に結集して、新しいパフォーマンスイベントを発展させたいと思います。

2 申請に係る連絡先

事務所連絡先	
連絡責任者	
E-mail	
連絡手段の優先度	優先順を1、2、3で記入してください。 (1) 電話 ・ (2) E-mail ・ () FAX ・ (3) 郵送

3 役員名簿（別紙添付可）

役職	役員氏名	事業における役割	住所
実行委員長		統括	
副実行委員長		統括補佐	
副実行委員長		パフォーマンス	
実行委員		協賛対策	
実行委員		アート展	
実行委員		パレード	
実行委員		会計	
実行委員		アート展	
実行委員		パフォーマンス	
実行委員		パレード	
実行委員		情宣	

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	第2回市川ごたまぜミュージカルパレード																																								
補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)	<table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進	<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進	<input checked="" type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進	<input checked="" type="checkbox"/>	4 観光の振興	<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興	<input checked="" type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	<input type="checkbox"/>	7 環境の保全	<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動	<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保	<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進	<input type="checkbox"/>	11 国際協力	<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進	<input type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成	<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展	<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興	<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化	<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護	<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	4 観光の振興																																								
<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																								
<input type="checkbox"/>	7 環境の保全																																								
<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動																																								
<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保																																								
<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進																																								
<input type="checkbox"/>	11 国際協力																																								
<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進																																								
<input type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成																																								
<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展																																								
<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興																																								
<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化																																								
<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護																																								
<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																								
解決したい地域課 題は何ですか	<p>“わが街市川”には、2002年開始以来の「いちかわ市民ミュージカル」。2005年からの「チャレンジド・ミュージカル」を始め、様々なミュージカルパフォーマンスが育ってきました。</p> <p>そうした活動を合流・拡大させて、子どもも大人も、障がいのある人もない人も、日本人も外国人も、もっと賑やかに手軽に、みんな一緒になって、“ごたまぜ”的で派手なパレードを立ち上げて、真の共生社会実現をめざす楽しいイベントに育て上げたいのです。</p>																																								
地域課題により困 っている人は誰で すか	<p>孤独で寂しい思いに沈んでいる人、もっと交流と共感を広げたい人、自分をもっと見つめてほしいと願っている人、みんなで思い切り表現したい人…</p> <p>芸術文化的イベントを共有共感し合うことで、もっと賑やかで楽しい“共生文化社会の街市川”を築いていこうと願う市民を巻き込んでいきます。</p>																																								
事業を行う目的は 何ですか	<p>「街のどこかで毎日楽し気なパフォーマンスが繰り広げられて、賑わい一杯の、住んでいて楽しくて誰もが好きになる街」。「誰もが認め合い共感し合っ、国際的な新しい文化イベントを発展させることで、“共生文化の街市川”の実現をめざします。</p>																																								
事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記載)	<p>講演会 セミナー 講座 研修会 ワークショップ ○交流会 大会開催 発表会 コンサート 訓練・養成 体験学習 ○フェスティバル 保全活動</p> <p>その他： ○街頭パレード ○アート展示 ○マルシェ</p>																																								
事業の主体 (該当するものに○)	<p>○当該団体 / 市の他課 / 他の団体 / その他 () 上記に関する補足 実行委員会形式</p>																																								

改善状況	審査会からの指摘事項（以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること）	
	指摘 <u>なし</u>	指摘 あり
	改善策	
事業 内 容	事業の <u>対象者</u> は誰ですか	障がいのある人もない人も、子どもも学生も大人も、日本人も外国人も、すべての市民を“ごたまぜ”に対象とする。 (参加想定人数 500人)
	事業はいつ行 いますか	2025年11月30日(日)12:00~16:00 (予定・会場となる共催者のニッケコルトンプラザと現在交渉中)
	事業はどこで 行いますか	会場：ニッケコルトンプラザ内敷地と店内とその周辺街の歩道
	事業をどのよ うに行います か (事業の内容 を具体的に記 載してくださ い。)	<p>I [1] 市川ごたまぜミュージカルパレード 開催日：2025年11月30日(日)12:00~16:00 一日限り 会場：ニッケコルトンプラザ、グリーンスタジオとそれを囲む歩道 (集合・準備・解散会場：グリーンスタジオ) ○パレード：コルトンプラザを中心に、①敷地外ルート②コルトン屋外ル ート③店内ルートA、B の4ルート ○パフォーマンス：ステージ：コルトン広場&西口噴水前 参加団体：市川市と隣接地域の障がい者、外国籍を持つ人たち、市民を含 むパフォーマンス活動団体、ダンスサークル、学校吹奏楽、高 齢者サークル、他(約40団体、参加者500人)</p> <p>[2] ごたまぜアート展 展示期間：2025年11月24日(日)~30日(日) 会場：ニッケコルトンプラザ3階 時間：10:00~閉館時間まで、最終日は17時まで 作品数：30点 展示条件：プレイベント「ごたまぜまちなかアート展」 の中から選ばれた作品 ◎プレイベント「ごたまぜまちなかアート展」 市内商店の協力により「まちなか」にアート作品を飾ります。アートの魅 力で普段と違った景色が広がり、会話が生まれ、互いを認め合い、笑顔が あふれる。そんな体験を通し、アートの魅力を社会に伝えることを目的に しています。 展示期間：2025年10月1日~11月30日 の2か月間 作品数：100点 公募</p> <p>[3] ごたまぜマルシェ パレード当日のみ開催 福祉関係団体を中心に10団体</p> <p>II フォーラム 8月上旬 「ごたまぜパレードの可能性を探る」 10月上旬 「共生文化とは何？」</p>
	外部講師等へ の依頼はあり ますか	○なし / あり (参加する市民の人数 500人)

	(時期)	(やること)	(担当人数)
準備スケジュール (別紙添付可)	4月	4月 市川ごたまぜ実行委員会の第1回会議 (それまでに開催期日を決定します)	
	5月	5月1日 第2回市川ごたまぜミュージカルパレードの開催 内容を確定	
	6月	6月1日 参加者募集開始 協賛金・寄付金募集活動の開始 (SNSによる情報宣伝・市民団体、企業訪問)	
	7月		
	8月	8月上旬 第1回フォーラム『ごたまぜパレードの可能性を 探る』 市内公民館を予定	
	9月	9月上旬 事前想定模擬パレードの実施と検証 参加者・協賛金の中間集約	
	10月	10月上旬 第2回フォーラム『共生社会をめざす文化とは?』 市内公民館を予定	
	11月	11月1日 「ごたまぜまちなかアート展の開催」 11月中旬 参加団体事前打ち合わせ会議	
	12月	11月30日 「ごたまぜミュージカルパレード&パフォー マンス 「ごたまぜアート展」 「ごたまぜマルシェ」開催	
	1月	12月末 総括会議	
	2月		
	3月		
	広報の計画 及び方法	<p>※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。</p> <p>1 広報の計画 (別紙添付可) 市川市を中心に県内の全特別支援学校、特別支援教室、小学校～大学、公的施設、市民団体などに公演チラシ1万枚を配布。 他にニュースリリース、HP、SNS等を活用</p> <p>2 広報の方法</p> <p>インターネットを活用した情報発信</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、ツイッター等)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> フリーペーパーへの掲載</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広報いちかわ(市民の広場)に掲載</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等</p> <p>その他 (SNSの最大活用)</p>	

資料1-4

様式第4号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収入】 （単位：円）

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	0	
寄附金収入	1,100,000	協賛寄附金750,000円 協賛広告費50,000円 個人寄附300,000円
補助金収入	287,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	136,000	団体の本会計より充当
合計	1,523,000	

2 【支出】 （単位：円）

項目	金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費			
交通費	15,000	15,000	駐車料金10台分
消耗品費	30,000	30,000	事務用品、コピー用紙等
印刷製本費	190,000	190,000	開催チラシ30,000円 募集チラシ20,000円 パンフレット100,000円 デザイン料40,000円
通信運搬費	5,000	5,000	郵送料5,000円
保険料			
使用料 及び賃借料	343,000	334,000	控室（グリーンスタジオ） 24,000円 音響費（株）キルト 250,000円 フォーラム説明会会場費 3,000×3回（対象外） レンタカー代60,000円
原材料費			
その他	940,000		スタッフ用衣装100,000円 アートプリント代50,000円 アート展示用備品50,000円 映像・写真記録費250,000円 HP維持費50,000円 事務所借用費240,000円（20,000円×12ヵ月） スタッフ人件費150,000円 その他50,000円
合計	1,523,000	574,000	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書（様式第11号）を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書（様式第12号）とともに領収書を添付する必要があります。

(参考) 実行委員会の母体となる団体が、団体要件を満たすか判断するための書類

資料 1-4

(その他市長が必要と認める書類)

令和 5 年度の事業報告

団体名称

特定非営利活動法人いちかわ市民文化ネットワーク

1. 事業の成果

1. 福祉事業部門

○放課後等デイサービス「ハクナマタタ」はコロナ禍前の日常が徐々に戻り、新規契約者数も増え安定した一年だった。

2. 芸術文化制作部門

○チャレンジド・ミュージカル第14回公演を実施。事前体験ワークショップの開催、ちょっぴり参加枠の設置などに取り組み新規参加者増、観客増員に繋げることができた。また、制作委員会を結成し、広く多くの方々へ組織的に働きかけることができた。次回15回公演に向けての展望となった。

○スペース“にわか”は再生をめざして経営を切り離れた。にわかパフォーマンスライブやマルシェなど様々な地域に共生文化の花を咲かせるユニバーサル事業が活性化しつつあるので、更なる発展をめざしたい。

○いちかわ市民ミュージカル第11回公演に向けての実行委員会設置、台本制作など多くの市民へ呼びかけがスタートした。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
放課後等デイサービス「ハクナマタタ」	放課後デイサービス	通年事業	当事務所	1,000人	2,000人 (2,000人)	20,347,794
「チャレンジド・ミュージカル」その他の活動	創造と交流拠点文化芸術活動	通年事業	市内施設	200人	1,200人 (900人)	8,679,487
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				1,200人 (a)	3,200人 (b) (2,900人)	29,027,281 (c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
理事会	定例役員会	年4回	スペースにわか	80人	80人 (70人)	0
総会	意見交換会	年1回	スペースにわか	60人	60人 (50人)	0
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				140人 (d)	140人 (e) (120人)	0 (f)
合計				(a) + (d) = (g) 1,340	(b) + (e) = (h) 3,340	(c) + (f) = (i) 29,027,281

全活動に占める社会貢献活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (g)	(b) / (h)	(c) / (i)
	90%	96%	100%

補足説明資料 1

NPO法人いちかわ市民文化ネットワーク（いちぶんネット）が
「市川ごたまぜ実行委員会」の事務局中核を担うことの説明

- 1 申請事業である、市川ごたまぜ実行委員会主催の「市川ごたまぜミュージカルパレード」は、NPO 法人いちぶんネットの2024年度総会で、「いちかわ市民ミュージカル」と同様に、当法人の支援事業とすることが承認されています。
- 2 支援の内容に関しては詳細な記述をしていませんが、「いちかわ市民ミュージカル」支援と同様に「事務局中核団体」となることを承認されています。
- 3 総会資料より、関係記述部分を提示します。

①総会資料 2023 (令和 5) 年度事業報告と 2024 (令和 6) 年活動計画 の前文より

「ICHIKAWA ごたまぜミュージカルパレード」は市民パフォーマンス団体を結集して共生文化の街づくりをめざす活動だが、実行委員会の一員として関わることになる。」

②総会資料 2024 (令和 6) 年活動計画 の支援事業として

【5】協働・支援・ネットワーク事業

2. 「ICHIKAWAまぜこぜミュージカルパレード」

①事業目的と内容 「ミュージカルの花咲くまちづくり」をめざして、パフォーマンスを展開する市内の各団体サークルに呼び掛けて、“わが街いちかわ”市内でパレードを実現する。

②開催時期 2025年2月11日（火・祝）

③会場 コルトンプラザとその周辺

④参加者 学生と一般市民 30団体

⑤主催 同実行委員会

（補足説明）

* 当該申請事業は、当時「ICHIKAWA まぜこぜミュージカルパレード」と称していました。

* 市川ごたまぜ実行委員会の2024年度の第1回開催事業において、事務所と開催資金管理と事務業務を当法人所有のスペースにわにわに置き、「事務局中核団体」としての業務を果たしています。

以上です。

なお、第1回「市川ごたまぜミュージカルパレード」は本年1月14日よりプレ事業「ごたまぜまちなかアート展」が市内36カ所136作品展示で開始されるなど、2月11日のパレード開催に向けて順調に準備活動を展開しています。

参考のためにいちぶんネット総会資料を添付します。

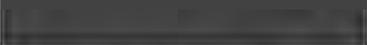
特定非営利活動法人いちかわ市民文化ネットワーク



市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

令和7年 1月 14日

市川市長

団体名 市川民話の会
代表者名 
所在地 

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象事業の名称
須和田の古老聴き書き映像制作および鑑賞会

2 補助対象事業の概要
(補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。
別紙添付可。)

目的 須和田の古老 (昭和6年生まれ) から聴き採った「須和田の戦争」「須和田の伝承」の証言を、映像アーカイブとして制作し、YouTubeチャンネルにアップするとともに鑑賞会を実施することにより、戦後80年の節目に、市川の戦争体験と伝承を次世代に広く継承することを目的とする。

内容 記録映像制作 ※語り手への取材は実施済
鑑賞会実施

効果 戦争の実体験証言や伝承は非常に貴重なものであり、後世の有益な史料となる。
解決される課題 YouTubeでのアーカイブ化を図り、市川の過去の記録が公共化できる。

3 申請に係る補助対象事業の申請回数
(該当する回数に○を付けてください。) 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額 65,000円

5 補助対象経費総額 65,000円

6 交付申請額 32,500円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書 (様式第2号)
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書 (様式第3号)
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書 (様式第4号)
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類

1 団体の概要

団体名	市川民話の会		
代表者氏名	[REDACTED]		
主たる事務所の所在地	[REDACTED]		
	【 専用事務所 ・ <u>住居と兼用</u> ・ その他 () 】		
その他事務所の所在地			
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<input type="checkbox"/> 1 保健、医療又は福祉の増進 <input checked="" type="checkbox"/> 2 社会教育の推進 <input type="checkbox"/> 3 まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 4 観光の振興 <input type="checkbox"/> 5 農業又は水産業の振興 <input checked="" type="checkbox"/> 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 7 環境の保全 <input type="checkbox"/> 8 災害救援活動 <input type="checkbox"/> 9 地域の安全の確保 <input type="checkbox"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 11 国際協力 <input type="checkbox"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="checkbox"/> 13 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 14 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 15 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 16 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 <input type="checkbox"/> 18 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 <input type="checkbox"/> 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野		
設立年月日	1974年4月1日	会員数	25名(2024年5月現在)
ホームページ	http://www.geibun.org/minwa.html	E-mail	kataribe.22@gmail.com
会報等の発行	<input checked="" type="checkbox"/> (年1回発行) ・ 無		
団体の活動目的	市川市内およびその周辺における郷土が育んだ民話の発掘・研究をし、これを通して地域の文化と文化環境を守り、発展させ、普及することを目的とする。(「市川民話の会会則」第四条)		
団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	(注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動(不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。)」のことが定められていますか。(<input checked="" type="checkbox"/> はい ・ いいえ)		

<p>主な事業内容</p>	<p>市川の民話の採訪 市川の民話の記録 市川の民話の語り・講演・普及 市川の民話の研究</p>
<p>これまでの主な活動実績</p> <p>団体の主たる取組を簡潔に記載してください。</p> <p>これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください（自由記載）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市川の民話の採訪とその成果を資料集として刊行 第1集～7集は市川市教育委員会発行、第8集～第9集は市川民話の会発行（市教育委員会事業） ・市川の民話の子ども向け再話本の刊行（3冊刊行） （『改訂新版市川のむかし話』は1%支援制度事業） ・年1回、市川市文化祭として「市川の民話のつどい」を開催（市共催事業 市負担金事業） ・幼稚園・学校などに招かれて子ども向けに民話の伝承活動を実施（不定期） ・公民館・高齢者施設などに招かれて一般向けに民話の伝承活動を実施（不定期） ・会員が地域紙や関連団体の会報に、民話に関するコラムを執筆掲載 ・YouTubeチャンネル「いちかわ民話の部屋」の開設
<p>団体の特徴、アピールをしたいこと等</p>	<p>1974年発足から継続的に市川の民話の収集・普及・研究活動に取り組んでおり、その活動は、日本の民話活動の中でも意欲的なものとして評価されている。</p>

2 申請に係る連絡先

<p>事務所連絡先</p>	
<p>連絡責任者</p>	
<p>E-mail</p>	
<p>連絡手段の優先度</p>	<p>優先順を1、2、3で記入してください。</p> <p>(1) E-mail ・ (3) FAX ・ (2) 郵送</p>

3 役員名簿（別紙添付可）

役 職	役 員 氏 名	事業における役割	住 所
会長		総括	
副会長		総括補佐	
事務局長・会計		会計	
事務局		実務責任者	
会計		会計	
会計監査		会計監査	

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	須和田の古老聴き書き映像制作および鑑賞会																																								
補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)	<table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進	<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進	<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進	<input type="checkbox"/>	4 観光の振興	<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興	<input checked="" type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	<input type="checkbox"/>	7 環境の保全	<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動	<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保	<input checked="" type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進	<input type="checkbox"/>	11 国際協力	<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進	<input type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成	<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展	<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興	<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化	<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護	<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進																																								
<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進																																								
<input type="checkbox"/>	4 観光の振興																																								
<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																								
<input type="checkbox"/>	7 環境の保全																																								
<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動																																								
<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進																																								
<input type="checkbox"/>	11 国際協力																																								
<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進																																								
<input type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成																																								
<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展																																								
<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興																																								
<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化																																								
<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護																																								
<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																								
解決したい地域課 題は何ですか	市川における戦争の実体験者は高齢化し、年々減少していく。 当会が須和田の古老より聴き採った証言を映像アーカイブとすることで記 録を公共化したい																																								
地域課題により困 っている人は誰で すか	市川の歴史を知ろうとする市民(児童・生徒・社会人)																																								
事業を行う目的は 何ですか	須和田の古老(昭和6年生まれ)から聴き採った「須和田の戦争」「須和田 の伝承」を、映像アーカイブとして制作し、YouTube チャンネルにアップす るとともに鑑賞会を実施することにより、戦後80年の節目に、市川の戦争 体験と伝承を次世代に広く継承することを目的とする																																								
事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記載)	講演会 セミナー 講座 研修会 ワークショップ 交流会 大会開催 <u>発表会</u> コンサート 訓練・養成 体験学習 フェスティバル 保全活動 その他: YouTube チャンネルでの公開																																								
事業の主体 (該当するものに○)	<u>当該団体</u> /市の他課 /他の団体 /その他() 上記に関する補足																																								

改善状況	審査会からの指摘事項（以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること）	
	指摘なし / 指摘あり	改善策
事業内容	事業の対象者は誰ですか	市民および関心のある市外住民 (参加想定人数 300人)
	事業はいつ行いますか	令和7年10月頃 YouTubeチャンネル「いちかわ民話の部屋」にて公開(予定) 令和7年12月頃 鑑賞会
	事業はどこで行いますか	インターネット上のYouTubeチャンネル「いちかわ民話の部屋」 市川教育会館(鑑賞会)
	事業をどのように行いますか (事業の内容を具体的に記載してください。)	<p>① 「須和田の戦争」 : 昭和20年3月4日の須和田空襲、中山競馬場への勤労動員、松根油採り、東光寺の鐘の供出の体験など</p> <p>② 「須和田の伝承」 : 須和田・東光寺の鐘、水書など</p> <p>語り手: XXXXXXXXXX (須和田在住・昭和6年生まれ) 語り手に取材を行い、民話を語る映像を基に、映像制作を手がける映像作家に編集を依頼し映像制作を行う(上記2コンテンツ)。</p> <p>制作した映像は、市川民話の会のYouTubeチャンネル「いちかわ民話の部屋」にアップし公開する(令和7年10月頃予定)。</p> <p>令和7年12月頃、公開した映像の鑑賞会を行う。</p>
	外部講師等への依頼はありますか	なし / あり (参加する市民の人数 人)

	(時期)	(やること)	(担当人数)
準備スケジュール (別紙添付可)	4月	映像作家に制作依頼 「須和田の戦争」「須和田の伝承」の2コンテンツ	
	5月	編集のための打ち合わせ ラフ映像確認	
	6月	編集のための打ち合わせ	
	7月	編集のための打ち合わせ 制作完了	
	8月	市川民話の会内部で視聴・内部での学習会を実施	
	9月		
	10月	YouTube チャンネル「いちかわ民話の部屋」にて公開 いちかわささえあいネットにて、動画公開の告知 チラシ作成・配布	
	11月		
	12月	鑑賞会実施(市川教育会館)	
	1月		
	2月		
	3月		
広報の計画 及び方法	<p>※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。</p> <p>1 広報の計画(別紙添付可)</p> <p>2 広報の方法</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> インターネットを活用した情報発信 (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、 ツイッター等)</p> <p><input type="checkbox"/> フリーペーパーへの掲載</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広報いちかわ(市民の広場)に掲載 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>		

様式第4号(第5条関係)

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収入】 (単位:円)

項目	金額	説明(積算等)
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	32,500	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	32,500	団体の本会計より充当
合計	65,000	

2 【支出】 (単位:円)

項目	金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費			
交通費			
消耗品費			
印刷製本費	5,000	5,000	チラシ印刷料 ⑤5円×1000枚
通信運搬費			
保険料			
使用料 及び賃借料			
原材料費			
その他の経費	60,000	60,000	映像制作料(2コンテンツ分) ・須和田の戦争 30,000円 ・須和田の伝承 30,000円
合計	65,000	65,000	

備考

- 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書(様式第11号)を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書(様式第12号)とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)

団体要件・事業要件に関する宣誓書

◆確認事項

団体要件	以下、該当する項目に <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 法令、条例等に違反する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない <input checked="" type="checkbox"/> 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない <input checked="" type="checkbox"/> その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下、該当する項目に <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 原則として市内において実施する <input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 参加者の50%以上は市川市民を予定している <input checked="" type="checkbox"/> 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としてない <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

令和7年 1月 14日

団体名 市川民話の会 _____

代表者名 _____

(その他市長が必要と認める書類)

令和6年度の事業報告

団体名称 市川民話の会

1. 事業の成果

市川に伝わる民話について、会員が例会を通して学び研鑽を深めていった。その成果を、対外的な事業において「語り」として披露し、社会貢献活動に結びつけることができた。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
市川の民話のつどい	市川市共催の文化祭として、市川の民話を紹介	令和6年10月26日	八幡市民会館	15人	100人 (80人)	30,000
市川市芸術文化団体協議会事業	市川市芸術文化団体協議会の加盟団体として、市川の民話を紹介	令和6年8月10日	市川市文化会館小ホール	5人	60人 (40人)	21,000
つぎはし「市川の昔ばなし」	自主事業として、市川の民話を紹介	令和6年4月11日、6月13日、8月8日、10月10日、12月12日、令和7年2月13日	話飲喫茶つぎはし	56人	130人 (120人)	15,000
小計				76人 (a)	290人(b) (240人)	66,000 (c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

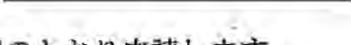
事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
例会	会の運営・活動に関する教養民話についての学習会	毎月第二火曜日	市川教育会館	130人	130人 (100人)	10,000
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				130人 (d)	130人(e) (100人)	10,000 (f)
合計				(a)+(d)=(g) 206	(b)+(e)=(h) 420	(c)+(f)=(i) 76,000

全活動に占める社会貢献活動の割合	(a)/(g)	(b)/(h)	(c)/(i)
※ 小数点以下は四捨五入してください。	37%	69%	87%

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

2025年1月14日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
みんなのサンタ
代表者名 
所在地 

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

- 1 補助対象事業の名称
みんなのサンタ 介護福祉の講演会
- 2 補助対象事業の概要
(補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。
別紙添付可。)

目的

高齢者介護の啓発を目的とします

内容及び効果

スイスの医療型ホスピス併設型高齢者障がい者看護介護施設で、看護介護スタッフとして働くリッチャー美津子さんを講師として招き、「五感をつかってひとを感じ・想う『フレーゲ』～看護と介護の一体化と看取りの場所作り」(仮題)のお話を伺います。

認知症ケアのありかたや安楽死が認められている国スイスの出の経験を踏まえた死生観についても触れていただく予定です。

超高齢社会が到来し、認知症の方が増加する中で、共に暮らし共に生きる知恵を学ぶ機会とします。

解決される課題

みんなのサンタでは、これまで認知症介護に関する講演会を2回開催してきました。2022年には生活リハビリ研究所所長三好春樹氏。2023年には宅老所52間の縁側主宰石井英寿氏をお招きし介護関係者・一般市民が参加しました。

認知症になっても暮らし続けることができる街づくりへの展望を示すことができましたし、参加者の中から介護職やボランティアとして直接介護に関わる方も現れました。

啓発と同時に介護の充実を図れるものと考えています。

3 申請に係る補助対象事業の申請回数
(該当する回数に○を付けてください。) 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額 69,040 円

5 補助対象経費総額 65,000 円

6 交付申請額 32,500 円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書 (様式第2号)
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書 (様式第3号)
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書 (様式第4号)
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類

1 団体の概要

団 体 名	特定非営利活動法人 みんなのサンタ		
代 表 者 氏 名	[REDACTED]		
主たる事務所の所在地	【 <u>専用事務所</u> ・ 住居と兼用 ・ その他 () 】		
その他事務所の所在地			
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<input checked="" type="radio"/> 1 保健、医療又は福祉の増進 <input type="radio"/> 2 社会教育の推進 <input type="radio"/> 3 まちづくりの推進 <input type="radio"/> 4 観光の振興 <input type="radio"/> 5 農業又は水産業の振興 <input type="radio"/> 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 <input type="radio"/> 7 環境の保全 <input type="radio"/> 8 災害救援活動 <input type="radio"/> 9 地域の安全の確保 <input type="radio"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 <input type="radio"/> 11 国際協力 <input type="radio"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="radio"/> 13 子どもの健全育成 <input type="radio"/> 14 情報化社会の発展 <input type="radio"/> 15 科学技術の振興 <input type="radio"/> 16 経済活動の活性化 <input type="radio"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 <input type="radio"/> 18 消費者の保護 <input type="radio"/> 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 <input type="radio"/> 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野		
設 立 年 月 日	2022年4月13日	会 員 数	36名 (2024年12月現在)
ホームページ		E-mail	
会報等の発行	<u>有</u> (年3回発行) ・ 無		
団体の活動目的 団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	この法人は、経済的に困窮した状況にある子供とその親、とりわけひとり親世帯、社会的に孤立しがちな高齢者、障がい者、その他の生活困窮者に対し、食事の提供等により健康状態をはじめとした生活環境を整えるとともに、さまざまなレクリエーションを通じて地域における住民同士の交流の場を創出することにより孤立化の解消を図りながら、必要に応じて専門の相談機関を紹介し、もって地域社会の福祉の増進に寄与することを目的とする。(定款3条) (注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動(不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。)」のことが定められていますか。(<u>はい</u> ・ いいえ)		

<p>主な事業内容</p>	<p>特定非営利活動に係る事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 障害を持つ子供とその親に対する玩具及び図書の貸出し 2) 高齢者、障害を持つ人、ひとり親家庭の親子に対する食事の提供 3) 障がいを持つ子供を対象とするマラソンクラブの運営 4) 学習機会の不十分な児童に対するボランティアによる学習支援 5) 高齢者及び障害者を対象としたレクリエーション及びコミュニケーションの場の提供 6) 介護保険法による通所介護事業及び介護予防通所介護事業 7) 障害者総合支援法による障害福祉サービス及び障害者地域生活支援事業 8) 児童福祉法による障害児通所支援事業 9) 庭木の草刈り、家具の移動、通院同行等、高齢者及び障がいの者の日常生活に関する支援 10) 地域住民の医療や健康、介護、暮らしの相談に関する支援 11) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業 <p style="text-align: right;">(定款5条)</p>
<p>これまでの主な活動実績</p> <p>団体の主たる取組を簡潔に記載してください。</p> <p>これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください(自由記載)。</p>	<p>地域密着型共生型通所介護…定員10名、週5日、利用者8名</p> <p>みんなの食堂(子ども食堂…月1回、参加者30名)</p> <p>子どもの居場所(学習と体験)…月2回、参加児童3名</p> <p>おもちゃ図書館…月1回、2家族</p> <p>ふれあい助けあい…有償ボランティアによるなんでも支援、年間36回、110時間)</p> <p>マラソンクラブ(障害児者対象)…月2回、参加者平均10名</p> <p>健康麻雀(高齢者、障害者等対象)…週1回、参加者平均4名</p> <p>健康相談「暮らしの保健室」…月1回、心理・生活相談、1-2名</p> <p>ケアラズカフェ「サンタすまいる福祉介護の学習会」…月1回、参加者平均10名</p> <p>サンタの起業塾(福祉マネジメント連続講座)…月1回、参加者13名</p> <p>通所介護事業各種補助金</p> <p>子ども食堂運営補助金(市川市、ノーツ財団等)</p> <p>共生型生活介護送迎車助成(中山馬主協会)</p>
<p>団体の特徴、アピールをしたいこと等</p>	<p>2001年任意団体としておもちゃ図書館を出前方式で始めました。2017年現在地に店舗を借り、カフェ・駄菓子屋を開店、翌年には子供食堂を始めました。以後、地域の障害者や独居高齢者などへの地域活動を広げました。</p> <p>法人化後は「ごちゃまぜケア」を合い言葉に、共生型のデイサービスを始めました。目の前にいる方のケアはもちろん、地域が誰にとっても住みやすい地域になるように福祉介護の相談・啓発・学習活動の展開にも積極的に取り組んでいます。</p>

2 申請に係る連絡先

<p>事務所連絡先</p>	
<p>連絡責任者</p>	
<p>E-mail</p>	
<p>連絡手段の優先度</p>	<p>優先順を1、2、3で記入してください。</p> <p>(1) E-mail ・ (2) FAX ・ (3) 郵送</p>

3 役員名簿(別紙添付可)

役職	役員氏名	事業における役割	住所
理事長		法人統括事業管理者	

資料1-6

副理事長	[Redacted]	理事長補佐	[Redacted]
理事			
理事		事務統括	
理事			
理事			
監事			

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

<p>補助対象事業 の名称</p>	<p>みんなのサンタ 介護福祉の講演会</p>																																								
<p>補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)</p>	<table border="1"> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進	<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進	<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進	<input type="checkbox"/>	4 観光の振興	<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興	<input type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	<input type="checkbox"/>	7 環境の保全	<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動	<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保	<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進	<input type="checkbox"/>	11 国際協力	<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進	<input checked="" type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成	<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展	<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興	<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化	<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護	<input checked="" type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
<input checked="" type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進																																								
<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進																																								
<input type="checkbox"/>	4 観光の振興																																								
<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興																																								
<input type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																								
<input type="checkbox"/>	7 環境の保全																																								
<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動																																								
<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保																																								
<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進																																								
<input type="checkbox"/>	11 国際協力																																								
<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成																																								
<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展																																								
<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興																																								
<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化																																								
<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																								
<p>解決したい地域課 題は何ですか</p>	<p>認知症になっても住み慣れた地域で生活を続けたい</p>																																								
<p>地域課題により困 っている人は誰で すか</p>	<p>認知症当事者、その家族、周囲の人々</p>																																								
<p>事業を行う目的は 何ですか</p>	<p>高齢者介護の啓発、地域社会福祉の増進 (スイスで看護介護が一体となって、全人的介護を実践している講師を招き地域で生きていくことの希望を叶える方法を学びます。)</p>																																								
<p>事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記載)</p>	<p><u>講演会</u> セミナー 講座 研修会 ワークショップ 交流会 大会開催 発表会 コンサート 訓練・養成 体験学習 フェスティバル 保全活動 その他：</p>																																								
<p>事業の主体 (該当するものに○)</p>	<p><u>当該団体</u> /市の他課 /他の団体 /その他 () 上記に関する補足</p>																																								

改善状況	審査会からの指摘事項(以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">指摘 <u>なし</u></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">/</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">指摘 あり</td> </tr> </table> <div style="margin-left: 150px;">改善策</div>	指摘 <u>なし</u>	/	指摘 あり	
指摘 <u>なし</u>	/	指摘 あり			
事業 内 容	事業の <u>対象者</u> は誰ですか 認知症当事者、家族、看護・介護関係者、関心のある一般市民 (参加想定人数 50人)				
	事業はいつ行 いますか 2025年9月を予定しています 講師の帰国予定に合わせて具体的に日程を調整します。 (講師は年3回程度帰国しています)				
	事業は <u>どこで</u> 行いますか 市川市内(全日警ホール、男女共同参画センター、アイリンクルームなど)				
	事業を <u>どのよ</u> <u>うに行います</u> か (事業の内容 を具体的に記 載してくださ い。) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 内容 土曜日の午後2時から4時 リッチャー美津子氏を招き講演会を開催します 公演は90分程度、その後参加者と質疑応答を行います。 </td> <td style="vertical-align: top;"> 準備 ・講師の帰国日程が決定し次第開催日程を決定(現在調整中) ・市川市、市川市社会福祉協議会へ後援を依頼 ・チラシ作成、SNSなどにより告知開始 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="vertical-align: top;"> 開催 ・毎年1回講演会を開催してきています。 開催に伴う事務及び諸事は、会員・ボランティアが行います。 </td> </tr> </table>	内容 土曜日の午後2時から4時 リッチャー美津子氏を招き講演会を開催します 公演は90分程度、その後参加者と質疑応答を行います。	準備 ・講師の帰国日程が決定し次第開催日程を決定(現在調整中) ・市川市、市川市社会福祉協議会へ後援を依頼 ・チラシ作成、SNSなどにより告知開始	開催 ・毎年1回講演会を開催してきています。 開催に伴う事務及び諸事は、会員・ボランティアが行います。	
	内容 土曜日の午後2時から4時 リッチャー美津子氏を招き講演会を開催します 公演は90分程度、その後参加者と質疑応答を行います。	準備 ・講師の帰国日程が決定し次第開催日程を決定(現在調整中) ・市川市、市川市社会福祉協議会へ後援を依頼 ・チラシ作成、SNSなどにより告知開始			
開催 ・毎年1回講演会を開催してきています。 開催に伴う事務及び諸事は、会員・ボランティアが行います。					
外部講師等へ の依頼はあり ますか なし / <u>あり</u> (参加する市民の人数 50人)					

準備スケジュール(別紙添付可)	(時期)	(やること)	(担当人数)
	4月	講師との連絡調整	1名
	5月	開催日時の決定	理事6名で決定
	6月		
	7月	後援依頼 会場予約 チラシ作成	1名 1名 1名
	8月		
	9月	講演会開催	受付、司会など 8名程度
	10月		
	11月	決算、報告書作成	1名
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
広報の計画及び方法	<p>※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。</p> <p>1 広報の計画 (別紙添付可) ホームページ、SNSによる広報 チラシ作成…配布先 高齢者サポートセンター、介護事業所 社会福祉協議会 公民館等東</p> <p>2 広報の方法</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> インターネットを活用した情報発信 (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook) フリーペーパーへの掲載</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広報いちかわ(市民の広場)に掲載</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等 その他</p>		

様式第4号(第5条関係)

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収入】

(単位:円)

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	25,000	500円×50人
寄附金収入		
補助金収入	32,500	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	11,540	団体の本会計より充当
合計	69,040	

2 【支出】

(単位:円)

項目	金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	50,000	50,000	講師謝礼 50,000円×1名
交通費			
消耗品費	4,000	4,000	インク代 3,000円 用紙代 1,000円
印刷製本費			
通信運搬費	11,000	11,000	切手購入 110円×100通
保険料			
使用料 及び賃借料	4,040	0	全日警ホール第3会議室(全面) 1010円×4時間 ※公の施設使用料の減免を 受けるため、補助対象外
原材料費			
合計	69,040	65,000	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書(様式第11号)を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書(様式第12号)とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)

団体要件・事業要件に関する宣誓書

◆確認事項

団体要件	以下、該当する項目に☑チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 法令、条例等に違反する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない <input checked="" type="checkbox"/> 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない <input checked="" type="checkbox"/> その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下、該当する項目に☑チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 原則として市内において実施する <input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 参加者の50%以上は市川市民を予定している <input checked="" type="checkbox"/> 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としてない <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

2025年 1月 14日

団体名 特定非営利活動法人みんなのサンタ

代表者名

(その他市長が必要と認める書類)

令和5年度の事業報告

団体名称

1. 事業の成果

2023年度は、2022年12月にオープンした「地域密着型通所介護サンタのおうち」が歩みを確実なものにできた1年でした。サンタのおうちは7月、千葉県より「障害者共生型生活介護事業所」の指定を受け、12月には「障害者地域生活支援センター」の届出が市川市に受理されました。ごちゃまぜのケアを目指し、確実に歩みを進めることができました。

みんなの食堂を始めとした地域活動もコロナによる休止状態のダメージからほぼ回復し、休止が続く活動もありますが、ほぼ順調にあゆみ始めました。今年度初めから新たに「暮らしの保健室」「ケアラズカフェサンタすまいる」が新たに加わりました。こどもの居場所「あそびとまなび」や「ふれあいマラソン」などとあわせ地域の居場所としての役割をより発揮できるようになって

パナンス評価を受けることができました。自立し自律した法人運営が評価されたものと受け止めています。今後よりいっそう民主的で公開性を高く維持し、地域の方々と共に歩む事業展開と法人運営に尽力します。

2023年度も、多くの方々からのご支援をいただきました。会員・賛助会員、一般の方からの金員や野菜などの食材等々のご寄付、活動へのご協力もたくさんいただきました。市川市、千葉県、厚生労働省からの運営補助金に加え、生活クラブ生協（助成金）、ノーツすこやかこども財団（かき氷機・アイスいます）。

組織強化の課題では、地域住民をはじめとした皆さんにみんなのサンタの活動をお伝えする機会が前年度に引き続きありました。高齢者の会ナルク、岐阜県社会福祉協議会（オンライン）、日本福祉大学通信教育学部東京地域学習会、などです。

目標に掲げた賛助会員の増加は不十分な結果に終わりましたが、コロナ感染の影響で底を打った感のあるボランティアは、少しづつではありますが増加の兆しが見えてきました。まだ少ないですが、学生ボランティアに動きが見えてきているのは嬉しいことです。

2023年度も、多くの方々からのご支援をいただきました。会員・賛助会員、一般の方からの金員や野菜などの食材等々のご寄付、活動へのご協力もたくさんいただきました。市川市、千葉県、厚生労働省からの運営補助金に加え、生活クラブ生協（助成金）、ノーツすこやかこども財団（かき氷機・アイスクリームメーカー）、株式会社日販（絵本・紙芝居）など多くの民間団体からの助成金や物品の寄付もいただきました、心より感謝申し上げます。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかると事業（市民（会員以外）の参加がある事業）

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
高齢者、障がいを持つ人、一人親家庭の親子に対する食事の提供	子ども食堂 子供への食事提供、 独居高齢者、障害者 等生活困窮者への食 事提供	毎月第2土 曜日	サンタのおう ち	120人	360人 (300人)	838,128
学習機会の不十分な児童に対するボランティアによる学習支援	子どもの居場所「あ そびとまなび」 午前は学習支援昼食 をはきみ午後は体	毎月第1、 第3土曜日	サンタのおう ちおうち	100人	70人 (70人)	
障害を持つ子供を対象とするマラソンクラブの運営	ふれあいマラソン 障害児の体力増進	毎月第1、 第3日曜日	江戸川土手他	72人	400人 (300人)	9,585
高齢者、障がい者等大賞としたレクリエーション及びコミュニティにゲーシヨンの場の提供	みんなのオアシス 居場所、多目的サロ ン、絵手紙、省議、 麻雀等	毎週月曜日	サンタのおう ち	80人	170人 (170人)	16,432
介護保険法による通所介護事業及び介護予防通所介護事業	地域密着型通所介護 (共生型)	月曜から金 曜	サンタのおう ち	1,075人	1,096人 (1,096人)	17,990,698
障害者総合支援法による障害福祉サービス及び障がい者地域生活支援事業	共生型生活介護 地域活動支援セン ターⅢ型	月曜から金 曜	サンタのおう ち	72人	40人 (40人)	
庭木の剪定草刈り、家具の異動、通院同行、高齢者及び障害者の日常生活に関する支援	サンタふれあい助け あい	随時	随所	40人	40人 (40人)	172,780
地域住民の医療や健康、介護、暮らしの相談に関する支援	暮らしの保健室 おもちゃ図書館	毎月第4土曜 日	サンタのおう ち	40人	30人 (30人)	
小計				1,527人 (a)	2,206人(b) (2,046人)	19,027,623(c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				0人 (d)	0人(e) (0人)	0(1)
合計				(a) + (d) = (g) 1,527	(b) + (e) = (h) 2,206	(c) + (f) = (1) 19,027,623

全活動に占める社会貢献活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (g)	(b) / (h)	(c) / (1)
	100%	100%	100%

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

R7 年 1 月 7 日

市川市長

団体名 市川わんぱく広場実行委員会
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

- 1 補助対象事業の名称
一日プレーパーク「わんぱく広場」
- 2 補助対象事業の概要
(補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。
別紙添付可。)

子どもの成長には体験、その中でも自分の意志で工夫したり、こども同士あるいは地域の大人と交流したりできる場が欠かせません。地域の公園を会場として誰でも自由に参加できる場を提供することで、地域の子どもたちが自由な遊び体験をすることができます。地域の大人にとってもプレーパークを実際に知ることで、子どもの遊び環境に目を向けるきっかけとなります。

また、地域の大人と子どもが遊びを通して知り合いになることで、子どもたちを見守る目が増えることも期待できます。

- 3 申請に係る補助対象事業の申請回数
(該当する回数に○を付けてください。) 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額 356,000 円

5 補助対象経費総額 264,000 円

6 交付申請額 132,000 円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書 (様式第2号)
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書 (様式第3号)
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書 (様式第4号)
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類

1 団体の概要

団 体 名	市川わんぱく広場実行委員会		
代 表 者 氏 名	[REDACTED]		
主たる事務所の所在地	[REDACTED]		
	【 専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ <input type="checkbox"/> その他 (他団体事務所内)】		
その他事務所の所在地	なし		
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<input type="checkbox"/> 1 保健、医療又は福祉の増進 <input checked="" type="checkbox"/> 2 社会教育の推進 <input type="checkbox"/> 3 まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 4 観光の振興 <input type="checkbox"/> 5 農業又は水産業の振興 <input type="checkbox"/> 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 7 環境の保全 <input type="checkbox"/> 8 災害救援活動 <input type="checkbox"/> 9 地域の安全の確保 <input type="checkbox"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 11 国際協力 <input type="checkbox"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 <input checked="" type="checkbox"/> 13 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 14 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 15 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 16 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 <input type="checkbox"/> 18 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 <input type="checkbox"/> 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野		
設 立 年 月 日	2020年4月1日	会 員 数	21名(2024年12月現在)
ホームページ		E-mail	Wanpakuasobi@gmail.com
会報等の発行	有 (回 発行) ・ <input type="checkbox"/> 無		
団体の活動目的	プレーパーク事業を行うことにより子どもたちが安心して人と関われる居場所をもち、地域の中で自己肯定感を高めながら成長すること		
団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	(注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動(不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。)」のことが定められていますか。(<input checked="" type="checkbox"/> はい ・ <input type="checkbox"/> いいえ)		

資料1-7

主な事業内容	プレーパーク「わんぱく広場」の実施 市民にプレーパーク、子どもの遊びへの理解を深めるための啓発
これまでの主な活動実績	2020年度より プレーパーク「わんぱく広場」を毎年年間3回から4回実施 会場として市内3ヶ所の公園を利用(行徳南部公園、東海面公園、駅前公園) 主な参加者は会場近隣の幼児～小学生とその保護者 継続して実施していることで、中学生以上のボランティアが参加
団体の主たる取組を簡潔に記載してください。	助成金実績 2021年度・2023年度バルシステム千葉コミュニティ活動助成基金より
これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください(自由記載)。	2021年度よりイオン幸せの黄色いレシートキャンペーン イオン南行徳店応援登録団体
団体の特徴、アピールをしたいこと等	子どもたちが遊びの中で得られるものは多く、成長に欠かせないものです。プレーパークを通してそのことを多くの保護者、地域の大人に伝え、子どもが子どもらしく過ごせる遊び環境を地域に広げていきたいと活動をしています。「こども真ん中社会」の実現のためにもあたたかい目を増やしていきたいと思っています。

2 申請に係る連絡先

事務所連絡先	
連絡責任者	
E-mail	
連絡手段の優先度	優先順を1、2、3で記入してください。 (1) E-mail ・ (2) FAX ・ (3) 郵送

3 役員名簿(別紙添付可)

役職	役員氏名	事業における役割	住所
実行委員長		責任者	
副実行委員長		受付 広報	
事務局		会計 名簿管理	
監査		会計監査	
役員		用具管理	

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	一日プレーパーク「わんぱく広場」																																								
補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)	<table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進	<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進	<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進	<input type="checkbox"/>	4 観光の振興	<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興	<input type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	<input type="checkbox"/>	7 環境の保全	<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動	<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保	<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進	<input type="checkbox"/>	11 国際協力	<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進	<input checked="" type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成	<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展	<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興	<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化	<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護	<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進																																								
<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進																																								
<input type="checkbox"/>	4 観光の振興																																								
<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興																																								
<input type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																								
<input type="checkbox"/>	7 環境の保全																																								
<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動																																								
<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保																																								
<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進																																								
<input type="checkbox"/>	11 国際協力																																								
<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成																																								
<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展																																								
<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興																																								
<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化																																								
<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護																																								
<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																								
解決したい地域課 題は何ですか	<p>2023年のこども家庭庁発足を契機に社会全体が子どもに目を向けるようになり、課題のある子どもたちの環境は改善されつつあるようです。が、いわゆる「ふつう」の子どもにとっては競争的な社会や休息や遊びの環境が整っていないなどまだまだ問題が山積しています。</p> <p>市内でも特に南部地域は東京へのアクセスも良いため、転入者や核家族、海外から来た方など地域との交流の少ない家庭が多く、上記の問題もより顕著です。子どもの育ちにとって大事なものが何か、地域で共有し、改善する必要があります。</p>																																								
地域課題により困 っている人は誰で すか	子ども、子育て世代																																								
事業を行う目的は 何ですか	<p>遊びの大切さはそれを実際に体験し、遊びの中で人とのコミュニケーションや自分の発想を形にすることの楽しさを実感しないではわかりません。子どもたちがプレーパークで自由に遊び、思いついたことを実現する、そこには子どもたち同士や見守る大人との交流が欠かせず、人との出会いや関わりが遊びの幅を広げる楽しさがあります。</p> <p>大人にとっても様々な年代の人と出会うことで人と関わる楽しさを感じ、地域との関わりをもつ動機となります。</p>																																								
事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記載)	<p>講演会 セミナー 講座 研修会 ワークショップ 交流会 大会開催 発表会 コンサート 訓練・養成 体験学習 フェスティバル 保全活動</p> <p>○ その他 一日プレーパーク</p>																																								

事業の主体 (該当するものに○)	<input checked="" type="radio"/> 当該団体 / 市の他課 / 他の団体 / その他 () 上記に関する補足		
改善状況	審査会からの指摘事項 (以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <input checked="" type="radio"/> 指摘なし / <input type="radio"/> 指摘あり </td> <td style="width: 50%; text-align: center;">改善策</td> </tr> </table>	<input checked="" type="radio"/> 指摘なし / <input type="radio"/> 指摘あり	改善策
<input checked="" type="radio"/> 指摘なし / <input type="radio"/> 指摘あり	改善策		
事業の対象者は誰ですか	主に小学生、幼児とその子育て世代 地域の方 (参加想定人数 700 人)		
事業はいつ行いますか	4月末(4/27または29)、7月末(7/26または27) 11月、2026年2月		
事業はどこで行いますか	市内公園(行徳南部公園、東海面公園、駅前公園)		
事業内容を具体的に記載してください。	<p>子どもたちが自由な発想で遊べる一日プレーパークを 行徳地域の公園で年間4回実施。 安全面に目配りし、子どもたちの遊びをひろげることの出来る、専門職のプレーリーダーを依頼し、スタッフも子どもへの対応を学びながら実施します。</p> <p>遊び内容はロープ遊び、ハンモック、どろんこあそび、たき火、水遊びダンボール工作、昔あそび、シャボン玉、革細工、アート遊びなど 季節、公園の状況、感染状況などにより遊びの内容は変更します。 また、子どもの発想で遊びが広がるように、プレーリーダーやスタッフが声をかけたり、一緒に遊んだりします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前準備として 公園予約等申請関係、プレーリーダー依頼 広報：コミュニティ紙、SNS、チラシ配布 材料調達 ・当日 9:00 頃より会場準備 ゴミ、危険物を確認 道具、材料の搬入 10:00 受付開始 参加者ととともに遊びを展開 15:00 終了 参加者に声かけして片付け 16:00 ごろ スタッフ振り返り 17:00 完全撤収 <p>天候不良の場合は予備日に実施、SNS等を利用して告知します。</p>		
外部講師等への依頼はありますか	なし / <input checked="" type="checkbox"/> あり (参加する市民の人数 のべ700人) ・講師として専門職のプレーリーダーを依頼		

	(時期)	(やること)	(担当人数)
準備スケジュール(別紙添付可)	4月	年間チラシ配布(行徳地域の学校、幼稚園、保育園等) チラシ配布(近隣の学校、幼稚園・保育園) 「わんぱく広場」行徳新聞掲載依頼 「わんぱく広場」直前準備	7人 5人
	4/27 予備日 29	一日プレーパーク「わんぱく広場」行徳南部公園予定	10人
	5月	「わんぱく広場」振り返り	
	6月		
	7月	チラシ配布(近隣の学校、幼稚園・保育園) 「わんぱく広場」行徳新聞掲載依頼 「わんぱく広場」直前準備	3人 5人
	7/26 予備日 27	一日プレーパーク「わんぱく広場」東海面公園予定	10人
	8月	「わんぱく広場」振り返り	
	9月		
	10月	チラシ配布(近隣の学校、幼稚園・保育園) 「わんぱく広場」行徳新聞掲載依頼 「わんぱく広場」直前準備	3人 5人
	11月	一日プレーパーク「わんぱく広場」行徳南部公園予定 「わんぱく広場」振り返り	10人
	12月		
	1月	チラシ配布(近隣の学校、幼稚園・保育園) 「わんぱく広場」行徳新聞掲載依頼	4人
	2月	「わんぱく広場」直前準備 一日プレーパーク「わんぱく広場」駅前公園予定 「わんぱく広場」振り返り	5人 12人
3月			
広報の計画及び方法	<p>※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。</p> <p>1 広報の計画(別紙添付可) 実施1ヶ月程度前に近隣学校・幼稚園保育園等を通じチラシ配布共催団体の事業実施の際にチラシ配布</p> <p>2 広報の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ インターネットを活用した情報発信 (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、ツイッター等) ■ フリーペーパーへの掲載 □ 広報いちかわ(市民の広場)に掲載 ■ 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等 <p>その他 ()</p>		

資料1-7

様式第4号(第5条関係)

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収 入】

(単位:円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入		
寄附金収入	80,000	カンパ5,000×4回 寄付金60000
補助金収入	132000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	144,000	団体の本会計より充当
合 計	356000	

2 【支 出】

(単位:円)

項 目	金 額	うち補助対象金額	説 明 (積算等)
報償費	68,000	68000	ブレイリーダー謝金 15,000×4回 交通費 2,000×4回
交通費	22,500	22500	当日交通費 スタッフ450×10人×4回 駐車料金(駅前公園会場)1,500×3台
消耗品費	95,000	95,000	ゴミ袋・ひも6000 文具等5,000 プログラム・受付用紙等印刷用紙 8,000×2箱 インク9000×3 革工作材料(カラーペン・ゴム紐ほか)8,000 段ボール工作材料(ガムテープ・ひも)12,000 アート材料(絵の具ほか)6,000 熱中症対策(塩タブレット・飲料・紙コップ)5000×春夏2回 保健関係(傷バン他)5,000
印刷製本費	35,000	35000	カラーパンフ30,000 ポスター等コピー代 5,000
通信運搬費			
保険料	19600	19600	行事保険 28×200人×2日 28×150人×2日
使用料 及び賃借料	16,000	16000	外遊びの会用具使用料 4,000×4回
原材料費	7,900	7900	シャボン玉材料費7,900
スタッフ費	92,000		2,000×10人×4回 用具運搬車金 3,000×4回
合 計	356000	264000	

備考

- 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書(様式第11号)を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書(様式第12号)とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)

団体要件・事業要件に関する宣誓書

◆確認事項

団体要件	以下、該当する項目に☑チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 法令、条例等に違反する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない <input checked="" type="checkbox"/> 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない <input checked="" type="checkbox"/> その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下、該当する項目に☑チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 原則として市内において実施する <input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 参加者の50%以上は市川市民を予定している <input checked="" type="checkbox"/> 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としてない <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

令和 7 年 1 月 7 日

団体名 市川わんぱく広場実行委員会

代表者名

資料1-7

(その他市長が必要と認める書類)

令和6年度の事業報告

団体名称

1. 事業の成果

様々な背景を持つ子どもたちが、「自分の責任で自由に遊ぶ」というプレーパークの主旨を理解し工夫して遊ぶ姿が毎回見られた。大人も我が子以外の子どもや初めて出会う大人同士交流し、地域の中で交流する場としての役割を果たしていた。

また、子ども同士も異年齢での関わりを楽しみ、自分が遊びの中で学んだこと(火起こしやロープの結び方など)を他の子に教えるなどすることで自信につながっていた。

同一の会場で継続して実施してほしいとの要望もあるが、3つの会場で行うことでより多くの子どもたちに経験する機会を提供できた。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
わんぱく広場	プレーパーク	4月28日	行徳南部公園	15人	235人 (220人)	76,000
わんぱく広場	プレーパーク	8月25日	東海而公園	19人	108人 (95人)	70,000
わんぱく広場	プレーパーク	11月4日	行徳南部公園	15人	154人 (144人)	73,000
わんぱく広場	プレーパーク	2025.2/9	駅前公園	人	人 (人)	81,000
小計				49人 (a)	497人(b) (459人)	300,000(c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

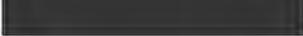
事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
定期総会	2023年度事業報告 2023年度決算報告 2024年度事業計画案 2024年度予算案	5月12日	事務所	15人	15人 (15人)	
実行委員会	2025年度事業に向けて	12月7日	事務所	10人	10人 (10人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				25人 (d)	25人(e) (25人)	0(f)
合計				(a) + (d) = (g) 74	(b) + (e) = (h) 522	(c) + (f) = (i) 300,000

全活動に占める社会貢献活動の割合	(a) / (g)	(b) / (h)	(c) / (i)
※ 小数点以下は四捨五入してください。	66%	95%	100%

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

令和6年12月13日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人 M&M Table
代表者名 
所在地 

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象事業の名称

いちかわのほほん古本市

2 補助対象事業の概要

(補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。
別紙添付可。)

添付別紙

s

3 申請に係る補助対象事業の申請回数

(該当する回数に○を付けてください。) 1回 / 2回 / 3回 / ④回以上

4 補助対象事業費総額 450,814 円

5 補助対象経費総額 345,814 円

6 交付申請額 150,000 円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書(様式第2号)
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書(様式第3号)
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書(様式第4号)
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書 添付別紙

補助対象事業の概要

本事業により市民の交流の場を広く設け、豊かな人間性とコミュニケーションを育むことを目的とする。この目的のもと、若い世代を中心に地域で活動できる場をつくり、様々な知識と教養を身につける機会を提供する。これによって、高齢化している地域コミュニティの活性化と社会関係資本(地域・人・信頼関係)の強化、お互いを認め合う心豊かな社会を目指す。

現状や課題、社会的背景と問題提起

近年、日本人の著しいコミュニケーション能力の低下が懸念されています。聞く力・伝える力が低下したことで会話が噛み合わなくなったり、質問されたことに対して全体を把握できずに誤解が生じるケースなどが増加しています。

一方、社会では空洞化した人間関係という問題も指摘されています。従来、家族、職場、友人といった三つの居場所が重要とされてきましたが、情報化社会の進展により、人々はそれぞれ異なる情報源から情報を得るようになり、従来の居場所が機能不全に陥っているケースも少なくありません。

こうした課題を踏まえ、従来のサードプレイスとは異なる、地域住民にとって第四象限の居場所づくりが必要不可欠であると考えられます。

課題や問題提起がどのようになれば望ましいと考えているか

地域住民同士、子ども同士の世代を超えた交流の場を創出し、自発的な相互扶助を実現することが望ましいと考えています。これは、マニュアルや役割に基づいた画一的な支援ではなく、善意と自発性に基づいた支援であるべきです。

本事業を通じて、顔の見える地域交流と新しい居場所を構築し、国語力やコミュニケーションスキルを身につけることで、子どもたちにとって荒波を乗り越えて人生を切り開いていくための力となり、大人にとっては世代を超えた交流の場として、本質的で普遍的な価値観を共有することで、人々がより豊かな心で生活できる社会の実現に貢献できると確信しています。

1 団体の概要

団体名	特定非営利活動法人 M&M T a b l e		
代表者氏名			
主たる事務所の所在地			
その他事務所の所在地	無し		
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに□ その他分野に○	<input type="checkbox"/> 1 保健、医療又は福祉の増進 <input type="checkbox"/> 2 社会教育の推進 <input type="checkbox"/> 3 まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 4 観光の振興 <input type="checkbox"/> 5 農業又は水産業の振興 <input checked="" type="checkbox"/> 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 7 環境の保全 <input type="checkbox"/> 8 災害救援活動 <input type="checkbox"/> 9 地域の安全の確保 <input type="checkbox"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 11 国際協力 <input type="checkbox"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 <input checked="" type="checkbox"/> 13 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 14 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 15 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 16 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 <input type="checkbox"/> 18 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 <input type="checkbox"/> 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野		
設立年月日	令和6年8月26日	会員数	11名(令和6年12月現在)
ホームページ	https://note.com/np_o_mm_table/	E-mail	npommtable@gmail.com
会報等の発行	有 (回 発行) ・ <input type="checkbox"/> 無		

<p>団体の活動目的</p> <p>団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。</p>	<p>わたしたちは文化芸術に関する交流の場を広く設け、豊かな人間性とコミュニケーション能力を育むことを目的として特定非営利活動法人として設立いたしました。この目的のもと、若い世代を中心に地域で活動できる場をつくり、さまざまな知識と教養を身につける機会を提供することを志します。これにより、高齢化している地域コミュニティの活性化と社会関係資本（地域・人・信頼関係）の強化、お互いを認め合う心豊かな社会づくりを目指します。</p> <p>(注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動（不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。）」のことが定められていますか。（ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ）</p>
<p>主な事業内容</p>	<p>【社会教育領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民提案型図書館利活用事業 「いちかわのほほん古本市」企画、運営、実施 ・好きな本を推しあおう「推し本語り」の開催 ・市川市子どもの居場所づく居場所づくり支援事業 こども食堂開催、運営 ・市川市社会福祉協議会 てるぼサロン開催 ・図書館マナー啓発事業「書庫の本を虫干ししよう」企画、運営、実施 <p>【文化芸術活動領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生による美術作品展示の企画、運営 ・美術に親しむワークショップの企画、開催 ・写真サークル活動 ・美術館、博物館などの文化芸術施設、史跡巡りなどの企画、運営、実施 <p>【コミュニケーションデザイン領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報、宣伝支援事業 ・動画など制作支援事業 ・イベント企画、運営、実施支援事業
<p>これまでの主な活動実績</p> <p>団体の主たる取組を簡潔に記載してください。</p> <p>これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください（自由記載）。</p>	<p>【任意団体時代】</p> <p>時期 令和5年4月から 内容 てるぼサロンの活動を継続、併せて子ども食堂事業を月一回開催 対象 近隣の住民年間約 100 人</p> <p>時期 令和5年5月27日 内容 いちかわのほほん古本市を市川市生涯学習センターにて企画・運営・実施 安心できる市民の居場所としての図書館の利活用促進として令和5年度市川市教育委員会図書館推し活事業として採択を受ける 後援 市川市教育委員会 対象 市川市及び近隣の住民約 2000 人</p> <p>時期 令和5年10月1日～10月31日 内容 千葉県の高校生による美術作品展示を団体所有の画廊にて開催 後援 市川市教育委員会 千葉 150 周年記念事業パートナー（千葉県文化振興課） 対象 市川市及び近隣の住民約 150 人</p> <p>時期 令和5年11月5日 内容 いちかわのほほん古本市を市川市生涯学習センターにて企画・運営・実施 安心できる市民の居場所としての図書館の利活用促進として令和5年度市川市教育委員会図書館推し活事業として採択を受ける</p>

	<p>後援 市川市教育委員会 対象 市川市及び近隣の住民約 2000 人</p> <p>時期 令和 6 年 1 月 21 日 内容 いちかわのほほん古本市 龍の舞を団体所有の画廊にて開催 対象 市川市及び近隣の住民約 150 人</p> <p>時期 令和 6 年 4 月から てるぼサロンの活動を継続、併せて子ども食堂事業を月一回開催 対象 近隣の住民年間約 100 人</p> <p>時期 令和 6 年 4 月から 内容 市民同士の交流の場として「押し本語り」という自分の好きな本を紹介しあう場を団体所有の画廊にて月一回開催 対象 近隣の住民年間約 200 人</p> <p>時期 令和 6 年 7 月 7 日 内容 夜のいちかわのほほん古本市を団体所有の画廊にて開催 対象 市川市及び近隣の住民約 200 人</p> <p>【法人化以降】</p> <p>時期 令和 6 年 11 月 2 日 内容 市川市生涯学習センター開館 30 周年記念企画「いちかわのほほん古本市」を市川市生涯学習センターにて企画・運営・開催安心できる市民の居場所としての図書館の利活用促進として市川市生涯学習センター開館 30 周年記念事業として採択を受ける。 後援 市川市教育委員会 対象 市川市及び近隣の住民約 3,500 人</p>
<p>団体の特徴、アピールをしたいこと等</p>	<p>本を軸にした読書関係の社会教育関係、てるぼサロン・こども食堂、美術系の文化施設巡りなどを通じて子ども達の居場所づくりに特に力を注いでいます。</p>

2 申請に係る連絡先

<p>事務所連絡先</p>	
<p>連絡責任者</p>	
<p>E-mail</p>	
<p>連絡手段の優先度</p>	<p>優先順を 1、2、3 で記入してください。 (1) E-mail ・ () FAX ・ (2) 郵送</p>

3 役員名簿 (別紙添付可)

役 職	役 員 氏 名	事業にお ける役割	住 所
理事長		事務局長	
副理事長		会計	
理事		実行委員長	
		スタッフ	
監事		スタッフ	
		スタッフ	
		スタッフ	

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

<p>補助対象事業 の名称</p>	<p>いちかわのほほん古本市</p>																																								
<p>補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)</p>	<table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進	<input type="checkbox"/>	2 社会教育の推進	<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進	<input type="checkbox"/>	4 観光の振興	<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興	<input checked="" type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	<input type="checkbox"/>	7 環境の保全	<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動	<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保	<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進	<input type="checkbox"/>	11 国際協力	<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進	<input checked="" type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成	<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展	<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興	<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化	<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護	<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進																																								
<input type="checkbox"/>	2 社会教育の推進																																								
<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進																																								
<input type="checkbox"/>	4 観光の振興																																								
<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																								
<input type="checkbox"/>	7 環境の保全																																								
<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動																																								
<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保																																								
<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進																																								
<input type="checkbox"/>	11 国際協力																																								
<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成																																								
<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展																																								
<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興																																								
<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化																																								
<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護																																								
<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																								
<p>解決したい地域課 題は何ですか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書による生涯学習の促進 ・世代を超えた市民同士の交流 ・Z世代への紙の本への親しみと読書推進 																																								
<p>地域課題により困 っている人は誰で すか</p>	<p>生まれたときからのネットの普及により、スマホとネットに慣れ親しんだZ世代のこども達と保護者</p>																																								
<p>事業を行う目的は 何ですか</p>	<p>デジタルネイティブな子どもたちが今後、社会の一員としての思考力や表現力を身に付け、健やかに成長していくためには読書に親しみ、紙の図書に慣れ親しむことが大切だと考えています。そこで地域にある図書館と接点を持ち、子どもたちが自らの意思で通い、居場所となることを志しています。また、イベント性を持たせることで子どもたちだけでなく、幅広い世代の住民の方が参加したいと思えるような楽しさを加味し、図書館だけでなく生涯学習という楽しさを広く住民の方に伝えたく本事業を計画いたしました。</p>																																								
<p>事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記 載)</p>	<p>講演会 セミナー 講座 研修会 ワークショップ 交流会 大会開催 発表会 コンサート 訓練・養成 体験学習 <u>フェスティバル</u> 保全活動</p> <p>その他：</p>																																								

事業の主体 (該当するものに○)	当該団体 / 市の他課 / 他の団体 / その他 () 上記に関する補足 前年度同様11月に生涯学習センターをお借りすることに加え、令和7年2月開館予定の八幡市民交流館ニコットに於いても開催を予定しています。※八幡市民複合施設開設準備担当室■■■■と令和8年3月開催にて調整中。また、市川市教育委員会への後援申請を予定	
改善状況	審査会からの指摘事項 (以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること) 指摘なし 改善策	
事業内容	事業の対象者は誰ですか	小中高生及びその保護者や家族を含め広く住民を対象とします。 (参加想定人数 1,000人)
	事業はいつ行いますか	一回目 令和7年11月2日を予定 (生涯学習センター) 二回目 令和8年3月を予定 (八幡市民交流館ニコット)
	事業はどこで行いますか	一回目 生涯学習センター 二回目 八幡市民交流館ニコット
	事業をどのように行いますか (事業の内容を具体的に記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> 前年度より随時実施 R7年3月には八幡市民交流館ニコットにてテスト開催し導線、人流、危険予知箇所などの洗い出し (団体独自の開催であり本事業外) <p>【実施手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地調査、開催場所打診、前回の気付きと振り返り 開催場所、日程の決定 事業収益の見込める出店者へ周知 (一箱古本市出店者、飲食、雑貨系出店者など) 事業広報 (集客、出店、チラシ配布、自治会周り、広報への掲載依頼) 事業協賛案内 <p>【実施時期】</p> <p>賃借する施設と調整の上、令和7年11月頃と令和8年3月頃</p> <p>【告知・PRについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> チラシ配布、特に会場周辺へのポスティング、本庁管内自治会掲示板への掲示 専用アカウントによるSNSでの周知 広報への掲載 (広報広聴課と調整) 生涯学習センターへの開催告知ポスター掲示 市内公共施設、学校ネットワークを用いたチラシの配布
	外部講師等への依頼はありますか	なし / <input checked="" type="checkbox"/> あり (参加する市民の人数 1,000人)

資料	前年度より (随時実施)	(担当人数)
	<p>前回開催の振り返りと気づきを含めた成果指標の設定と解決策議論のミーティング</p>	10名
令和7年3月	<p>八幡市民交流館ニコットにてテスト開催</p>	10名
	<p>↓ 仮運営マニュアル作成</p>	2名
	<p>↓ 現地視察（交通状況など安全面の確認、導線確認、出展ブース墨出しエリアの確認、出展可能エリアなどの確認）</p>	2名
	<p>↓ 出展要項作成、出展者へ案内、広報関係取材依頼、開催場所との各種調整、協賛案内</p>	5名
	<p>↓ HP制作着手、告知チラシ概案作成、消耗品を含む備品などの購入準備とリストアップ</p>	2名
	<p>↓ 出展者・運営ミーティング</p>	10名
	<p>↓ 決定稿運営マニュアル作成</p>	2名
各々開催の3ヶ月前を目処	<p>↓ 告知チラシ完成各所へ配布</p>	10名
令和7年11月	<p>開催（一回目）生涯学習センター</p>	10名
令和8年3月	<p>開催（二回目）八幡市民交流館</p>	10名
	<p>事業完了報告書提出</p>	2名

準備スケジュール（別紙添付可）（別紙添付可）

<p>広報の計画 及び方法</p>	<p><input type="checkbox"/> 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。</p> <p>1 広報の計画（別紙添付可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ配布、特に会場周辺へのポスティング、本庁管内自治会掲示板への掲示 ・専用アカウントによる SNS での周知 ・広報への掲載（広報広聴課と調整） ・生涯学習センターへの開催告知ポスター掲示 ・市内公共施設、学校ネットワークを用いたチラシの配布 <p>2 広報の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> インターネットを活用した情報発信 （ボランティア・NPO Web、ホームページ、Facebook、ツイッター等） フリーペーパーへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 広報いちかわ（市民の広場）に掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等 <input type="checkbox"/> その他 （同一イベントへ赴き、開催案内と出店案内告知を行い口コミでの拡散）
-----------------------	--

(その他市長が必要と認める書類)

団体要件・事業要件に関する宣誓書

□確認事項

団体要件	<p>以下、該当する項目に□チェックをしてください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 営利を目的としていない ✓ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 ✓ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない ✓ 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない ✓ 法令、条例等に違反する活動をしていない ✓ 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない ✓ 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない ✓ 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない ✓ その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	<p>以下、該当する項目に□チェックをしてください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 原則として市内において実施する ✓ 営利を目的としていない ✓ 参加者の50%以上は市川市民を予定している ✓ 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない ✓ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としてない ✓ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない ✓ 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない ✓ 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

令和6年12月13日

団体名 特定非営利活動法人 M&M Table

代表者名 XXXXXXXXXX

(その他市長が必要と認める書類)

令和6年度の事業報告

団体名称・特定非営利活動法人M&M Table

1. 事業の成果

いずれの事業であっても市民にとって顔の見える地域交流と居場所づくりに資することができ、また、国語力やコミュニケーションスキルの向上、従前まで図書館利用のなかった人は新しく図書カードを作り始める人が現れた。

とくに子ども食堂では学区の違う子ども達の新しい交流が生まれることで人間関係資本が拡がり、不登校、別室登校の子どもも他の子どもと交流することで外へ出たりするようになったと子どもたちから聞いている。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
地域連携による文化芸術振興事業	生涯学習センター開館30周年記念企画いちかわのほほん古本市	11月2日	生涯学習センター	10人	3,500人 (計測不可人)	508,708
	推し本語り	毎月一回	団体事務所	24人	200人 (180人)	40,000
子どもの居場所づくり事業	てるぼサロン	毎月一回	団体事務所	24人	120人 (120人)	30,000
	子ども食堂	毎月一回	団体事務所	36人	120人 (120人)	164,800
小計				94人 ^(a)	3,940人 ^(b) (420人)	743,508 ^(c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				0人 ^(d)	0人 ^(e) (0人)	0 ^(f)
合計				(a)+(d)=(g) 94	(b)+(e)=(h) 3,940	(c)+(f)=(i) 743,508

全活動に占める社会貢献活動の割合	(a)/(g)	(b)/(h)	(c)/(i)
※ 小数点以下は四捨五入してください。	100%	100%	100%

様式第4号(第5条関係)

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収入】

(単位:円)

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	106,500	11月開催(一箱古本市@1,500×15=22,500 飲食雑貨@5000×10=50,000) 72,500円、3月開催(一箱古本市@1,500×12=18,000 飲食雑貨@4000×4=16,000) 34,000円※前年度実績より算出
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他(助成金等)		
会費充当	194,314	団体の本会計より充当
合計	450,814	

2 【支出】

(単位:円)

項目	金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	55,000	50,000	運営ディレクター費(生涯学習センター開催時のみ)
交通費	0	0	適用なし
消耗品費	35,973	35,973	コピー用紙@2,000x2、プリンターインク@4,500x2、パスホルダー@680x2、養生テープ@2,309x2、パス用印刷カード@2,695、ペーパーカッター@2,300、クリアファイル@1,500、付箋紙@1,000、トイレットペーパー(施設補充用)@5,500、箱ティッシュ@2,000、軍手@2,000等
印刷製本費	50,000	50,000	告知チラシ(A4 4色/1色)印刷5,000枚×2回@15,000 デザイン@10,000×2回
通信運搬費	33,000	33,000	レンタル備品運搬費(@16,500x2) 税込み前年度実績
保険料	28,000	28,000	来場者傷害保険@28円×1日間×1000人(生涯学習センター開催時、ニコット開催時についてはR7年3月テスト開催後に検討) 社協イベント保険使用
使用料及び賃借料	148,841	148,841	八幡市民交流館賃借料(5,841税込 後援減免料金)、椅子、テーブル、立看板スタンド、誘導コーン、ドラムリール×6、延長ケーブル×5、クーラーボックス、スタッフ用トランシーバー×5等(前年実績に基づく2日間分)
原材料費	0	0	適用なし
専用HP開設	50,000		出店申込専用フォームCRM制作、制作費
スタッフ昼食	20,000		@1000円×10人×2日間
会議費	30,000		スタッフ打ち合わせ軽食及び飲料
合計	450,814	345,814	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助金決定事業実績報告書(様式第11号)を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書(様式第12号)とともに領収書を添付する必要があります。

資料2 1回目の申請(※昨年比較データがなく、予算金額欄が黄色の網掛けになっています)

事業番号		団体番号		団体名		回数		活動分野		目的	
42	121	特定非営利活動法人LIBERTY BELL		1回目		1		1		保健、医療又は福祉の増進	
				医療・福祉講演会		事業の該当分野		1		保健、医療又は福祉の増進	

直近年度の申請内容(交付決定時)			令和7年度の申請内容		
【直近申請年度】	金額	【事業の概要説明】	金額	金額	【事業の概要説明】
事業費総額	0		事業費総額	260,000	補助対象事業の目的は市川市民を対象に、医療・福祉講演会を行うことにより、自分や家族、友人に至るまで、健康・福祉について知る事を促進することを目的とする。医療面では現在名古屋医師を招聘し講演会の予定をしています。老後の生活の仕方、老人福祉施設について、介護保険などについても題目を考えており、社会資源をうまく使うことにより、老後を楽しく不安なく、健康寿命を延ばし、過ごしていける事を目的としています。また、高齢化社会において、救急問題もあります。厚生労働省のガイドラインにより、人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスを知ることにより、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)急変時の本人の意思の尊重や、家族の心構えなど、ACPについても学べるような講演会にしていきたいことを目的とします。講演会での効果については、参加していただいた方々、講演会の資料(パワーポイントの資料・緊急時に必要な病院受診ファイル(仮名称)などを配布し、参加できなかった方々にも読んでいただける工夫をし、幅広く知り、学んで頂くことを目的とする。現在講演会については年間4回から6回を予定しています。
補助対象総額	0		補助対象総額	242,000	
交付申請額	0		交付申請額	121,000	

収入		金額		収入		金額		説明	
事業収入	0	事業収入	0	事業収入	0				
寄附金収入	0	寄附金収入	0	寄附金収入	0				
補助金収入	0	補助金収入	121,000	補助金収入	121,000	市川市民活動団体事業補助金			
その他(助成金等)	0	その他(助成金等)	0	その他(助成金等)	0				
会費充当	0	会費充当	139,000	会費充当	139,000	団体の本会計より充当			
合計	0	合計	260,000	合計	260,000				

支出		金額		補助対象金額		支出		金額		補助対象金額		説明	
報償費	0	報償費	50,000	報償費	50,000	年末講演者(医師)に対する報償費							
交通費	0	交通費	23,000	交通費	23,000	荷物車搬送及び従事者の交通費							
消耗品費	0	消耗品費	107,500	消耗品費	107,500	○コピー用紙 @500円(500枚入り)×6冊=3,000円 ○資料綴じ込みファイル @430円×150部=64,500円 ○熱中症対策飲料 @150円×150人=22,500円 ○コピー代 @5円×3000枚=15,000円 ○クリアファイル @1,250円(100枚セット)×2=2,500円							
印刷製本費	0	印刷製本費	70,000	印刷製本費	52,000	講演会用宣伝チラシ ○第1・2・3・4・6回目 @11,300円×5回(各2000部)=56,500円 ○第5回目 @13,500円×1回(4000部)=13,500円 ※事業総額の20%が補助対象							
通信運搬費	0	通信運搬費	0	通信運搬費	0								
保険料	0	保険料	0	保険料	0								
使用料及び賃借料	0	使用料及び賃借料	9,500	使用料及び賃借料	9,500	宮久保自治会館、全日警ホ-ルなど							
原材料費	0	原材料費	0	原材料費	0								
食糧費	0	食糧費	0	食糧費	0								
表彰費・参加賞・賞状	0	表彰費・参加賞・賞状	0	表彰費・参加賞・賞状	0								
会議費	0	会議費	0	会議費	0								
謝金	0	謝金	0	謝金	0								
その他	0	その他	0	その他	0								
合計	0	合計	260,000	合計	242,000	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)							

前年度の審査会コメントや指摘事項・改善状況	審査会で特に審議頂きたい点	事業計画概要
		実施時期、方法、場所 年4回から6回を予定(5月~2月)に宮久保自治会館、全日警ホ-ル、市民活動センター、八幡市民交流館、柏井公民館等で1時間~1時間30分程度の講演会を行う
		内容 医療・福祉に対する知識向上の講演会。その他、個別相談を実施。帰宅後でもわかるように講演会での発表用資料の配布も検討。

資料2 1回目の申請(※昨年比較データがなく、予算金額欄が黄色の網掛けになっています)

事業番号	団体番号	事業名	回数	団体の活動分野	予算金額	事業の進捗
43	122	鬼まち一家	1回目	団体の活動分野	3	まちづくりの推進
		鬼まち一家「鬼まちマルシェ」		事業の該当分野	3	まちづくりの推進

直近年度の申請内容(交付決定時)		令和7年度の申請内容	
【直近申請年度】	0	【事業の概要説明】	【事業の概要説明】
事業費総額	0	事業費総額	577,630
補助対象総額	0		385,630
交付申請額	0		192,815

収入	金額	収入	金額	説明
事業収入	0	事業収入	307,300	出店料1,500円×25店/4回、1,300円×7店/3回。売上13万円
寄附金収入	0	寄附金収入	0	
補助金収入	0	補助金収入	192,815	市川市市民活動団体事業補助金
その他(助成金等)	0	その他(助成金等)	0	
会費充当	0	会費充当	77,515	団体の本会計より充当
合計	0	合計	577,630	

支出	金額	補助対象金額	支出	金額	補助対象金額	説明
報償費	0	0	報償費	60,000	60,000	パフォーマー5,000円 3人×4回
交通費	0	0	交通費	39,020	39,020	スタッフ交通費 @440×3 @300×2 @340×1 開催回数7回 パフォーマーパーキング @1,100×3 開催回数4回 ボランティアスタッフ交通費 @500×5 開催回数4回
消耗品費	0	0	消耗品費	125,000	125,000	各イベント装飾・ゴミ袋等消耗品 1,000円×7回 生花・甘茶・かぼちゃ・豆等各イベント消耗品 約7,500円×4回 夏のイベント露店販売仕入れ代(ロゴアイズ、シロップ、容器、ストロースプーン、雑巾、ペーパー、フランクフルト、ケチャップ、マスタード、容器、炭)計25,000円
印刷製本費	0	0	印刷製本費	24,500	24,500	チラシ印刷2,000円×7回、他提出書類印刷代 1,500円×7回
通信運搬費	0	0	通信運搬費	1,320	1,320	出店者と連絡書類郵送代 110円×3人×4回
保険料	0	0	保険料	5,890	5,890	賠償責任保険(施設・生産物に対し)
使用料及び賃借料	0	0	使用料及び賃借料	89,000	77,000	神明寺使用料@11,000円×開催回数7回 ミーティング時 1,000円×12回(対象外)
原材料費	0	0	原材料費	38,900	38,900	春:梅雨を楽しむレイングッズ作成(傘330円×20人+ビニールテープ110円×10個+油性ペン110円×20本)計9,000円 秋:ハロウィン節分仮装衣装(5,000円×3体)計15,000円 冬:懐かしい遊び道具作成(羽子板500円×20人+こまの作成200円×20人)計14,000円
食糧費	0	0	食糧費	0	0	
表彰盾・参加賞・賞状	0	0	表彰盾・参加賞・賞状	0	0	
会議費	0	0	会議費	0	0	
謝金	0	0	謝金	180,000	0	運営スタッフ代
その他	0	0	その他	14,000	14,000	Instagram広告費(各イベント1週間前から当日までの配信イメージはTVのCM)2,000円7回
合計	0	0	合計	577,630	385,630	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)

前年度の審査会コメントや指摘事項・改善状況	審査会で特に審議頂きたい点	事業計画概要	
		実施時期、方法、場所	開催時期 ・2025年4月、5月、7月、8月、10月、12月 ・2026年2月 開催場所 ・神明寺 開催方法 市川市～近辺で活動する出店者と地域住民の架け橋になれるようなマルシェの開催。
		内容	▶各イベント開催時にその時の季節行事を地域で楽しんでもらえる様に何度もミーティングを重ねて検討・準備。協力団体への依頼や打ち合わせを実施。 ▶出店希望者を募る ▶集客のための広報 ▶地域コーディネーターとの連携 ▶子どもへの読み聞かせの会を開催し、親子で交流できる場を設ける。 ▶大規模マルシェの他、未就学児やその親が安心して楽しみ交流が出来る場を提供。自宅では準備が大変な季節の遊びや、遊び道具を作成する団体から楽しむワークショップや体験等の子どもを対象とした小規模マルシェをさらに盛り上げていく。 ▶食品を扱う出店者もいるため、事前に消防署や保健所等の行政機関へ必要書類作成し、毎回行事開催を申請。当日も安全に提供されているか消防隊員の立ち合い・実行委員が必ず各店舗確認を行う。 ▶安全にイベントが開催できる様に、出店者の動線を考えて図面化する。 ▶前日には必ずシミュレーションを実施。当日に向けての最終調整を行う。 ▶当日は学生ボランティアの他、地域住民の大人のボランティア、実行委員が全体を警備、見守りを行い、安全に円滑にイベントが運営できるようにしている。また保険にも加入し安全に考慮する。 ▶終了後には出店者へのアンケートを実施。後日の会議では、振り返りを実施し次回へのフィードバックを行う。

資料2 1回目の申請(※昨年比較データがなく、予算金額欄が黄色の網掛けになっています)

事業番号	団体番号				
44	123	手児奈太鼓保存会	1回目	団体の活動分野	6
		手児奈太鼓30周年記念演奏会		事業の該当分野	6
					学術、文化、芸術又はスポーツの振興
					学術、文化、芸術又はスポーツの振興

直近年度の申請内容(交付決定時)			令和7年度の申請内容		
【直近申請年度】	0	【事業の概要説明】			【事業の概要説明】
事業費総額	0		事業費総額	706,000	手児奈太鼓保存会30周年記念演奏会の実施を通じて、広く市民に「伝統芸能に触れる機会」及び「音楽に触れる」機会を提供し、音楽の普及を図ると共に、生涯学習機会の提供と地域の文化振興を目指します。
補助対象総額	0		補助対象総額	617,000	
交付申請額	0		交付申請額	300,000	

収入	金額		収入	金額	説明
事業収入	0		事業収入	300,000	1,000円×300名
寄附金収入	0		寄附金収入	0	
補助金収入	0		補助金収入	300,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他(助成金等)	0		その他(助成金等)	0	
会費充当	0		会費充当	106,000	団体の本会計より充当
合計	0		合計	706,000	

支出	金額	補助対象金額	支出	金額	補助対象金額	説明
報償費	0	0	報償費	239,000	180,000	和太鼓講師謝礼 100,000円 (補助対象は50,000円) 壺家謝礼 50,000円 映像作成謝礼 30,000円 音響謝礼 20,000円 照明謝礼 30,000円 受付謝礼 3,000×3名(補助対象外) 9,000円
交通費	0	0	交通費	0	0	
消耗品費	0	0	消耗品費	25,000	25,000	会場設営用消耗品(テープ等) ・救急用品(酸素缶等) ・文房具(芳名帳、ペン、ポストイット、接着剤等) ・演奏時用消耗品(花吹雪、ペンライト、露光テープ、太鼓台固定用強力テープ) ・舞台小物(鍋・お玉・扇子等)他
印刷製本費	0	0	印刷製本費	140,000	140,000	ポスター・チラシ・チケット・パンフレット作製デザイン料50,000円 ポスター・チラシ印刷費(3,000枚)予算50,000円 チケット・パンフレット印刷費(各400枚)40,000円
通信運搬費	0	0	通信運搬費	60,000	60,000	当日の資材運搬料(往復) 55,000円 案内・チラシ等郵送料 5,000円
保険料	0	0	保険料	0	0	
使用料及び賃借料	0	0	使用料及び賃借料	167,000	167,000	会場使用料等 97,000円 機材使用料等 70,000円
原材料費	0	0	原材料費	45,000	45,000	受付パネル作成材料費 (パネル、模造紙、スタンド、装飾用モール等) ・舞台セット作成材料費(ベニヤ・プラスチックパネル・固定用金具等) ・舞台衣装、衣装用付属品(モール材・布・綿等)
食糧費	0	0	食糧費	30,000	0	当日昼食代 25,000円 当日水分補給用飲料費 5,000円
表彰盾・参加賞・賞状	0	0	表彰盾・参加賞・賞状	0	0	
会議費	0	0	会議費	0	0	
謝金	0	0	謝金	0	0	
その他	0	0	その他	0	0	
合計	0	0	合計	706,000	617,000	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)

前年度の審査会コメントや指摘事項・改善状況	審査会で特に審議頂きたい点	事業計画概要	
		実施時期、方法、場所	2025年9月14日 14時から17時 市川市文化会館小ホール
		内容	手児奈太鼓保存会が有する楽曲の演奏 外部講師(和太鼓奏者)による演出、舞台におけるコメント、演奏 外部講師(壺家)による講演 【講師予定】 外部講師：和太鼓奏者(プロ奏者・大学講師) ヒタノ修一 外部講師：壺家 三遊亭楽八

資料2 1回目の申請(※昨年比較データがなく、予算金額欄が黄色の網掛けになっています)

事業番号	団体番号				
45	124	市川ごたまげ実行委員会	1回目	団体の活動分野	6
		第2回「市川ごたまげミュージカルパレード」		事業の該当分野	6
					学術、文化、芸術又はスポーツの振興
					学術、文化、芸術又はスポーツの振興

直近年度の申請内容(交付決定時)			令和7年度の申請内容		
【直近申請年度】	0	【事業の概要説明】			【事業の概要説明】
事業費総額	0		事業費総額	1,523,000	“ごたまげ”こそが全て～All you need is ごたまげ！～市川市には多種多様な多彩な人々が暮らしています。そうした方々の創作活動の発表の場を創出し、人と人、地域と人をつなげます。私たちは、チンドン屋や盆踊り、マーチングバンドなど、音楽と動きのある活動の全てを「ごたまげミュージカル」と定義します。「市川ごたまげミュージカルパレード」は、開ざされた世界や価値観から飛び出し、芸術や文化の力で共生社会のありかたを考え行動します。そして、彩り豊かな文化と芸術を育む「共生文化都市・市川」の実現に寄与することを目的とします。
補助対象総額	0		補助対象総額	574,000	現在、2025年2月11日(祝)に予定する第1回目の開催に向けて準備中です。これを成功させるとともに、第2回目の開催事業を申請します。 主な事業内容としては、次の3イベントを同時開催します。 ① 市川ごたまげミュージカルパレード・・・一日パレード ② 市川ごたまげアート展・・・市内の商店にて2か月間展示 ③ 市川ごたまげマルシェ・・・パレード当日のみ実施 開催日時：2026年2月22日(日) 12:00～16:00 (*予定。会場管理者と日程交渉中) 会場：(共催)ニッケコルトンプラザ
交付申請額	0		交付申請額	287,000	

収入	金額		収入	金額	説明	
事業収入	0		事業収入	0		
寄附金収入	0		寄附金収入	1,100,000	協賛寄附金750,000円 協賛広告費50,000円 個人寄附300,000円	
補助金収入	0		補助金収入	287,000	市川市市民活動団体事業補助金	
その他(助成金等)	0		その他(助成金等)	0		
会費充当	0		会費充当	136,000	団体の本会計より充当	
合計	0		合計	1,523,000		
支出	金額	補助対象金額	支出	金額	補助対象金額	説明
報償費	0	0	報償費	0	0	
交通費	0	0	交通費	15,000	15,000	駐車料金10台分
消耗品費	0	0	消耗品費	30,000	30,000	事務用品、コピー用紙等
印刷製本費	0	0	印刷製本費	190,000	190,000	開催チラシ30,000円 募集チラシ20,000円 パンフレット100,000円 デザイン料40,000円
通信運搬費	0	0	通信運搬費	5,000	5,000	郵送料5,000円
保険料	0	0	保険料	0	0	
使用料及び賃借料	0	0	使用料及び賃借料	343,000	334,000	控室(グリーンスタジオ) 24,000円 音響費(株)キルト 250,000円 フォーラム説明会会場費 3,000×3回(対象外) レンタカー代60,000円
原材料費	0	0	原材料費	0	0	
食糧費	0	0	食糧費	0	0	
表彰盾・参加賞・賞状	0	0	表彰盾・参加賞・賞状	0	0	
会議費	0	0	会議費	0	0	
謝金	0	0	謝金	0	0	
その他	0	0	その他	940,000	0	スタッフ用衣装100,000円 アートプリント代50,000円 アート展示用備品50,000円 映像・写真記録費250,000円 HP維持費50,000円 事務所借賃240,000円(20,000円×12ヵ月) スタッフ人件費150,000円 その他50,000円
合計	0	0	合計	1,523,000	574,000	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)

前年度の審査会コメントや指摘事項・改善状況	審査会で特に審議頂きたい点	事業計画概要
		実施時期、方法、場所 2026年2月22日(日) 12:00～16:00 ニッケコルトンプラザ、グリーンスタジオとそれを囲む歩道の4ルートでパレードを実施。同時にコルトン広場&西口噴水前のステージでパフォーマンスを実施。
		内容 I [1] 市川ごたまげミュージカルパレード 開催日：2026年2月22日(日) 12:00～16:00 会場：ニッケコルトンプラザ、グリーンスタジオとそれを囲む歩道(集合・準備・解散会場：グリーンスタジオ) ○パレード：コルトンプラザを中心に、①敷地外ルート②コルトン屋外ルート③店内ルートA、Bの4ルート ○パフォーマンスステージ：コルトン広場&西口噴水前 参加団体：市川市と隣接地域の障がい者、外国籍を持つ人たち、市民を含むパフォーマンス活動団体、ダンスサークル、学校吹奏楽、高齢者サークル、他(約50団体、参加者500人) [2] ごたまげアート展 展示期間：2026年2月22日(日) 会場：ニッケコルトンプラザ3階 時間：10:00～閉館時間まで、最終日は17時まで作品数：30点 展示条件：プレイイベント「ごたまげまちなかアート展」の中から選ばれた作品 ○プレイイベント「ごたまげまちなかアート展」 市内商店の協力により「まちなか」にアート作品を飾ります。アートの魅力で普段と違った景色が広がり、会話が生まれ、互いを認め合い、笑顔があふれる。そんな体験を通じ、アートの魅力を社会に伝えることを目的としています。 展示期間：2026年1月11日(日)～2月29日(日) 作品数：150点 展示店40会場 公募 [3] ごたまげマルシェ パレード当日のみ開催 福祉関係団体を中心に5団体 IIフォーラム&ワークショップ 8月上旬「ごたまげパレードの可能性を探る」会場・安国院 他 10月上旬「共生文化とは何？」

資料2 1回目の申請(※昨年比較データがなく、予算金額欄が黄色の網掛けになっています)

事業番号	団体番号				
46	125	市川民話の会	1回目	団体の活動分野	6
		須和田の古老聞き書き映像制作および鑑賞会	事業の該当分野		6
					学術、文化、芸術又はスポーツの振興
					学術、文化、芸術又はスポーツの振興

直近年度の申請内容(交付決定時)			令和7年度の申請内容		
【直近申請年度】	金額	【事業の概要説明】	金額	金額	【事業の概要説明】
事業費総額	0		事業費総額	65,000	・目的 須和田の古老(昭和6年生まれ)から聞き採った「須和田の戦争」「須和田の伝承」の証言を、映像アーカイブとして制作し、YouTubeチャンネルにアップするとともに鑑賞会を実施することにより、戦後80年の節目に、市川の戦争体験と伝承を次世代に広く継承することを目的とする。 ・内容 記録映像制作 ※語り手への取材は実施済 鑑賞会実施 ・効果 戦争の実体験証言や伝承は非常に貴重なものであり、後世の有益な史料となる。 解決される課題 YouTubeでのアーカイブ化を図り、市川の過去の記録が公共化できる。
補助対象総額	0		補助対象総額	65,000	
交付申請額	0		交付申請額	32,500	

収入	金額	収入	金額	説明
事業収入	0	事業収入	0	
寄附金収入	0	寄附金収入	0	
補助金収入	0	補助金収入	32,500	市川市市民活動団体事業補助金
その他(助成金等)	0	その他(助成金等)	0	
会費充当	0	会費充当	32,500	団体の本会計より充当
合計	0	合計	65,000	

支出	金額	補助対象金額	支出	金額	補助対象金額	説明
報償費	0	0	報償費	0	0	
交通費	0	0	交通費	0	0	
消耗品費	0	0	消耗品費	0	0	
印刷製本費	0	0	印刷製本費	5,000	5,000	チラシ印刷料@5円×1,000枚
通信運搬費	0	0	通信運搬費	0	0	
保険料	0	0	保険料	0	0	
使用料及び賃借料	0	0	使用料及び賃借料	0	0	
原材料費	0	0	原材料費	0	0	
食糧費	0	0	食糧費	0	0	
表彰盾・参加賞・賞状	0	0	表彰盾・参加賞・賞状	0	0	
会議費	0	0	会議費	0	0	
謝金	0	0	謝金	0	0	
その他	0	0	その他	60,000	60,000	映像制作料(2コンテンツ分) ・須和田の戦争 30,000円 ・須和田の伝承 30,000円
合計	0	0	合計	65,000	65,000	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)

前年度の審査会コメントや指摘事項・改善状況	審査会で特に審議頂きたい点	事業計画概要
		実施時期、方法、場所 令和7年10月頃 YouTubeチャンネル「いちかわ民話の部屋」にて公開 令和7年12月頃 鑑賞会 場所：市川教育会館
		内容 ①「須和田の戦争」 ; 昭和20年3月4日の須和田空襲、中山競馬場への勤労動員、松根油採り、東光寺の鐘の供出の体験など ②「須和田の伝承」 ; 須和田・東光寺の鐘、水書など 語り手：田中隆三さん(須和田在住・昭和6年生まれ) 語り手に取材を行い、民話を語る映像を基に、映像制作を手がける映像作家に編集を依頼し映像制作を行う(上記2コンテンツ)。 制作した映像は、市川民話の会のYouTubeチャンネル「いちかわ民話の部屋」にアップし公開する(令和7年10月頃予定)。 令和7年12月頃、公開した映像の鑑賞会を行う。

資料2 1回目の申請(※昨年比較データがなく、予算金額欄が黄色の網掛けになっています)

事業番号	団体番号				
47	126	特定非営利活動法人 みんなのサンタ	1回目	団体の活動分野	1
		みんなのサンタ 介護福祉の講演会		事業の該当分野	1
					保健、医療又は福祉の増進
					保健、医療又は福祉の増進

直近年度の申請内容(交付決定時)			令和7年度の申請内容		
【直近申請年度】	金額	【事業の概要説明】		金額	【事業の概要説明】
事業費総額	0		事業費総額	69,040	・目的 高齢者介護の啓発を目的とします ・内容及び効果 スイスの医療型ホスピス併設型高齢者障がい者看護介護施設で、看護介護スタッフとして働くリッチャー美津子さんを講師として招き、「五感をつかってひとを感じ・想う『フレーグ』～看護と介護の一体化と看取りの場所作り」(仮題)のお話を伺います。 認知症ケアのありかたや安楽死が認められている国スイスの出の経験を踏まえた死生観についても触れていただく予定です。 超高齢社会が到来し、認知症の方が増加する中で、共に暮らし共に生きる知恵を学ぶ機会とします。
補助対象総額	0		補助対象総額	65,000	・解決される課題 みんなのサンタでは、これまで認知症介護に関する講演会を2回開催してきました。2022年には生活リハビリ研究所所長三好春樹氏。2023年には毛老所52間の縁側主宰石井英寿氏をお招きし介護関係者・一般市民が参加しました。 認知症になっても暮らし続けることができる街づくりへの展望を示すことができましたし、参加者の中から介護職やボランティアとして直接介護に関わる方も現れました。啓発と同時に介護の充実を図れるものと考えています。
交付申請額	0		交付申請額	32,500	

収入	金額		収入	金額	説明	
事業収入	0		事業収入	25,000	500円×50人	
寄附金収入	0		寄附金収入	0		
補助金収入	0		補助金収入	32,500	市川市市民活動団体事業補助金	
その他(助成金等)	0		その他(助成金等)	0		
会費充当	0		会費充当	11,540	団体の本会計より充当	
合計	0		合計	69,040		
支出	金額	補助対象金額	支出	金額	補助対象金額	説明
報償費	0	0	報償費	50,000	50,000	講師謝礼50,000円×1名
交通費	0	0	交通費	0	0	
消耗品費	0	0	消耗品費	4,000	4,000	インク代3,000円 用紙代1,000円
印刷製本費	0	0	印刷製本費	0	0	
通信運搬費	0	0	通信運搬費	11,000	11,000	切手購入110円×100通
保険料	0	0	保険料	0	0	
使用料及び賃借料	0	0	使用料及び賃借料	4,040	0	全日警ホール第3会議室(全面) 1010円×4時間 ※公の施設使用料の減免を受けるため、補助対象外
原材料費	0	0	原材料費	0	0	
食糧費	0	0	食糧費	0	0	
表彰盾・参加賞・賞状	0	0	表彰盾・参加賞・賞状	0	0	
会議費	0	0	会議費	0	0	
謝金	0	0	謝金	0	0	
その他	0	0	その他	0	0	
合計	0	0	合計	69,040	65,000	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)

前年度の審査会コメントや指摘事項・改善状況	審査会で特に審議頂きたい点	事業計画概要
		<p>実施時期、方法、場所</p> <p>2025年9月 市川市内(全日警ホール、男女共同参画センター、アインクルームなど)</p> <p>内容</p> <p>土曜日の午後2時から4時 リッチャー美津子氏を招き講演会を開催します 公演は90分程度、その後参加者と質疑応答を行います。</p> <p>準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師の帰国日程が決定し次第開催日程を決定(現在調整中) 市川市、市川市社会福祉協議会へ後援を依頼 チラシ作成、SNSなどにより告知開始 <p>開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年1回講演会を開催してきています。 開催に伴う事務及び諸事は、会員・ボランティアが行います。

資料2 4回目の申請

事業番号 団体番号		市川わんぱく広場実行委員会	4回目	団体の活動分野	13	子どもの健全育成
34	111	一日プレーパーク「わんぱく広場」		事業の該当分野	13	子どもの健全育成

直近年度の申請内容（交付決定時）			令和7年度の申請内容		
【直近申請年度】	令和6年度	【事業の概要説明】			【事業の概要説明】
事業費総額	296,300	子どもの成長には体験活動が欠かせませんが「体験の格差」という言葉に象徴されるように子どもの育つ経済的、地域的な環境が大きく影響してまいります。地域の公園で参加費無料で自由に遊べるプレーパークを行うことで、地域の子供たちに体験の場を提供します。プレーパークではプレーリーダーやスタッフが安全面に気くばりしながら子どもたちの体験を見守ります。また、参加者同士、地域の大人と子どもとの交流の場にもなります。 このようなプレーパークの良さを多くの市民に知ってもらうために、複数の公園で実施します。	事業費総額	356,000	子どもの成長には体験、その中でも自分の意志で工夫したり、こども同士あるいは地域の大人と交流したりできる場が欠かせません。地域の公園を会場として誰でも自由に遊べる場を提供することで、地域の子供たちが自由な遊び体験をすることができます。地域の大人にとってもプレーパークを実際を知ることで、子どもの遊び環境に目を向けるきっかけとなります。 また、地域の大人と子どもが遊びを通して知り合いになることで、子どもたちを見守る目が増えることも期待できます。
補助対象総額	204,300		補助対象総額	264,000	
交付申請額	102,150		交付申請額	132,000	

収入	金額		収入	金額	説明
事業収入	0		事業収入	0	
寄附金収入	70,000	カンパ5,000×4 協賛金50,000	寄附金収入	80,000	カンパ5,000×4回 寄付金60,000
補助金収入	102,150	市川市市民活動団体事業補助金	補助金収入	132,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他（助成金等）	0		その他（助成金等）	0	
会費充当	124,150	団体の本会計より充当	会費充当	144,000	団体の本会計より充当
合計	296,300		合計	356,000	

支出	金額	補助対象金額	支出	金額	補助対象金額	説明
報償費	66,000	66,000	報償費	68,000	68,000	プレーリーダー謝金 15,000×4回 交通費 2,000×4回
交通費	19,900	19,900	交通費	22,500	22,500	当日交通費 スタッフ450×10人×4回 駐車料金(駅前公園会場)1,500×3台
消耗品費	52,000	52,000	消耗品費	95,000	95,000	ゴミ袋・ひも・文具等 合計6000円 チラシプログラム・講座資料 印刷用紙8000円×2箱 インク・マスター 合計20000円 熱中症対策 塩タブレット、飲料水 感染症対策 消毒ジェル他 合計10000円
印刷製本費	3,000	3,000	印刷製本費	35,000	35,000	ポスターコピー代3,000円 カラーパンフ30,000 ポスター等コピー代 5,000
通信運搬費	0	0	通信運搬費	0	0	
保険料	22,400	22,400	保険料	19,600	19,600	行事保険 28×200人×2日 28×150人×2日
使用料及び賃借料	16,000	16,000	使用料及び賃借料	16,000	16,000	外遊びの会用具使用料(ロープ、ハンモック他)4000円×4回
原材料費	25,000	25,000	原材料費	7,900	7,900	シャボン玉材料8000円・革工作材料4000円 ダンボール工作8000円・アート等5000円
食糧費	0	0	食糧費	0	0	
表彰金・参加賞・賞状	0	0	表彰金・参加賞・賞状	0	0	
会議費	0	0	会議費	0	0	
謝金	0	0	謝金	0	0	
その他	92,000	0	その他	92,000	0	2,000×10人×4回 用具運搬謝金 3,000×4回
合計	296,300	204,300	合計	356,000	264,000	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)

前年度の審査会コメントや指摘事項・改善状況	審査会で特に審議頂きたい点	事業計画概要
		<p>実施時期、方法、場所</p> <p>4月末(4/27または29)、7月末(7/26または27) 11月、2026年2月 市内公園（行徳南部公園、東海面公園、駅前公園）</p> <p>内容</p> <p>子どもたちが自由な発想で遊べる一日プレーパークを 行徳地域の公園で年間4回実施。 安全面に目配りし、子どもたちの遊びをひろげることの出来る、専門職のプレーリーダーを依頼し、スタッフも子どもへの対応を学びながら実施します。 遊び内容はロープ遊び、ハンモック、どんこあそび、たき火、水遊び ダンボール工作、昔あそび、シャボン玉、革細工、アート遊びなど 季節、公園の状況、感染状況などにより遊びの内容は変更します。 また、子どもの発想で遊びが広がるように、プレーリーダーやスタッフが声をかけたり、一緒に遊んだりします。</p>

資料2 4回目の申請

事業番号	団体番号				
35	113	特定非営利活動法人M&M Table (旧:ふくろう画廊)	4回目	団体の活動分野	6
		いちかわのほん古本市		事業の該当分野	6
					学術、文化、芸術又はスポーツの振興
					学術、文化、芸術又はスポーツの振興

直近年度の申請内容 (交付決定時)			令和7年度の申請内容		
【直近申請年度】	令和6年度	【事業の概要説明】			【事業の概要説明】
事業費総額	479,500	デジタル・ネイティブな子どもたちが今後、社会の一員として参加していく上で、思考力や表現力を身に付け、健やかに成長していくためには紙の図書に慣れ親しむことが大切だと感じています。そこで地域にある図書館と接点を持ち、子どもたちが自らの意思で図書館へ通い、安全な居場所でもあるという認知を広く周知できることを志し、本事業を立案いたしました。	事業費総額	450,814	本事業により市民の交流の場を広く設け、豊かな人間性とコミュニケーションを育むことを目的とする。この目的のもと、若い世代を中心に地域で活動できる場づくり、様々な知識と教養を身につける機会を提供する。これによって、高齢化している地域コミュニティの活性化と社会関係資本(地域・人・信頼関係)の強化、お互いを認め合う心豊かな社会を目指す。
補助対象総額	357,500	図書館は本を借りるだけでなく、調べたいこと、知りたいことなどの疑問を図書館司書の方に相談でき、解決してくれる一助となることです。なんでも手軽にスマホで調べて「わかった」気になってしまう、ということに一住民として懸念を持ちました。おおよそ1700 超もある自治体の中で市川市の恵まれた図書館行政をさらに利活用し、改めて本に触れることの大切さ、図書館は文化・芸術を親しむ場であるとの再認識を広く住民の方にお伝えしたく本事業を計画いたしました。	補助対象総額	345,814	
交付申請額	150,000		交付申請額	150,000	

収入	金額		収入	金額	説明	
事業収入	90,000	出展料(一箱古本@1,500x15+フード、雑貨出店@4,500x15)	事業収入	106,500	11月開催(一箱古本市@1,500x15=22,500 飲食雑貨@5,000x10=50,000) 72,500円、3月開催(一箱古本市@1,500x12=18,000 飲食雑貨@4,000x4=16,000) 34,000円 ※前年度実績より算出	
寄附金収入	100,000	協賛事業会社からの寄附金、協賛金	寄附金収入	0		
補助金収入	178,750	市川市市民活動団体事業補助金	補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金	
その他(助成金等)	0		その他(助成金等)	0		
会費充当	110,750	団体の本会計より充当	会費充当	194,314	団体の本会計より充当	
合計	479,500		合計	450,814		
支出	金額	補助対象金額	支出	金額	補助対象金額	説明
報償費	55,000	50,000	報償費	55,000	50,000	運営ディレクター費(生涯学習開催時のみ)
交通費	0	0	交通費	0	0	
消耗品費	83,000	83,000	消耗品費	35,973	35,973	コピー用紙@2,000x2、プリンターインク@4,500x2、パスホルダー@680x2、養生テープ@2,309x2、バス用印刷カード@2,695、ペーパーカッター@2,300、クリアファイル@1,500、付箋紙@1,000、トイレットペーパー(施設補充用)@5,500、箱ティッシュ@2,000、軍手@2,000等
印刷製本費	70,000	70,000	印刷製本費	50,000	50,000	告知チラシ(A4 4色/1色印刷 7,000枚、印刷用入稿データ作成費)、デザイン@35,000 印刷@25,000、入稿データ作成@10,000 ※消費税別途
通信運搬費	16,500	16,500	通信運搬費	33,000	33,000	レンタル品(会場設営用品等) 2t車で都内より運送往復の前年度実績金額
保険料	28,000	28,000	保険料	28,000	28,000	来場者傷害保険@28x1,000人 社協イベント保険使用
使用料及び賃借料	110,000	110,000	使用料及び賃借料	148,841	148,841	八幡市民交流館賃借料(5,841税込 後援減免料金)、椅子、テーブル、立て看板スタンド、誘導コーン、ドラムリールx6、延長ケーブルx5、換気用扇風機x2、スタッフ連絡用トランシーバーx5、クーラーボックスなど ※実施会場により変動あり
原材料費	0	0	原材料費	0	0	
食糧費	10,000	0	食糧費	20,000	0	昼食1,000円x10人
表彰盾・参加賞・賞状	0	0	表彰盾・参加賞・賞状	0	0	
会議費	30,000	0	会議費	30,000	0	スタッフ打ち合わせ軽食・飲料等・交通費等
謝金	0	0	謝金	0	0	専用HP開設
その他	77,000	0	その他	50,000	0	制作費(デザイン、システム構築費50,000)、サーバー使用料(15,000)、ドメイン料(5,000) ※消費税別途
合計	479,500	357,500	合計	450,814	345,814	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)

前年度の審査会コメントや指摘事項・改善状況	審査会で特に審議頂きたい点	事業計画概要
		<p>実施時期、方法、場所</p> <p>1回目 令和7年11月2日 生涯学習センター 2回目 令和8年3月を予定 八幡市民交流館二コト</p> <p>内容</p> <p>【実施手順】 ・現地調査、開催場所打診、前回の気付きと振り返り ・開催場所、日程の決定 ・事業収益の見込める出店者へ周知(一箱古本市出店者、飲食、雑貨系出店者など) ・事業広報(集客、出店、チラシ配布、自治会周り、広報への掲載依頼) ・事業協賛案内 【実施時期】 賃借する施設と調整の上、令和7年11月頃と令和8年3月頃 【告知・PR について】 ・チラシ配布、特に会場周辺へのポスティング、本庁管内自治会掲示板への掲示 ・専用アカウントによるSNSでの周知 ・広報への掲載(広報広聴課と調整) ・生涯学習センターへの開催告知ポスター掲示 ・市内公共施設、学校ネットワークを用いたチラシの配布</p>

団体名	委員名	質疑一覧	団体からの回答
【申し送り事項】 ・新規事業であるため、お諮りするもの。2023年7月に団体設立。 ・新しい広報の形として「その他 Instagram広告費 14,000円」を計上。各イベントの1週間前から当日まで配信されるテレビCMのようなもので、事業の周知に関するものとして認めてよいかご意見を伺います。 【団体より】 ①補助金の申請理由 これまでの活動でマルシェに訪れる人も増え、規模、回数を増やすことができているが、マルシェを物販の場ではなく、地域コミュニティの強化、地域経済の活性化、文化の発信などさまざまな側面地域に貢献していく場所としていくため、新しい企画をするにあたり補助金を申請。令和7年度は、こどもたちに自宅では準備が大変な季節の遊びや、遊び道具を作成する段階から楽しむワークショップ等を行うことに補助金を活用する予定。 ②収入について マルシェの出店料、販売収入を計上。 【各費目への補足（団体の回答）】			
鬼まち一家	横戸委員	①出店希望者はどの程度確定していますか？ ②対象地域は鬼越周辺ですか、それともより広いエリアとなるのでしょうか？	①鬼まちマルシェ専用グループLINEにて現在約120人の出店者さんが登録。また毎回出店者さんの公募も行って、偏りのない選出を行っています。 ②鬼越周辺の出店者を優先し、市川市内・近隣市内の方を主に対象に選出しております。
	宗良委員	Instagramを利用することは問題ないのではないかとと思いますが、運用ルールを具体的に整備するべきではないでしょうか(例えば、①投稿内容は活動に関するものにする、②政治・経済・差別発言などは避けるなど)。更には批判的なコメントには冷静に対応することなどもルールに含むのは如何でしょうか。	ご教示ありがとうございます。当団体ではSNSに対する運用規定を設けており、投稿内容やコメント欄、DMに関してとても慎重に対応しております。簡単に繋がれることのメリット・デメリットを理解し、今後も慎重に活用していく方針です。
	江口委員	事業費516,100円の内容・詳細がわからない。何に対して支払っているのか。	事業費の内容・詳細は予算内容と酷似しております。 申請時の決算書は令和5年度を提出させていただきました。記載金額は令和6年度の決算書(途中の決算書)の見込み金額を記入させていただきました。(令和5年度の7月から事業を開始したため、より具体性を出すべく、令和6年度の決算書を参考にいたしました。) 【事務局補足】 (その他市長が必要と認める書類) 令和6年度の実績報告 事業費 516,100円に、別途、団体から提出されている「令和6年度1月現在で作成した収支決算書」を添付いたします。年度途中での計算のため、若干の「ずれはありますが、支出項目の参考にしていただけたらと思います。
	山脇委員	1. 消耗品費ですが、書かれている説明で合計125,000円にならないように思うので、内訳を詳しくご説明をお願いします。(市役所の方で把握されていますらそれをご教示いただくことも結構です。) 2. 原材料費に挙げられている、春・秋・冬のイベントの準備物について、参加者の負担はありますか。ある場合、どれぐらいを想定されていますか。 3. 保険は賠償責任保険とのことですが、イベント保険などには加入されないのでしょうか。理由があれば教えてください。	①10,000円×7回＝70,000円/7,500円×4回30,000円/25,000円の計125,000円です。ご確認お願いいたします。 ②参加費は傘700円・羽子板700円・こま500円で考えており、各20名の参加を想定し、収入費の売上に計上しております。 ③保険会社の担当者にイベント保険を相談いたしました。その結果加入した保険は、イベント保険に求めている補償内容が網羅されており、数百円の差で加入した保険の方がさらに補償内容が充実していたため、現在の保険に加入いたしました。
	大西委員	・地域の伝統や、日本の四季とありますが、具体的にどのような内容でしょうか。	地域の伝統・日本の四季は、毎回のマルシェの中でメインテーマを決め、その内容に沿ったイベントを開催しています。春：花まつり(花を飾る/甘茶体験/観光課とパワースポット周遊企画)、レイングッズ作成、夏：夏祭り(夕方開催/浴衣祭/縁日)秋：ハロウィン(仮装/ウォークラリー)、冬：節分祭(豆まき)、懐かしい昔遊び道具作成等です。
	石田委員	①出店料以外の売上収入について詳細を教えてください。 ②チラシ印刷2千円の内容、配布場所を教えてください。 ③Instagram広告費の内容について詳細(設定ターゲット)をお知らせ下さい。	①無記載で申し訳ございません。御朱印販売(神明寺と折弁)×4回(18,000円)、露店フランクフルト/かき氷販売(40,000円) 銀杏販売(20,000) ハロウィンウォークラリー参加費(7,500) マルシェ当日貸出物品×4回(6,000) 小マルシェ時工作参加費：傘づくり/羽子板づくり/こまづくり(38,000) 計129,500円です。 ②内容はマルシェ開催の案内を記載。毎回100枚～200枚印刷し、鬼越・高石神・北方一丁目の自治会掲示板・商店街・近隣幼稚園・近隣高齢者サートセンターに掲載を依頼しております。来年度からは市役所の方からご助言をいただき、市役所内のラックにも設置させていただきたいと考えており、より多くの方々に周知していただける様努めていきます。 ③鬼越から半径〇m・30代～40代など、マルシェ毎に年齢層を変更し、予算内で告知できる日数を設定しております。
	鈴木委員	①収支予算書の収入のうち、出店料の単価が2種類あるのは、事業計画書に記載のある大規模マルシェと小規模マルシェの違いでしょうか。料金を支払う出店者側からみて、具体的にどのような違いがありますか。	ご質問いただきました通り、大規模・小規模マルシェの違いです。小規模マルシェは親子にゆっくりと楽しんでもらうことをコンセプトにしていることから、屋内のみの開催になります。(大規模マルシェは境内屋外や駐車場も使用しております)そのため、キッチンカー等の出店もなく全体の出店者さんが少ないことから、大規模マルシェよりも集客数が少なくなることを考慮し、出店料に差が生じております。
神原委員	1. 事業対象者：300名の算出根拠を教えてください 2. 効果の定量的測定(検証)はどのような方法で行いますか 3. マルシェを年8回の開催予定となっているが、スタッフ6名で可能ですか 4. マルシェの内容だが、単に出店をだす位しか読み取れない。他に何か工夫・アイデアはないのです	①毎回来場者カウントをしております。事業対象者は2,300人と提出書類に記載し、その内訳は大規模マルシェ：500人×4回(2,000人)、小規模マルシェ：100人×3回(300人)計2,300人です。 ②毎回出店者さんへマルシェ終了後にアンケートを実施。アンケート内では売上や来客数・客層等の数値化出来る内容に加え、ワークショップ中の来場者の様子や内容等の主に2種類の観点から検証出来るようにしております。質問方法も2種類用いており、一つは特定の質問を5段階評価等の選択肢を提示することで数値化しやすくしており、もう一つは自由記載出来る様にしてあります。これにより意見を定量的に分析出来るようにしています。またマルシェ当日に会場内をスタッフが巡回。来場者数のカウントや客層の把握、来場者や出店者の様子を観察。出店者視点と主催者側視点を用いることで異なるデータを比較・分析することができ、統計的に効果や傾向がわかり、より具体的に明確な結果を抽出できるよう努力しております。 ③スタッフ6名はとても大変ですが、報連相を密に取り各自で仕事内容を分担して進行しております。そしてボランティアスタッフ、近隣住民、出店者さん、その他私達の活動に賛同しマルシェに関わって下さる皆様に支えていただき実行出来ているため、感謝の気持ちでいっぱいです。 ④当マルシェについてはもう一度市民活動団体事業補助金交付申請書の内容及び効果/事業計画書の内容を参照していただけたら幸いです。また各マルシェ毎にメインテーマを決めております。テーマの詳細は同上となりますので、ご確認お願いいたします。	
江口委員	補助対象事業の名称「鬼まち一家・鬼まちマルシェ」から事業のイメージが想像できない。		
山脇委員	・当法人でもイベントの際にはSNSにおいて有料広告を活用しています。申請団体はすでにSNSを大いに広報告知に活用されておりフォローも獲得済みで、従前はチラシを印刷・配布して周知していたのと同様の効果が期待できると捉え、広報の費用として認めて良いと考えます。		
石田委員	instagram広告費について市区町村を限定して発信も可能ですが、市川市在住者のみを対象とすれば補助対象経費としても良いと思います。		
鈴木委員	〇インスタグラム広告は、事業周知のための効果的な手段の一つだと考えます。広告費は、補助対象経費として認めてよいと思います。		
神原委員	社会性のある事業だと思います		

資料3-3 令和7年度 市川市民活動団体事業補助金申請 質疑

	<p>【申し送り事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業であるため、お諮りするもの。設立は1995年であり、既に長く活動実績がある団体です。 <p>【団体より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の申請理由（長く活動実績があるが、今回初めて申請となる理由） <p>これまで補助金の存在を即断していませんでした。そのうえで、演奏会をしたという思いでなんとか会場をおさしたものの開催には不安がありました。具体的には、会員に大きな負担を強いられる可能性がある、ひいてはごいいた負担によって会員の活動継続が難しくなる団体活動にも不安が生じると懸念していたところです。そのような折、補助金の存在を知り、この度申請させていただいた次第です。貴団体の現在の資金残高につきましては弊会にも集計で推移しております。しかしながら、太鼓は一定期間で使用するのであり、修繕には小さい太鼓でも送料などを勘定すると10万円ほどがかかります。日々の団体活動には相当程度の大卒の車庫(維持費)も必須であり、昨年はとうとう運行ができなくなった車庫の買い替えも経費いたしました。そういったことが重なる修繕だけでなく両団体の活動資金は赤字に陥る可能性がある状態です。これまで、会員からのカンパ、応援してくださる方からの寄付などを集めて演奏会を実施したこともありますが、現在の会員は最盛期の3分の1以下であり、自動の力が大変弱くなっていること事実です。とはいえ、太鼓を知ってほしい、これまでに成りていただいた方々へ音楽を届けたいという気持ちは強く持ち続けております。補助のお力添えを頂けると幸いです。</p> <p>【各費目への補正（団体の回答）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（25,000円）、原材料費（45,000円）の計上については、過去の実績額を基に精算した金額です。
--	--

団体名	委員名	質疑一覧	団体からの回答	団体からの回答
手児奈太鼓保存会	神戸委員	①消耗品費、印刷製本費、通信運送費、使用料及び賃借料、原材料費、食糧費について単価×数量の形式で示していただけますか？ ②貴重な太鼓等を扱う活動となっていますが、保険は不要でしょうか？	<p>①明細等につきましては以下の通りです。</p> <p>【消耗品費】</p> <p>前回実績をもとに係数処理をいたしました。</p> <p>【印刷製本費】</p> <p>屋外用ガスター印刷（100枚）30,000円、チラシフライヤー（3000枚）14,000円 （チラシフライヤーを置くことが困難な場所についてははがきサイズの補助フライヤー1000枚を希望）6,000円 合計50,000円</p> <p>チケット印刷（400枚）14,000円、パンフレット（500枚）※保管費費用を含む 以下同じ 20,000円 パンフレット付刷印刷物（抜き込み入りして配布するもの）、アンケート1,000円、メンバー募集用紙および2025スケジュール1,000円 資料（文化資料および音楽資料としての簡易冊子）3,000円、注意事項などのご案内1,000円 合計40,000円</p> <p>【郵送費】</p> <p>トラック往復費用55,000円</p> <p>はがきタイプフライヤー 郵便代 82円×25枚 2,050円、 チラシタイプフライヤー 郵便代 110円×10通 1,100円 協賛場所へのフライヤー送料 430円×5通 2,150円 合計5,300円（丸めた数字を計上しています）</p> <p>【使用料および賃借料】</p> <p>小ホール使用料80,570円、楽屋代9,280円、駐車場1200円×6台 照明（D）セット43,197円、スポットライト 577×2 1,154円、ワイヤレスマイク 4,851×2 9,702円、 ダイナミックマイク 3,234×2 6,468円、ビデオプロジェクトセット 25,987円 合計70,338円（丸めたものを計上）</p> <p>【原材料費】</p> <p>前回実績をもとに係数処理をいたしました。</p> <p>【食費】</p> <p>1人当たり お弁当 1,000円 飲み物 200円 計 1,200円 メンバー 12名、講師 2名、スタッフ 3名、受付手伝い 3名 1,200円×20名分 24,000円 のど飴などの常備品 1,000円 合計 25,000円 メンバー12名にはリハール時および本番時に飲み物を追加 1人あたり400円×12名 4,800円（丸めた数字で計上）</p> <p>②一般的な損賠保険には加入しています。イベント保険にはこれまで加入したことがなかったので、保険商品を検討してみたいと思います。ご教示いただきありがとうございます。今回の補助申請には間に合わないかと思っておりますので、本件につきましては保険料はなしとしてご検討いただければと思います。</p>	
	山崎 委員	1. 女性だけで和太鼓の活動をされている良さとして日頃感じていらっしゃるものがあれば教えてください。 2. チケットの販売方法を教えてください。	<p>1. 手児奈姫伝説に肖って女性だけの和太鼓チームとして活動しておりますので、地域の変化と文化プロフィールを合わせてご案内ができることに利点を感じております。また保育所や老人ホーム等では「女性だけ」という柔らかい響きの部分に興味を持ってくださることも多く、ありがたく思っております。演奏という点では、太鼓は「力」が多分に影響し、男性の力強さにはどうしても勝てず、女性は盛り上げ方に回りがちであるという音楽ジャンル特異の問題もございますが、全員が女性である当チームでは全員が主となって演奏することができると、だれか一人が主役となることなくチーム一丸で演奏に取り組めるという利点があると実感しています。</p> <p>2 チケットは現時点の計画では半分ほどを対面直接販売（事前：手売り）で半分ほどはチケットサイトを利用することを考えております。</p>	
	石塚委員	①会場使用料等、機材使用料等の詳細を教えてください。 ②単独イベントで300名の集客は見込めそうでしょうか。 ③チケットの販売開始時期はいつですか。販売方法は手売りでしょうか。座席指定でしょうか。	<p>① 現時点では小ホール80,570円（ホール予約時点では演奏のみでの無料開催を視野に入れておりましたが、現時点では文化講演を含めた事業計画に変更し、皆様のご協力を得たいという計画に変更しております。幸運にも補助のご協力の回答をいただくことができましたら会館へ変更のご連絡をする予定です）楽屋代9,280円、駐車場1200円×6台（メンバー移動3台（文化会館には1台利用させていただきたいと思っております）、運搬前後近隣駐車場2台、榎家さん用1台、太鼓指導者用1台）を予算に組み入れております。駐車場は利用想定を最大値を計上しております。</p> <p>機材は文化会館様の料金表より、照明（D）セットにスポットライトを2つ追加して44,351円、音響設備等としてワイヤレスマイク2本、ダイナミックマイク2本、ビデオプロジェクトセットで25,987円の合計70,338円を丸めたものを計上いたしました。</p> <p>②過去の同会場での開催イベントでの実績は、現時点で把握できているもので、10周年時（大ホール開催）15周年（小ホール）390名 2012年（小ホール）320名程度 2014年（小ホール）350名程度 2016年（小ホール）310名 2020年（小ホール）280名となっております。2020年時には時節もあり300名を下回りましたが、今回はもう少し頑張って集客したいと思っております。</p> <p>③5月20日納品のスケジュールで各印刷物を作成しておりますので、納品に合わせて販売を開始し、当日まで売り切りたいと思っております。手売り半分、チケットサイトなどで半分を販売できたらとおもっております。全席座席指定にする予定ですが、一部配座席を設けて当日の調整を図りたいとのメンバーからの意見がでております。</p>	
	鈴木委員	①収支予算書の収入の事業収入、演奏会の参加想定人員と同人数300人分の参加費が計上されていますが、大人・子供等の区分なく一律の料金を想定されていますか。 ②収支予算書支出欄で、補助対象経費については、内訳項目毎に単価と数量を記載し、積算してください。 ③広報計画で、広報いちかわ掲載を活用しないのは、どのような理由でしょうか。事業周知に有効手段だと思うのですが。	<p>①現時点では大人1枚1,000円、小学生までの子供1枚500円を予定しておりますが、子供の値段設定につきましては中学生までを対象とするか検討中です。また、あらかじめ大人と子供で枚数割合を設定しておりますので、最大数として大人料金換算で考えております。</p> <p>②承知いたしました。収支予算書を別途再提出いたします。補助対象と補助対象外費用が混在しておりました「報償費」につき記載を分けてみました。</p> <p>【事務局より補足】</p> <p>報償費の内訳を修正された収支予算書を受領しました。別紙をご確認ください。※団体の修正箇所は赤字部分です なお、その他の費目内訳についても、神戸委員の質疑に対する回答に基づき参考として収支予算書の右記に記載してありますので、ご確認ください。 ③広報事情に疎く、現時点で把握しきれませんでした。ご教示ありがとうございます。早急にグループ内で検討いたします。</p>	
	神原委員	1.事業対象者：300名の算出根拠を教えてください 2.効果の定量的測定（検証）はどのような方法で行いますか 3.1回のイベントのみの事業の申請となっていますが、継続性を持たせるお考えやそのための方策はないのですか	<p>1 使用予定の市川市文化会館小ホールの定員数413名に対し、最前2列はばちの落下対策等としてスタッフ席とする予定です。その他、通路入り口に近い部分につきましては機材運搬の都合上使用不可とする予定です。350程度の実効客数に対し 85%の希望動員数ということで300名といたしました。</p> <p>2 参加者数につきましてはチケットの販売状況にて把握する予定です。また、当日配布のパンフレットにアンケートを挿入いたします（過去の開催時にも都度アンケートをお願いしております）アンケートはこれまでも平均しておよそ70%の回収率ですので今回も紙ベースをメインに実施いたします。ウェブでの実施についても現在挑戦中か検討中です。</p> <p>3 地域のイベント等につきましては年間を通して10回から20回程度参加させていただいております。自主イベントにつきましてはこれまでは漢字かな補助金などの方策を存じ上げず、寄付や自動で実施しておりましたため、定期的な開催の計画を立てられなかったというのが実情です。会員はたくしを高めれば全員が別の仕事を有しており、また家庭人ということもあり、練習等以外の会員の負担増は会員離れとなる可能性が高く（かつては2万円から5万円ほどの会員出費かつ、一部の会員が多少の無理をする形で実施しておりましたが、現在はメンバーも代替わりしかつてのような負担は難しい状況です）二の足を踏んでいる状況です。まずは一つずつ実績を積んで、開催継続の方法を模索したいと思っております。</p>	
意見一覧				
奈良委員	申請の経緯、内容、予算案などが具体的にどのようか。	申請の経緯、内容、予算案などが具体的にどのようか。		
石塚委員	チケットを手売りされるとなると、現在のスケジュールでは8月～当日までが販売期間でしょうか。参考までに、販売進捗や売上管理など比較的努力がかかるかと思っておりますので、チケット販売管理システム（参考：【チケットベイ】手数料5.5%）の活用はいかがでしょうか。 https://www.metaps-payment.com/service/ticketpay.html 決済手段も色々あるので、お客様が利用しやすいです。 30万円×5.5%＝16,500円なのでチケット印刷より安心で管理が楽になる可能性もあります。 https://teket.jp/	チケットを手売りされるとなると、現在のスケジュールでは8月～当日までが販売期間でしょうか。参考までに、販売進捗や売上管理など比較的努力がかかるかと思っておりますので、チケット販売管理システム（参考：【チケットベイ】手数料5.5%）の活用はいかがでしょうか。 https://www.metaps-payment.com/service/ticketpay.html 決済手段も色々あるので、お客様が利用しやすいです。 30万円×5.5%＝16,500円なのでチケット印刷より安心で管理が楽になる可能性もあります。 https://teket.jp/		
神原委員	社会性のある事業だと思います	社会性のある事業だと思います		

資料3-4 令和7年度 市川市市民活動団体事業補助金申請 質

申し送り事項	<p>【申し送り事項】 ・新規事業であるため、お諮りするもの。なお、実行委員会の設立は、2024年4月で1年を経過していないが、「市川市市民活動団体事業補助金交付条例第3条第2項により、事業母体が団体要件を満たす「特定非営利活動法人市川市民文化ネットワーク」であることを確認し申請を受理。第1回の「市川にたまたミュージカルバレード」は、プレ事業としての「ごたまぜまちなかアート展」を1月14日（火）～2月16日（日）市内各商店舗36か所との協働で、市川市近隣のアーティストから募集した130作品のアートを展示中であり、2月11日（祝）のバレード実施にむけて準備中。</p> <p>【参考】 条例第3条第2項（補助金の交付を受ける資格のある市民活動団体） (4) …申請書の提出時において、1事業年度以上継続して活動していること。 2 …同項第4号の要件を満たしていない市民活動団体であっても、その設立の経緯等を考慮して、同号の要件を満たしている市民活動団体に準ずるものとして市長が認める市民活動団体については、補助金の交付を受ける資格のある市民活動団体とする。</p> <p>※逐条解説より抜粋※ 活動期間1会計年度以上の例外：任意団体から新たにNPO法人に変更になった場合など前身となる団体が要件を満たしている、要件を満たした団体が母体となって設立した団体（実行委員会など）の場合等をいいます。</p> <p>【団体より】 ①「市川にたまた実行委員会」の母体は「特定非営利活動法人いちかわ市民文化ネットワーク(2004年1月にNPO法人の認証取得)」であり、「市川にたまたミュージカルバレード」は、NPO法人いちかわ市民文化ネットワークの2024年度総会で、「いちかわ市民ミュージカル」と同様に、当法人の支援事業とすることが承認されています。また、規約のなかでも以下のように関係性を担保しています。（残余財産の帰属）第11条 本会が解散した時に残存する財産は、実行委員会の議決を経て、特定非営利活動法人いちかわ市民文化ネットワークに譲渡する。</p>

団体名	委員名	質疑一覧	団体からの回答	団体からの回答
市川ごたまぜ実行委員会	榎戸委員	<p>①バレードは毎年定期的に行う予定ですか？ ②消耗品費、印刷製本費、通信運送費、使用料及び賃借料について単価×数量の形式で示していただけますか？ ③バレードは市民が自由に参加できるスタイルではなく、演者と観客が分かれるスタイルでしょうか？</p>	<p>◎初めに、申請締め切り後の2月11日(祝)に開催した当該第1回イベントはバレード300名、パフォーマンス22団体・210人、アート出展134人、観客を含むと1,000人余の参加を得て成功裏に終了しました。「まちなかアート展」は36店舗で3月末まで開催中です。参加者・観客・共催者の評価と満足度は非常に高く、第2回目は2026年2月23日(祝)開催とほぼ決定し、実行委員会では「継続化して大きな街おこしイベントにしていこう！」と確認し合いました。 ①年1回の開催を定例化します。将来的には11月頃の開催に移行するつもりです。 ②初年度開催を通して予算書の修正を要することがわかりました。消耗品は10か月分の事務関係費とバレード配布小旗110円×500枚=55,000円。印刷製本費は開催と募集チラシは2円×10,000枚×2回=40,000円。パンフレット印刷費は8円×3,000部=24,000円。ロゴパネル製作費50,000円など申請総額は変えませんが明細修正を要します。通信運送費のレンタカーは実行委員の私有車を利用すれば節約できるでしょうが、パフォーマンスステージ設置、楽器・音響セットの配置、テント設置、マルシェ屋台設置など10台を予測します。市民はボランティアとして動くため、レンタカー以外の私有車の駐車料は実行委員会負担としたいです。一方、ステージ作製費や記録費などを補助対象経費として計上すべきでした。</p> <p>③「ごたまぜ」ですから、演者と観客を分けることはしません。賑やかな飛び入り参加を歓迎しています。第1回目にも、バレードへ10名ほどの飛び入り参加がありました。今後、イベントが知れ渡るにつれ、多数の観客を巻き込んだ即興的なパフォーマンスが拡大すると予測します。安全重視のため、どこまでの規模に対応できるかを模索していきます。</p>	
	奈良委員	<p>ミュージカルバレード、アート展を開催することの意義、効用が不透明だともいます。例えば、市川市出身の若手アーティストのサポート、彼らのPRを兼ねるなど、事業を実施することで想定される影響についてうかがいたいと思います。</p>	<p>①第1回目、アート展示では優秀作品の表彰をしましたが、個人や団体への個別の支援活動はすでに私たちも他の団体も、それなりの成果を取めていることです。「ごたまぜバレード」は、むしろ原初的“ごたまぜ”を意識して、多様性と持続性を重視した共生社会的“ごたまぜ”パフォーマンス文化をわが街いっばいに醸成していく、いはば基盤拡大の賑やかな街おこしにつながる啓発的文化イベントとして発展する可能性があります。「本気で遊ぶ」エネルギーが共生社会実現の原動力となると信じます。</p>	
	山脇委員	<p>1. 第1回の「外国籍を持つ人たち」の参加状況について教えてください。 2. もし第1回に外国籍を持つ人たちの参加がない、または少なかった場合、参加の壁として考えられる要因や第2回に向けて参加を増やす計画がもしあれば教えてください。</p>	<p>①第1回目には、残念ながら外国籍の団体参加はありませんでした。準備不足で市内の団体に事前に十分な接触ができませんでした。今後は働きかけを強めます。 ②外国籍の方々との交流には多様性社会の象徴として最大限の努力を図るつもりです。まずは市内で活躍する団体の現状把握と交流からやり直します。</p>	
	石田委員	<p>①第一回開催にあたってのクラウドファンディングは目標金額が300万円でした。こちらの使用用途についても教えてください。 ②申請時点では第一回開催前でしたが、現在は実績が確定していると思います。概算計上だった消耗品費などについて詳細を教えてください。 ③準備スケジュールの担当者数について予定を教えてください。当日の運営スタッフ分でしょうか。（賃借料のレンタカー代以外に必要な理由を知りたいです。） ④協賛寄附金75万円と個人寄附金30万円は比較的高額ですが、確度が既に高いのでしょうか。 ⑤第二回開催での事業収入はゼロでしょうか。 ごたまぜマルシェは販売物があるかと思いますが、出店料の徴収などもありませんか。</p>	<p>①目標越えの308万円（実質200万円）を達成しました。第1回目の決算はまだ出ませんが、イベント立ち上げのための準備資金と基盤整備に使いました。剰余金50万円ほどは第2回目の開催準備金に回します。 ②すでにお答えしましたので割愛します。 ③来年度の準備担当人数（実行委員）は20名ほどを予定しています。 ④すでにお答えしましたので割愛します。 ⑤第1回の反響が大きくて、高額でなければ企業協賛の可能性は高いと予想しています。 ⑥事業収入は予定していません。今回はクラファン獲得で盛り上がりました。次回のクラファンはありませんが、参加費を徴収するよりも、こうした盛り上げ方法を駆使して、寄付を広くお願いする形で資金を確保する予定です。コルトンプラザ内の営利的マルシェの開催は難しいので当面は非営利マルシェですが、わずかばかりでも出店料はご協力願おうかと思っています。</p>	
	鈴木委員	<p>①収支予算書の寄附金収入のうち、「協賛広告費」とは、具体的にどのような内容のものですか。 ②収支予算書支出欄で、補助対象経費については、内訳毎に単価と数量を記載し、積算してください。</p>	<p>①当日一般配布のプログラムに企業広告の掲載予定でしたが、重くなるため大量掲載はできませんでした。配布するチラシや小旗やプログラム、会場内のパネル表示などに市内の企業ロゴ広告を分散して表示する予定です。 ②重複しますので割愛します。</p>	
	神原委員	<p>1.事業対象者：500名の算出根拠を教えてください 2.効果の定量的測定（検証）はどのような方法で行いますか 3.1回のイベントのみの事業の申請となっていますが、来年以降の継続性を持たせるお考えやそのための方策はないのですか</p>	<p>①呼びかけ不十分で始まった第1回目の参加者・観客総数が1,000名ほどになりました。次回は参加呼びかけを拡大して2,000人目標も不可能ではないでしょう。 ②これから、参加された団体へのアンケートを実施して、検証を進めたいと思います。 ③1回限りのイベントではありません。今後も継続して発展させていくつもりです。“わが街市川”の賑わいの街おこしイベントとなると確信しています。</p>	
意見一覧				
	神原委員	<p>社会性のある事業だと思います</p>		

申し送り事項		【申し送り事項】 ・新規事業であるため、お諮りするもの。設立は1974年であり、既に長く活動実績がある団体です。 ・団体のYouTubeチャンネル「いちかわ民話の部屋」にて公開する動画制作費用について、「その他の経費」として計上しています。補助対象経費として認めるか、お諮りいたします。 ・過去の類似事業としては、令和4年度、コロナ禍により対面での実施が難しくなった写真展事業について、開催場所をWebサイト（期間限定）上に変更し、「Web写真展サイト制作料」を「その他の経費」として、補助対象とした実績がございます。 【団体より】 ・補助金の申請理由（長く活動実績があるが、今回初めて申請となる理由） 申請事業は、コロナ禍の2021年より新設した「いちかわ民話の部屋」のコンテンツの一つとして制作しようとするものであり、民話の会としては、新規事業となります。本事業は、補助金の趣旨とも合致すると考えたため、申請をしました。	
団体名	委員名	質疑一覧	団体からの回答
市川民話の会	奈良委員	YouTubeに民話をアップしたり、写真展を開催する事によりどのような効果が想定されているのでしょうか。或いは、過去に実施した際の内容、利用者の状況などを提示して頂くにより分かりやすい申請書になるのではないのでしょうか。	市川民話の会によるYouTubeチャンネル「いちかわの民話の部屋」は2021年3月に開設。https://www.youtube.com/channel/UCLdxp19bZmz9nQ95gSAnn_g コロナ禍で対面の活動ができなかったときに、補完的なツールとして開設したが、対面のイベントにリアルタイムで参加できない人にも、市川の民話を届けることができるようになった。2025年2月28日現在、動画数35本、登録者数63名、総視聴回数5500回を超える。
	山脇委員	1. 動画制作費用について、長さ（時間）、支払い先、依頼（業務）内容、算出根拠など分かる範囲で教えてください。過去に同様に動画を制作されたものをYouTubeで公開されているなどあれば参考に拝見したく教えてください。 2. 予算には12月の鑑賞会の費用がありませんが、費用はかからないのでしょうか。 3. 鑑賞会の概要（人数、広報先、入場料の有無・金額など）がお決まりでしたら教えてください。 4. チラシの内容と大まかな配布先を教えてください。	1. 完成する動画の長さは未定だが、取材素材は3時間に及ぶ。その中から資料化できる部分を抽出して、2つのコンテンツにまとめていく。支払先は、市川に関わる映像作品もある映像作家「上野貴弘氏」に依頼予定（https://www.takahiroeno.net/）。委託（業務）内容は、取材素材から資料化できる部分を抽出編集、テロップを入れてもらう予定。算出根拠は、通常の業者に依頼すると数十万円はかかる内容だが、委託先の映像作家が会の活動に賛同しボランティア価格で請け負ってくれるもの。これまでのYouTube作品については、奈良委員の回答に同じ。 2. 鑑賞会の会場となる市川教育会館は、市川民話の会は登録団体になっており、会場費は無料。 3. 鑑賞会の予定人数「30名」、広報は「広報いちかわ」「いちかわ支え合いネット」「地域紙」ほか、入場料は無料。 4. ちらし1000枚の内容は「いちかわ民話の部屋」のPRと動画をアップしたことの告知及び鑑賞会の告知。配布先は公民館・図書館・文化施設・小中学校・市内高校・市内大学ほか。
	石垣委員	①これまで当該映像作家による製作は行ったことがありますか？制作を依頼するにあたって期待する効果（視聴数の増加、若年層への訴求など）を教えてください。 ②想定参加人数は動画の視聴者数と鑑賞会の参加者数でしょうか。 ③12月に開催される鑑賞会の参加人数は何名くらいを想定されていますか？ ④チラシの配布先はどちらを予定されていますか？③によっては配布数の増加も検討しても良いかもしれません。 ⑤市川教育会館の施設利用料の計上も必要ではないでしょうか。	①依頼作品として「いちかわ民話の部屋」のコンテンツ「市川の古老が語る郭沫若」（2024年11月公開）（https://youtu.be/QgNKL-4KAPs?feature=shared）がある。同じ話者による取材作品であり、3部作となることによって視聴数の増加が見込まれ、またインターネットに抵抗の少ない若年層にアピールすることができる。 ②想定参加人数は動画の視聴者数。 ③山脇委員3の回答に同じ。 ④山脇委員4の回答に同じ。 ⑤山脇委員2の回答に同じ。
	神原委員	1.事業対象者：300名の算出根拠を教えてください 2.効果の定量的測定（検証）はどのような方法で行いますか 3.来年以降の継続性を持たせるお考えやそのための方策はないのですか	1. 「いちかわ民話の部屋」のコンテンツ「第46回市川の民話のつどい」は公開してから1年経過したが220回程度の視聴回数である（https://youtu.be/YluMd-6NRoc?feature=shared）。300視聴回数はかなり希望的な積算に基づくものであり、鑑賞会30名の10倍を根拠とした。 2. 視聴回数と鑑賞会参加人数による。 3. 当会の活動は、対面による語り活動、冊子による資料集発行が主たる活動である。映像制作を実施するには、ふさわしい話者の選定、取材、取材した内容が映像アーカイブとして適しているか、といった工程・検証が必要となり、毎年実施するのは容易でないことから単年度事業として計画するものである。
	意見一覧		
	根戸委員	①市川の過去の記録が公共化できる、という点は市川市民にとっての公益として評価できると思います。	
	山脇委員	動画制作費用について、その貴重な歴史の記録という意義を考慮し補助対象経費として認めることで良いと思いますが、制作に関連して編集後の成果物について被撮影者の同意、音楽等を使う場合は著作権の許諾と使用料の確認、また、成果物に関する著作権の所在と事業期間中及び終了後の取り扱いについては市と団体の間で明文化し確認される方が良いかと思います。 ※過去に類似の成果物（著作権の発生するもの）を補助された事例がある場合はご教えてください。 (例) 令和3年度文化芸術振興費補助金 P.13 「5.その他留意事項(4) 著作権の取扱いについて」他 https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/nihon_isan/pdf/93154701_01.pdf	
	石垣委員	・YouTubeの視聴者層は市川市民が主となりうるか不明ですが、市川市にゆかりのある人たちへ訴求されやすく、補助対象経費として認めて良いと思います。 ・鑑賞会に語り手の方が登壇される場を設定可能でしたら、参加者を含めた質疑応答なども可能になり、より充実した会になるのかと思いました。	
	鈴木委員	〇動画を制作することは、事業目的を達成するための有効な手段の一つと考えられるので、補助対象経費として認めてよいと思います。	
	神原委員	社会性のある事業だと思います	

資料3-6 令和7年度 市川市民活動団体事業補助金申請 質疑への回答一覧

<p>申し送り事項</p> <p>【申し送り事項】 ・新規事業であるため、お諮りするもの。 ・2022年4月に設立した特定非営利活動法人であり、団体概要調書に記載のとおり子ども食堂初め様々な事業の実績があります。 ・今回はその中でも、特に高齢者介護の啓発、地域社会福祉の増進を目的とした「介護福祉の講演会」について、補助対象事業として申請しています。</p> <p>【団体より】 ・補助金の申請理由 当補助金の存在を知り、これまで自己資金のみで開催してきた事業でしたが、法人会計が厳しいことから申請しました。</p> <p>【各費目への補足】 ・使用料及び賃借料について →公の施設を利用し、使用料の減免を受ける前提のため、補助対象外としています。 ・通信運搬費（切手購入110円×100通）について →送付先：市内の福祉事業所のうち手渡しできない事業所の中から、100施設を選定し案内文とフライヤーを郵送する予定です。</p>				
団体名	委員名	質疑一覧	団体からの回答	
特定非営利活動法人みんなのサンタ	奈良委員	「介護福祉の講演会」という事は、登壇する講師が必要だと思いますが、どの様な講師を予定されているのでしょうか。謝金は発生するのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・申請書に記載しましたが、スイス在住の日本人看護師リッチャー美津子氏を招き後援していただきます。 ・リッチャー氏は、看護・介護が一体となった全人的なケアを実践しています。 	
	石垣委員	<p>①消耗品費インク代と用紙代の使用用途について教えて下さい。チラシ印刷と送付状作成でしょうか。</p> <p>②チラシの印刷枚数について教えて下さい。部数によっては外注した方がコストダウンできる可能性があります。</p> <p>③チラシを郵送する際の封筒代は計上しなくても宜しいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシは500枚程度と考えています。 ・必要に応じ、チラシに併せて弊法人の活動の紹介や、講師の詳細な紹介なども印刷する予定です。 ・状況に合わせた細かな対応をするために自作を考えています。 ・インクはプリンタ用の4色ボトルセットを購入する予定です。 ・封筒は手持ちのもので間にあると思います 	
	鈴木委員	<p>○補助対象事業の介護福祉講演会について</p> <p>①申請書に講演会は2022年と2023年に開催と記載されていますが、2024年は開催されなかったのでしょうか。</p> <p>②2023年の講演会の開催時期、会場、参加人員を教えてください。(概要調書の活動実績及び5年度の事業実施報告に、講演会に関する記載がありませんでしたので)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度は子育て支援の講演会でした ・過去の講演会の詳細は下記です 2022年度 9月24日 「おたがい様の介護」 講師：生活リハビリ研究所三好春樹氏 会場：ヤマザクリエーションセンター 参加者：80名 2023年度 7月30日 「居場所を作るケア」 講師：宅老所いしさんち石井英寿氏 会場：京葉ガスてらす 参加者35名 2024年度 12月1日 「妊娠から切れ目のない子育て支援～フィンランドのネウボラに学ぶ」 講師：鎌倉女子大学准教授榎原久子氏 会場：アイリンクホーム 参加者15名 	
	神原委員	<p>1.事業対象者：50名の算出根拠を教えてください</p> <p>2.効果の定量的測定（検証）はどのような方法で行いますか</p> <p>3.来年以降の継続性を持たせるお考えやそのための方策はないのですか</p> <p>4.事業スケールが小さいと思いますが、回数を増やすなど拡大させる意向はありますか</p>	<p>①これまでの参加者数から集客可能な人数と考えます</p> <p>②参加者アンケートを行います</p> <p>③継続させるためにも「いちサガ」の助成を受け、これまで以上の告知を行いたいと思っています。</p> <p>④日常の地域活動を多く行っており、大規模な講演会を増やすことは考えていません。毎月1回開催しているケアラズカフェの参加者は延べ100名、起業塾の参加者は延べ150名です。</p>	
	意見一覧			
	山脇委員	申請書には必要な情報が過不足なく記載されている印象でこの事業については質問などありません。ただ、左記「法人会計が厳しい」とのことで、所轄庁に提出されている設立から3年間の活動計算書を拝見すると、財政面の持続可能性については心配されるところです。法人設立3年とは思えないほど地域住民のニーズに応え多くの事業を実施されており、その貴重な事業を今後も継続していくために、組織・事業運営について外部の助けなど借りるなどもご考慮いただければ、またそれ自体が難しいということもあると思いますので、可能な範囲で外部への相談、サポートを受けていただければと思います。		
石垣委員	チラシ印刷について 参考情報として500～1,000部片面カラー印刷が2千円台で可能です。 (リンク参照) https://www.printpac.co.jp/pricelist/list.php?product=leaflet&size=4&paper_type=1&paper=1&noki=7&changed=&proceed=on			
神原委員	社会性のある事業だと思います			

申し送り事項	<p>【申し送り事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同事業にて4回目の申請であるため、お詫りするもの。 <p>【団体より】</p> <p>1. 目的・効果 : 1回目の申請から事業の目的と目標にどのような効果がみられたか 事業の目的はプレーバークに参加することを通して、子どもたちや地域の大人が人と関わり合う体験をし、その楽しさを実感することです。そこから地域のつながりや交流のきっかけにしていただけたと考えています。継続して行ってきたことで、地域の方が楽しみにしている事業になっています。地域の方から「ここに来ると沢山の子どもたちが話が出る。大人とも自分が子どもの頃の遊びの話ができる。自治会などで会う人の知らない面を知ることが出来る」という声がかかります。子どもたちも初めて会った子どもが協力して一緒に遊ぶ場面が多く見られ、交流の場としてのプレーバークになっています。</p> <p>2. 達成度: 事業の目的がまだ達成されていないことについてと今後の事業展開 プレーバークは遊びの場なので、対象の子どもたちは入れ替わっています。会で考える目的の達成は、地域の方が中心となって継続的にプレーバークが実施されることです。子どもたちの生活圏に必ずプレーバークがあることが理想なので、実施場所を変えるなどして市内の子どもたちが体験できることをめざしていきたいと思っています。今後実行委員会のメンバーを増やし、中心となってプレーバークを実施する人数を増やしていきたいです。そこから実施場所を増やし、実施回数を増やすなどしていきたいです。</p> <p>3. 資金面の自立: 補助金の必要性について、なぜ必要なのか補助金以外の資金調達が可能か、または検討しているか プレーバークは、どんな環境にある子でも自分の意思で参加できる必要があります。そのため参加費を徴収することはしません。ですが、開催には様々な経費がかかります。実行委員会ではその資金を調達するための事業をまだもっていないので、補助金の存在はありがたいです。資金面については会でも検討していて、そのひとつとしていくつかの助成金の申請もしています。が、通らないことも多いのも現状です。近隣商店などからの協賛金も検討していますが、現在は動きが作れていません。</p>

団体名	委員名	質疑一覧	団体からの回答
市川わんぱく広場実行委員会	種戸委員	1. 目的・効果2.達成度ともに定量的なデータを提示していただけないでしょうか？ 効果や達成度について定性的な説明は示されているのですが、今後の活動を持続していくためには効果や達成度を測るために何らかの数値を使い、それを対外的に示していくことが必要だと思います。	これまで定量的なデータを取っていたのは参加者数のみでした。ご指図通り、目的に対してどうだったかを定量的に測りお示しすることが必要であったと思います。令和7年度では参加者へのアンケート等実施したいと考えています。
	奈良委員	今後、益々必要となる事業になり得る可能性を考え、過去3年間の実施データ(例えば、週、或いは月の子ども、大人、それぞれの利用率)などを提示して頂いたら如何でしょうか。今後の事業継続、更には他団体が同じ様な申請を行う際の目安になるかと思います。	実施回ごとの参加者の集計がありますので、過去3年分のデータを一覧にして別に添付いたします。
	大西委員	プレーリーダーは専門職とありますが、毎回1人となっていますが、沢山の遊びをどのように指導されるのでしょうか。	プレーバークでスタッフは子どもと一緒に遊びに没入することはせず、大きな役割としては安全面の見守りとなります。子どもたちが主体的に遊んでいる場合は大きな危険が予測される時以外は介入しません。また、どう遊んでいかわからず様子を見ているような子どもに対して、遊んで見せることはありますが、子ども自身が動き出したタイミングを見計らってその遊びから抜けるようにしています。 わんぱく広場ではスタッフ、ボランティアをそれぞれの遊びの担当としてもらっていて、個々の遊びへの対応はスタッフが行っています。専門職のプレーリーダーは全体をみて、その時々の子どもの動きによってスタッフと一緒に遊びの対応をしたり、子どもの発想を引き出すような動きをしています。スタッフは安全への感覚や声かけのタイミングがそれぞれ違っていて、そこに様々な大人と出会うプレーバークとしての良さもあると考えていますが、プレーリーダーの専門的な知識や経験によって気づきにくい危険を回避したり、見えづらい子どもの動きを把握することが出来ます。
	石田委員	①行事保険の内容と対象人数が適正かについて 令和6年度と比較して減額しているようですが、これは実施日当日の参加人数ではなく、1年間の参加者数でならして補償が出来るのでしょうか？ 例えば令和6年度4月28日実施の際は、受益者が235名とありますが、補償出来る人数に不足はありませんか？ ②インターネットを活用した情報発信内容について 市川わんぱく広場実行委員会名義では2021年を最後に発信を見つけれませんでした。(共催の市川こども文化ステーションからはありました)現在どのようにされていますか？ ③近隣商店などへの協賛金も以前から検討されているようですが、現在も動きがない理由は何でしょうか。	①行事保険は1回ごとに参加人数を予想してかけています。令和6年度は5年度の参加人数が8月以外は多かったこと、少なかった8月は悪天候が原因と思われたため、各回200人としていましたが、令和6年度では参加人数が減っていたため令和7年度の予算ではその人数を基に保険額を決めました。予約や定員を設けず行っているため予想人数と実際の参加人数に差異は出てしまいますが、保障の対象が薄れなく出来るよう保健人数を考えていきます(行事保険は各回実施前に掛けています) ②実行委員会発足当初はホームページとFacebookでの情報発信を行っていましたが、決まった担当者をおいていなかったため発信が滞っています。令和7年度には早い時期から再開またはリニューアルをしていきたいと思っています。石垣委員さまのご意見もありましたように、SNSでの情報発信がますます重要になっていますので、喫緊の課題として取り組んでいきます。 ③「実行委員メンバーが各々知り合いの商店等に声をかけてみよう」と会議の中では話していますが、具体的に動きが作れてはいません。実行委員がそれぞれ仕事を持っていて時間が少ないことが大きな原因になっています。また、駅前公園を除き、公園に隣接する商店はチェーン店です。実行委員会発足前ですが、過去に本社などへ依頼するよう求められた経緯があり高いハードルを感じているということもあります。こちらも7年度の課題として取り組んでいく必要があると思っています。
	鈴木委員	①収支予算書の収入に寄附金収入が計上されていますが、6年度の実績金額はどれくらいでしょうか。 ②収支予算書支出欄で、補助対象経費のうち、印刷製本費、原材料費について、内訳毎の単価と数量を記載してください。	①令和6年度の寄付金実績は64,210円です。参加者、実行委員、その他地域の方からの個人的な寄付がその内容です。 ②印刷製本費35,000円のうち カラーパンフ30,000円(行徳地域の小学校全校、公共施設、幼稚園保育園等に配布依頼予定) ポスターコピー5000円(公園周辺等に掲示) 原材料費7,900円 シャボン玉材料として 洗剤2,300円(特大サイズ3本) グリセリン4800円(4本) ガムシロップ800円(1リットル) となります
	神原委員	1.事業対象者: 800名の算出根拠を教えてください 2.効果の定量的測定(検証)はどのような方法で行っていますか 3.1~3回目の効果の推移を教えてください 4.活動の目的に「プレーバーク事業→自己肯定感を高めながら成長する」とあるが、何故自己肯定感が高まるのか教えてください	1.これまでの参加者が各回150~200人ですので年間で700~800人としています。令和6年度は全体的に人数が少な目だったため、今回の申請では700としています。 2.これまでは効果にたいする定量的な測定は行っていませんでした。それぞれの遊びの現場で子どもや親子の声、動きからスタッフが拾い、振り返りの際にプレーリーダーやスタッフ間で共有していました。 上記種戸委員さまのご質問にもあったとおり、定量的な測定を行うことが重要になってくると思いますので、参加者に対するアンケート等実施していきます。 3.1回目(令和4年度)はコロナ禍収束前であり、家族以外との交流に懸念を抱く人が多い時期であったが、地域のボランティアとの交流が多く見られ、また、子どもにとっての遊びの重要性が再確認される場となった。参加人数は年間944人(実施3回) 2回目(令和5年度)では子どもたちが遊びを通して異年齢と関わり合う姿が多く見られた。コロナ以降前年度までは会場を1ヶ所としていたが、3ヶ所での開催とした。地域の交流として参加者親子同士や参加の保護者が我が子以外の子どもたちと交流する姿が増えた。参加人数1049人(実施4回) 3回目(令和6年度)はリーダーが増えたこともあり、プレーリーダーとともにロープ張りなど遊びの準備をする子もいて、積極的に関わる子どもが増えた。保護者にも子どもの自主性を尊重する様子が多くみられるようになった。参加人数857人(実施4回) 4.プレーバークは自由な遊びの場ですので、「〇〇しなければいけない」や他からの評価のない場所です。自分でやりたいことをやりたいように出来ます。自分の思ったようにできた、と感じることで自己評価が高まります。また、やってみたいことが思ったようにできなかった場合であっても、納得するまで挑戦し続けるのか、「今日はあきらめるのかを自分で決定できます。」「今日はできなかった、でも次はできるかもしれない」「もう少し大きくなったらできる」と自分の力を否定することなく「今日はもうやめる」と決めることで「決めた自分」を認めることができます。例えばそれが母立しながらであっても、最終的に自分で決めることは大きな意味があります。プレーバークでは様々な場面で子どもが自分で決めることができるので、小さなことでも自己評価の高まりをいくつも感じる事ができます。そこから自分の力を信じ前に向かう基となる自己肯定感へつながると考えています。
意見一覧			
山脇 委員		「今後実行委員会のメンバーを増やし、中心となってプレーバークを実施する人数を増やしていきたい」とのごことで、1年目、2年目にされていた勉強会や講座について、関わっていらっしゃる、または参加に関心を持つ大人の学びや経験共有の場は重要と思いましたが何らかの形で継続されていると聞いてないと思いました。今年予算を追加されたカラーパンフも大人の巻き込みにも活用されることを期待しています。	
石田委員		近隣学校や幼稚園保育園などへチラシの配布が行われているので、対象者に届きやすく工夫されていると思います。保護者世代はSNSの活用が多い為、こちらも検討して頂きたいです。チラシは紛失してしまったり、開催終了後は廃棄してしまうなど、記録として残りにくく、予定が合わなかったけれども今後は興味のある方へ届いていない可能性があります。今後の運営メンバー増員や頻度の拡大などにも有益だと思います。	
神原委員		社会性のある事業だと思います	

資料3-8 民活動体事業補助金申請 質疑への回答一覧				
申請内容	【申請内容】 任意団体(任意)M&M Table(任意)法人化(令和6年8月20日認証取得)、団体名称は変更となるが、事業は継続のため4回目の申請としてお送りします。 【事業の概要】 第1回申請時は「市内の高校に通学し、主に美術館・イラスト部に在籍する生徒」を主な対象と対象者を行ったが、事業継続からデジタル・ネイティブ(いわゆるZ世代)の子たちと社会の一人として健やかに成長するためには、思考力や表現力を身に付けることと課題を感じ、解決の手段として図書館でのいちかふたは古本市に事業を進化させてきた。集客力をあげたため、キッズカー、雑貨系のお土産を売り、収益を上げるため古本市出店者を募る、開催場所、回数を増やなどの工夫をしている。また、令和7年度は、新しい八幡複合施設での開催も予定、事業の認知度をあげるために回数を増やなど発展途中で、補助金の支援はまた必要である。	回答内容	【事務局補足回答】	
市民委員	デジタル・ネイティブ(Z世代)の子たちをターゲットに思考力、表現力、身に着けらるる事は焦点を当てた企画は大変意義深いと思います。しかしながら子どものみならず、大人に関しても読書離れの深刻さが取り立てられている時今、Z世代に読書を定着させるのは容易ではないと考えます。 ①どの様な種類の読書を提案していられるのでしょうか、或いは今後提案するものが、Z世代に響くとも考えられますか。 ②現在までの利用人数、などを示して頂く活動の内容が可視化出来るものではないでしょうか。	①図書館やニコットの読書構成に關してはわれわれの認知することではないので市川市にお尋ねください。もし、一箱古本市出店者の図書館選定であれば、それは憲法13条で保障されている幸福追求権に内包される各出店者の自己決定権に基づくもので、公共の福祉に反さない限り、主催者として出店者の選定に制限を設けることはできません。 ②という前提で申し上げるならばそこはDX化が良いと思っています。図書館の貸出については国立情報学研究所(旧学術情報センター)がつくったWebOPACにデータが残っているはずで、借り手の属性から利用頻度などがデジタルデータとしてはあるはずで、AIで読書構成を作成することも可能だと思います。厦門委員の在学しられた大学のメディアラボなどは石井裕さんというコンピュータサイエンスの第一人者がいらっしやるので、そういう方の力を借りると新しい22世紀型のEBPMの図書館選定として活用できる可能性があると感じています。 ③令和五年度からの実績報告は市川市に提出しています。	【事務局補足回答】 ②中央図書館(生涯学習センター)にて実施した際の参加者実績(報告書より抜粋) 令和6年度 3,500人 令和7年度 2,500人	
江口委員	補助対象事業費総額450,814円のうち、会費充当194,314円は「団体の本会計により充当」とされていますが、「本会計の会費収入のうち充当金額」をどのように算定されているのですか。			【事務局回答】 補助金申請時、支出が収入を上回る場合、団体の本会計(申請事業以外に行っている活動)から充当する形式を統一しています。結果として充当が必要な場合も、会費、繰越金等の内訳を求めています。
山崎 委員	1.多くの経費が2回分を想定されているが、保険料のみ「ニコット開催時はテスト開催後に検訂」として1回分しか計上されていない理由を教えてください。また、テスト開催後に保険料が必要となった場合、どのようにその費用を工面する計画をご教示ください。	新しい施設でどの程度の来場が見込めるのか把握できていないからです。費用の工面は団体の本会計からの支出となります。		
大西委員	予算書にある運営ディレクター費は生涯学習センターのみとありますが、どのような内容でしょうか。	令和五年度に同質問があり回答済みです中市川市にお尋ねください。		【事務局補足回答】 ①開催場所の規模により、運営ディレクターの要否を判断している。1.中央図書館(生涯学習センター)では、安全を期すために令和7年度に運営ディレクターを配置。2.ニコット(八幡複合施設)は、オープンスペースのみ小規模会場実施となるため、いままでの団体の経費構成で運営は可能であると判断しているとのこと。 ②運営ディレクターの役割等については、以下、令和5年度申請時の質疑回答から抜粋したものをご確認ください。 「経営管理は当団体とボランティアの手で行います。外部のディレクターに依頼するのは、主として運営面で注意すべき点を運営マニュアルとしまとめていただく作業が主となり、イベント当日も観入、観出、来場者の誘導面を指示させていただくことです。 その理由は、中央図書館前は歩道も狭く、交通量も多いことから、まず安全面への配慮、このようなイベントを図書館で開催するのは図書館としても初めてなのでナレッジが乏しく、怪我や事故が起こらないようにプロの視点が必要と考えています。たとえば、図書館外構部は人が多くなるお子さんがぶつかったときのことを考えや照明や看板の夜の養生をしたほうが良いとか、あるいは公共施設をお借りしたときはお手洗いの紙や石鹸、消毒液は主催側で完備して補充するのがマナーなどです。また、そのノウハウを当団体に吸収することで来年度以降は当団体とボランティアでということも視野に想定しています。 そのうえで来場者が楽しんだけただけのような雰囲気作りをしたいと志していますので、外部のプロの視点は我々としてはイベント実施にあたっての命題であると認識しております。」
石塚委員	①昨年の例でいうと、当日は台風が接近、大雨でした。しかしイベントそのものは雨天決行とし、その状況でも一人の怪我人も出ず、柔軟な対応をしました。現場というのは日々状況が変わります。加えての自然の変化に対応するにはそれなりの経験が必要ということですが、本補助金の委員の方でも読書であらせられるからこそ委員を務めていられるとお見受けいたしますが、有難い経験があることで安心してイベントが開催でき、行政財産を借用できるという理解です。東日本震災を例に上げてもなく、想像を尽くしても「想定外」のことは起こり、想像上の料上りのことと機敏に対応していくためには実績と経験を有する人物がいることで安心できるといふ保障でもあります。また、ディレクターは当日だけでなく開催が決まってから数度まで打ち合わせを重ね、都度の時間フィーを包括してもらい、毎年新しい何かをしようという点でも協力を仰いでいます。一度決まったから、次からは同じでよいという考えはイベントそのものの安全と安心を担保できず、そういう点を生涯学習部に評価されて令和5年度より毎年図書館をお借りできているのだと理解しています。 ②お尋ねのとおりです。 ③お感ですが、一番多かったのは小学生の子連れでした。多い少ないというのは来場者一人ずつカウントできないのでなんとも答えかねます。公共図書館は図書館法により誰でも利用できる開放された施設であり、施設の構造的に入館に対してチケットを販売するなどの施設構造になっていません。 ④幅広い世代へ向けてというより、回を重ねるに従って段々とそうなるということですが、全世代へ向けて「民話の会」の披露、こどもたちへ向けて「コラージュ川柳」、中学生から社会人へ向けて「接し本祭り」という範囲でのミニイベントをしています。そういう意味では常に進化と挑戦で、進化の過程、トランジションポジションを見せたいということに注目を置いています。また、当団体の会員、こども会費、ではサランの参加者は中高大生が多く、その人達の間関係性を築きつなげていたりします。	意見について当団体の見解 ①それは石塚委員の感想です。お感ですが、一番多かったのは小学生の子連れでした。多い少ないというのは来場者一人ずつカウントできないのでなんとも答えかねます。公共図書館は図書館法により誰でも利用できる開放された施設であり、施設の構造的に入館に対してチケットを販売するなどの施設構造になっていません。 ④幅広い世代へ向けてというより、回を重ねるに従って段々とそうなるということですが、全世代へ向けて「民話の会」の披露、こどもたちへ向けて「コラージュ川柳」、中学生から社会人へ向けて「接し本祭り」という範囲でのミニイベントをしています。そういう意味では常に進化と挑戦で、進化の過程、トランジションポジションを見せたいということに注目を置いています。また、当団体の会員、こども会費、ではサランの参加者は中高大生が多く、その人達の間関係性を築きつなげていたりします。		
結束委員	①7年度は古本市の回数を2回に増やし会場も別の場所と計画されていますが、現時点で新たな会場で実施することのメリットデメリットはどのように考えられていますか。(回数増と会場増を同年で行うことが大変ではないかと考えましたの) ②収支予算書支出欄で、補助対象経費のうち、交通費と使用料及び賃借料について、内訳書の単価と数量を記載してください。	①単年度に2回開催としたのは今年度が初めてではなく、R5年度からしています。ただ、規模は小さく当団体事務所で行っていました。デメリットというは特になく、強いて挙げれば年間が大会ということでしょうか。メリットというのは認知度の向上で協賛費を申しやすくなるために、今回のようなニコットでの開催になったということですね。なにしろ開催日は市民まつりとなることが多く、どうしてもそちらのイベントに流れてしまうということもあります。 ②交通費については計上していません。使用料については収支予算書に記載済みです。賃借料、主として物品レンタルですが、前年実績ということで令和6年度の実績報告に記載済みです中市川市にお尋ねください		【事務局補足回答】 令和6年11月19日に受領している令和6年度実績報告書、および令和5年度実績報告書から該当する物品についての単価を抜粋 ①令和7年度、交通費の予算計上はなし ②使用料及び賃借料 予算計上 148,841円(令和6年度:使用料及び賃借料の実績 110,000円) 八幡市民交流館賃借料(5,841枚) 後援費(無料) 椅子、テーブル(③3,500×4×2日)、立券スタンド(④20,000×2×2日)、誘導コーン、ドラムリール×6(⑤1,000×6×2日)、延長ケーブル×5、クーラーボックス(⑥2,500×2日)、スタッフ用トランシーバー×5(⑦4,500×5×2日)等(前年実績に基づく2日間分) ※上記、単価実績のある使用料及び賃借料合計で 175,841円となります。
神原委員	1.事業対象者:1000名の算出根拠を教えてください 2.効果の定量的測定(検定)はどのような方法で行っていますか 3.1~3回目の効果の推移を教えてください 4.事業の目的は端的な言い、子供の読書の啓蒙ですか	①初回の来場者実績からの算出です。 ②EBPMのことを仰っているのだと理解しますが、2008年を境に人口は減少し、直近の数字だと89万人が自然減だそうです。つまり高度成長を遂げていて量が正義であった時代は過ぎ、情報とかデータとして記述できないものは資本主義の対象にできない時代ではなく、いまは問われるフェーズに入ったと認識しています。また、市民活動というのは経済(収益事業)活動とは縁が薄く、我々が非営利団体として法人化したのも同様の理由になります。このような時代に定量化が効果の検証に役立つのかという疑問です。また、定量化というエビデンスが大切みたいなことだと思いますが、エビデンスが大切というエビデンスは無いようです。そのような短期的な成果を目指すよりは長期的な投資を担う要因になり、自らのKPIに引っ張られることとなります。加えてデータというのはデータで測れるものしか観測できません。 こどもたちの未来をどのように計画的に最適化するのでしょうか、逆にお尋ねしたいです。そういう点で神原委員のご質問はアンコンシャスバイアスに振れているように感じます。また、定性的な視点で観ても、こどもたちの読書力の向上という点で言えば、当団体で定期的に行っているこども会費やサランを見ていると、文字を読めるだけでなく、文章が読めて、行間が読めるようになってきたと感じます。なので費用も仮設備費を立てて思考し実践するということが大切だと考えています。そういう意味でいうと、過去30年を振り返って、人間が義務教育で手に入れたる考え方のスキルにどのくらいの変化が与えられたかを自問してみても、必要な知識習得のために読書は欠かせず、そのために字が読めて、文章が理解できて、行間を感じることができる感性が必要だと感じ次第です。		
戸原委員	法人化は事業の継続性、発展性という観点から評価できます。今年度は、開催場所、回数を増やして実質的な成果を示せるように工夫をお願いいたします。			
江口委員	会費充当金額を増額することが可能であれば補助金収入は不要になるという考え方もあります。ただし、会費充当金額が運営上りざりの金額であれば違う意見もあります。			
石塚委員	①人件費としては安価ではないように感じます。以前作成して頂いたマニュアルを参考とし、過去の開催経験からも内製化出来ないでしょうか。 ②参考情報ですが、A4チラシの印刷費は5千部1万円強でも可能です。(リンク参照) https://www.printpa.co.jp/pricelist/list.php?product=leaflet&size=4&paper_type=1&paper=1&noki=7&changed=&proceed=on			
神原委員	社会性のある事業だと思えます			

令和6年度 収支計算書

自. 令和6年4月1日 至. 令和7年03月31日

報告日: 1月14日

鬼まち一家

収入の部

(単位:円)

科目	摘要	決算金額
前年度繰越金		20,338
事業収益		(336,500)
	事業受託収益	138,000
	事業収益	198,500
販売収益	販売収益	157,251
雑収入	雑収入	5,011
当期収入合計		(498,762)
収入合計		519,100

支出の部

(単位:円)

科目	摘要	決算金額
管理費		(440,621)
	人件費	196,450
	寺使用料	86,750
	印刷費	8,050
	交通費	26,500
	雑費・消耗品	56,044
	広告費	3,075
	講師謝金	2,170
	販売原価	55,682
	保険料	5,900
科目なし		1,800
当期支出合計		(442,421)
次年度繰越金		76,679
支出合計		519,100

資料3-3-1

様式第4号(第5条関係)

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収 入】 (単位:円)

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	300,000	1,000円×300名
寄附金収入		
補助金収入	300,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他(助成金等)		
会費充当	106,000	団体の本会計より充当
合 計	706,000	

2 【支 出】 (単位:円)

項目	金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	239,000	180,000	和太鼓講師謝礼 100,000円 (補助対象50,000円 補助対象外50,000円) 密家謝礼 50,000円 映像作成謝礼 30,000円 音響謝礼 20,000円 照明謝礼 30,000円 受付謝礼 3,000×3名(補助対象外) 9,000円 合計 239,000円 (補助対象180,000円 補助対象外59,000円)
交通費			
消耗品費	25,000	25,000	・会場設置用消耗品(テープ等) ・救急用品(酸素缶等) ・文房具(芳名帳、ペン、ポストイット、接着剤等) ・演奏時消耗品(花吹雪、ペンライト、蓄光テープ、太鼓台固定用強力テープ) ・舞台小物(鍋・お玉・扇子等)他
印刷製本費	140,000	140,000	ポスター・チラシ・チケット・パンフレット作製デザイン料 50,000円 ポスター・チラシ印刷費(3,000枚) 予算50,000円 チケット・パンフレット印刷費(各400枚) 40,000円
通信運搬費	60,000	60,000	当日の資料運搬料(往復) 55,000円 案内・チラシ等郵送料 5,000円
保険料			
使用料及び賃借料	167,000	167,000	会場使用料等 97,000円 機材使用料等 70,000円
原材料費	45,000	45,000	・受付パネル作成材料費(パネル、構造紙、スタンド、装飾用モール等) ・舞台セット作成材料費(ベニヤ・プラスチックパネル・固定用金具等) ・舞台衣装、衣装用付属品(モール材・布・綿等)
食費	30,000		当日昼食代 25,000円 当日水分補給用飲料費 5,000円
合 計	706,000	617,000	

※以下、事務局より補足(観戸委員への団体回答より、内訳を下記に記載しました。)

<p>【消耗品費】 前回実績をもとに係数処理をしてまいりました。 <参考:前回実績>物価上昇の総合指数(総務省統計)2020年比110.7を勘案して丸めた数字で計上 ・会場設置用消耗品(テープ等) 2,682円 ・救急用品(酸素缶等) 586円 ・文房具(芳名帳、ペン、ポストイット、接着剤等) 2,401円 ・演奏時消耗品(花吹雪、ペンライト、蓄光テープ、太鼓台固定用強力テープ) 9,952円 ・舞台小物(鍋・お玉・扇子等)他 3,200円</p>
<p>【印刷製本費】 ・ポスター・チラシ・チケット・パンフレット作製デザイン料50,000円 ・屋外用ポスター印刷(100枚) 30,000円、 チラシフライヤー(3000枚) 14,000円 (チラシフライヤーを置くことが困難な場所についてははがきサイズの補助フライヤー1000枚を希望) 6,000円 合計50,000円 ・チケット印刷(400枚) 14,000円 パンフレット(500枚) ※保管資料用を含む 以下同じ 20,000円 パンフレット付属印刷物(挟み込んだりして配布するもの) アンケート1,000円 メンバー募集用紙および2025スケジュール1,000円 資料(文化資料および音楽資料としての簡易冊子) 3,000円 注意事項などのご案内1000円 合計40,000円</p>
<p>【郵送料】 ・トラック往復費用55,000円 ・はがきタイプフライヤー 郵便代 82円×25枚 2,050円 チラシタイプフライヤー 郵便代 110円×10通 1,100円 協賛箇所へのフライヤー送料 430円×5通 2,150円 合計5,300円(丸めた数字を計上しています)</p>
<p>【使用料および賃借料】 ・小ホール使用料80,570円 楽屋代9,280円 駐車場1,200円×6台 合計97,050円(丸めたものを計上) ・照明(D)セット43,197円 スポットライト 577×2 1,154円 ワイヤレスマイク 4,851×2 9702円 ダイナミックマイク 3,234×2 6,468円 ビデオプロジェクトセット 25,987円 合計70,338円(丸めたものを計上)</p>
<p>【原材料費】 前回実績をもとに係数処理をしてまいりました。 <参考:前回実績>物価上昇の総合指数(総務省統計)2020年比110.7を勘案して丸めた数字で計上 ・受付パネル作成材料費(パネル、構造紙、スタンド、装飾用モール等) 18,359円 ・舞台セット作成材料費(ベニヤ・プラスチックパネル・固定用金具等) 21,300円 ・舞台衣装、衣装用付属品(モール材・布・綿等) 3,320円</p>
<p>【食費】 1人当たり お弁当 1,000円 飲み物 200円 計 1,200円 (メンバー 12名・講師 2名・スタッフ 3名・受付手伝い 3名) 24,000円(1,200円×20名分) + どの館などの常備品1,000円 合計25,000円</p>

備考

- 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書(様式第1号)を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書(様式第2号)とともに領収書を添付する必要があります。

様式第4号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収入】 (単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
事業収入	0	
寄附金収入	1,100,000	協賛寄附金750,000円 協賛広告費50,000円 個人寄附300,000円
補助金収入	287,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	136,000	団体の本会計より充当
合計	1,523,000	

2 【支出】 (単位：円)

項目	金額	うち補助対象金額	説明 (積算等)
報償費			
交通費	15,000	15,000	駐車料金10台分 パフォーマンスステージ設営、楽器・音響セットの配置、テント設営、マルシェ屋台設営など10台分
消耗品費	30,000	30,000	バレード配布小旗110円×500枚=55,000円 (予算計上時は、30,000円を想定)
印刷製本費	190,000	190,000	開催チラシ 2円×10,000枚=20,000円 募集チラシ 2円×10,000枚=20,000円 パンフレット8円×3,000部=24,000円 ロゴパネル製作費50,000円 デザイン料76,000円
通信運搬費	5,000	5,000	アート作品特別配送費 750円×10通 =7,500円 (予算計上時は、5,000円を想定)
保険料			
使用料 及び賃借料	343,000	334,000	控室(グリーンスタジオ) 24,000円 音響費(株)キルト 250,000円 フォーラム説明会会場費 3,000×3回(対象外) レンタカー代60,000円
原材料費			
その他	940,000		スタッフ用衣装100,000円 アートプリント代50,000円 アート展示用備品50,000円 映像・写真記録費250,000円 HP維持費50,000円 事務所借用費240,000円(20,000円×12ヵ月) スタッフ人件費150,000円 その他50,000円
合計	1,523,000	574,000	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書(様式第11号)を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書(様式第12号)とともに領収書を添付する必要があります。

わんぱく広場 参加者集計 2022年度～2024年度

2022年度

実施日	会場	合計人数	子ども計	0～3歳	4～6歳	小学生	中高生	大人計	保護者	ボランティア・スタッフ
2022.5.3	東海面公園	390	212	39	62	109	2	178	163	15
2022.9.4	東海面公園	183	95	32	31	30	2	88	77	11
2024.11.27	東海面公園	270	152	37	46	67	2	118	102	16
2022年度合計		843	459	108	139	206	6	384	342	42

2023年度

実施日	会場	合計人数	子ども計	0～3歳	4～6歳	小学生	中高生	大人計	保護者	ボランティア・スタッフ
2023.4.29	南部公園	424	259	36	55	167	1	165	148	17
2023.8.27	東海面公園	117	54	14	14	26	0	63	45	18
2023.11.23	東海面公園	265	150	33	53	59	5	115	101	14
2024.3.3	駅前公園	273	145	45	46	52	2	128	109	19
2023年度合計		1079	608	128	168	304	8	471	403	68

2024年度

実施日	会場	合計人数	子ども計	0～3歳	4～6歳	小学生	中高生	大人計	保護者	ボランティア・スタッフ
2024.4.28	南部公園	235	145	8	31	106	0	90	71	19
2024.8.25	東海面公園	108	53	10	20	22	1	55	42	13
2024.11.3	南部公園	154	93	15	19	57	2	61	49	12
2025.2.9	駅前公園	360	185	60	59	66	0	175	155	20
2024年度合計		857	476	93	129	251	3	381	317	64

投票シート

特定非営利活動法人LIBERTY BELL

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

※1【団体要件】

- 市内に主たる事務所を有し、かつ、市内において活動をしていること
- 市民活動団体の目的、名称、その行う活動の種類及び活動に係る事業の種類その他規則で定める事項を記載した規約、会則、定款等（以下「規約等」という。）を有していること
- 5人以上の者で構成されていること
- 申請書の提出時において、1事業年度以上継続して活動していること（任意団体からNPO法人に組織を変更した場合を含む）
- 法令、条例等に違反する活動をしていないこと
- 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていないこと
- 申請書の提出に係る年度から起算して5年以内に、偽りその他の不正の手段により補助金の交付の決定を受けたことにより当該決定の全部又は一部を取り消されていないこと
- 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団並びに同条第6号に規定する暴力団員及び市川市暴力団排除条例第9条第1項に規定する暴力団密接関係者が市民活動団体の代表者、役員その他これらと同等の責任を有する者として当該市民活動団体の事業活動の支配をしていないこと

※2【事業要件】

- 規則で定める20分野の事業であること
- 市内において実施するものであること（市内に活動拠点が（市の市民が中心となり）、その活動が市のPRやイメージアップ又は市川市民の生活に何らかの形で貢献するもの）
※市外での活動（例：市外のキャンプ場での野外活動）や、インターネットによる事業開催も、市川市民にとって価値ある情報の提供、又は市川市民を対象にした内容であると認められる場合には対象となります。
- 営利を目的としないものであること
- 市民を主たる対象とするものであること
- 団体を構成する者のみを対象とするものでないこと（障がい者向けの団体などで、安定した団体運営のために会員制を採用している場合は対象となります。）
- 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成するものでないこと
- 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれらに反対するものでないこと
- 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推進し、支持し、又はこれらに反対するものでないこと
- 補助金の交付を受けようとする年度に本市から助成金その他相当の反対給付を受けない給付金の交付を受けていないこと

※3【実施基準】

- 市の税金を使って補助金を支出するにふさわしい市民の理解が得られる事業であること
 - 事業実施団体として
 - 市民が日頃の生活の中で抱えている課題や問題を、自主的自発的に解決、改善しようとしている（※国外や日本全体に及ぶ問題は当該補助金の対象とするか要検討）
 - 事業に参加する市民から見
 - 団体の規約等に定められた目的と合致した事業で、地域の課題や問題が解決されると感じられる（※スポーツ大会や演奏会、会員の活動を発表する事業は、市民の観覧や参加が可能な環境を備えていることが必要）
 - 目的を達成できる見込みのある事業であること
 - 広く市民が参加できるように広報等で呼びかけをしていること
 - 事業規模に合う実施場所や実施時期、スケジュールが計画されていること
 - 費用が適切に積算され、資金計画に問題がないこと（補助金以外の収入確保の観点）
 - 事業の参加予定人数に対し、主催する団体側の人員を十分配置できること
 - 専門的な知識や技能を持つ方を講師等としてお招きする場合は、団体の構成員以外に、20人以上の市民が参加する事業であること。（福祉目的で、事業の計画的な運営のために会員制を採用している事業（例：障がい児・者の水泳療育等）は除く。）

投票シート

鬼まち一家

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

※1【団体要件】

- 市内に主たる事務所を有し、かつ、市内において活動をしていること
- 市民活動団体の目的、名称、その行う活動の種類及び活動に係る事業の種類その他規則で定める事項を記載した規約、会則、定款等（以下「規約等」という。）を有していること
- 5人以上の者で構成されていること
- 申請書の提出時において、1事業年度以上継続して活動していること（任意団体からNPO法人に組織を変更した場合を含む）
- 法令、条例等に違反する活動をしていないこと
- 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていないこと
- 申請書の提出に係る年度から起算して5年以内に、偽りその他の不正の手段により補助金の交付の決定を受けたことにより当該決定の全部又は一部を取り消されていないこと
- 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団並びに同条第6号に規定する暴力団及び市川市暴力団排除条例第9条第1項に規定する暴力団密接関係者が市民活動団体の代表者、役員その他これらと同等の責任を有する者として当該市民活動団体の事業活動の支配をしていないこと

※2【事業要件】

- 規則で定める20分野の事業であること
- 市内において実施するものであること（市内に活動拠点があり（市の市民が中心となり）、その活動が市のPRやイメージアップ又は市川市民の生活に何らかの形で貢献するもの）
※市外での活動（例：市外のキャンプ場での野外活動）や、インターネットによる事業開催も、市川市民にとって価値ある情報の提供、又は市川市民を対象にした内容であると認められる場合には対象となります。
- 営利を目的としないものであること
- 市民を主たる対象とするものであること
- 団体を構成する者のみを対象とするものでないこと（障がい者向けの団体などで、安定した団体運営のために会員制を採用している場合は対象となります。）
- 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成するものでないこと
- 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれらに反対するものでないこと
- 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推進し、支持し、又はこれらに反対するものでないこと
- 補助金の交付を受けようとする年度に本市から助成金その他相当の反対給付を受けない給付金の交付を受けていないこと

※3【実施基準】

- 市の税金を使って補助金を支出するにふさわしい市民の理解が得られる事業であること
 - 事業実施団体として
 - 市民が日頃の生活の中で抱えている課題や問題を、自主的自発的に解決、改善しようとしている（※国外や日本全体に及ぶ問題は当該補助金の対象とするか要検討）
 - 事業に参加する市民から見
 - 団体の規約等に定められた目的と合致した事業で、地域の課題や問題が解決されると感じられる（※スポーツ大会や演奏会等、会員の活動を発表する事業は、市民の観覧や参加が可能な環境を備えていることが必要）
 - 目的を達成できる見込みのある事業であること
 - 広く市民が参加できるように広報等で呼びかけをしていること
 - 事業規模に合う実施場所や実施時期、スケジュールが計画されていること
 - 費用が適切に積算され、資金計画に問題がないこと（補助金以外の収入確保の観点）
 - 事業の参加予定人数に対し、主催する団体側の人員を十分配置できること
 - 専門的な知識や技能を持つ方を講師等としてお招きする場合は、団体の構成員以外に、20人以上の市民が参加する事業であること。（福祉目的で、事業の計画的な運営のために会員制を採用している事業（例：障がい児・者の水泳療育等）は除く。）

投票シート

手児奈太鼓保存会		審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋			評価	
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない					
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。					

※1【団体要件】

- 市内に主たる事務所を有し、かつ、市内において活動をしていること
- 市民活動団体の目的、名称、その行う活動の種類及び活動に係る事業の種類その他規則で定める事項を記載した規約、会則、定款等（以下「規約等」という。）を有していること
- 5人以上の者で構成されていること
- 申請書の提出時において、1事業年度以上継続して活動していること（任意団体からNPO法人に組織を変更した場合を含む）
- 法令、条例等に違反する活動をしていないこと
- 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていないこと
- 申請書の提出に係る年度から起算して5年以内に、偽りその他の不正の手段により補助金の交付の決定を受けたことにより当該決定の全部又は一部を取り消されていないこと
- 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団並びに同条第6号に規定する暴力団員及び市川市暴力団排除条例第9条第1項に規定する暴力団密接関係者が市民活動団体の代表者、役員その他これらと同等の責任を有する者として当該市民活動団体の事業活動の支配をしていないこと

※2【事業要件】

- 規則で定める20分野の事業であること
- 市内において実施するものであること（市内に活動拠点があり（市の市民が中心となり）、その活動が市のPRやイメージアップ又は市川市民の生活に何らかの形で貢献するもの）
※市外での活動（例：市外のキャンプ場での野外活動）や、インターネットによる事業開催も、市川市民にとって価値ある情報の提供、又は市川市民を対象にした内容であると認められる場合には対象となります。
- 営利を目的としないものであること
- 市民を主たる対象とするものであること
- 団体を構成する者のみを対象とするものでないこと（障がい者向けの団体などで、安定した団体運営のために会員制を採用している場合は対象となります。）
- 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成するものでないこと
- 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれらに反対するものでないこと
- 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推進し、支持し、又はこれらに反対するものでないこと
- 補助金の交付を受けようとする年度に本市から助成金その他相当の反対給付を受けない給付金の交付を受けていないこと

※3【実施基準】

- 市の税金を使って補助金を支出するにふさわしい市民の理解が得られる事業であること
 - 事業実施団体として
 - 市民が日頃の生活の中で抱えている課題や問題を、自主的自発的に解決、改善しようとしている（※国外や日本全体に及ぶ問題は当該補助金の対象とするか要検討）
 - 事業に参加する市民から見
 - 団体の規約等に定められた目的と合致した事業で、地域の課題や問題が解決されると感じられる（※スポーツ大会や演奏等、会員の活動を発表する事業は、市民の観覧や参加が可能な環境を備えていることが必要）
 - 目的を達成できる見込みのある事業であること
 - 広く市民が参加できるように広報等で呼びかけをしていること
 - 事業規模に合う実施場所や実施時期、スケジュールが計画されていること
 - 費用が適切に積算され、資金計画に問題がないこと（補助金以外の収入確保の観点）
 - 事業の参加予定人数に対し、主催する団体側の人員を十分配置できること
 - 専門的な知識や技能を持つ方を講師等としてお招きする場合は、団体の構成員以外に、20人以上の市民が参加する事業であること。（福祉目的で、事業の計画的な運営のために会員制を採用している事業（例：障がい児・者の水泳療育等）は除く。）

投票シート

市川ごたませ実行委員会

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

※1【団体要件】

- 市内に主たる事務所を有し、かつ、市内において活動をしていること
- 市民活動団体の目的、名称、その行う活動の種類及び活動に係る事業の種類その他規則で定める事項を記載した規約、会則、定款等（以下「規約等」という。）を有していること
- 5人以上の者で構成されていること
- 申請書の提出時において、1事業年度以上継続して活動していること（任意団体からNPO法人に組織を変更した場合を含む）
- 法令、条例等に違反する活動をしていないこと
- 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていないこと
- 申請書の提出に係る年度から起算して5年以内に、偽りその他の不正の手段により補助金の交付の決定を受けたことにより当該決定の全部又は一部を取り消されていないこと
- 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団並びに同条第6号に規定する暴力団員及び市川市暴力団排除条例第9条第1項に規定する暴力団密接関係者が市民活動団体の代表者、役員その他これらと同等の責任を有する者として当該市民活動団体の事業活動の支配をしていないこと

※2【事業要件】

- 規則で定める20分野の事業であること
- 市内において実施するものであること（市内に活動拠点があり（市の市民が中心となり）、その活動が市のPRやイメージアップ又は市川市民の生活に何らかの形で貢献するもの）
※市外での活動（例：市外のキャンプ場での野外活動）や、インターネットによる事業開催も、市川市民にとって価値ある情報の提供、又は市川市民を対象にした内容であると認められる場合には対象となります。
- 営利を目的としないものであること
- 市民を主たる対象とするものであること
- 団体を構成する者のみを対象とするものでないこと（障がい者向けの団体などで、安定した団体運営のために会員制を採用している場合は対象となります。）
- 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成するものでないこと
- 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれらに反対するものでないこと
- 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推進し、支持し、又はこれらに反対するものでないこと
- 補助金の交付を受けようとする年度に本市から助成金その他相当の反対給付を受けない給付金の交付を受けていないこと

※3【実施基準】

- 市の税金を使って補助金を支出するにふさわしい市民の理解が得られる事業であること
 - 事業実施団体として
 - 市民が日頃の生活の中で抱えている課題や問題を、自主的自発的に解決、改善しようとしている（※国外や日本全体に及ぶ問題は当該補助金の対象とするか要検討）
 - 事業に参加する市民から見
 - 団体の規約等に定められた目的と合致した事業で、地域の課題や問題が解決されると感じられる（※スポーツ大会や演奏会、会員の活動を発表する事業は、市民の観覧や参加が可能な環境を備えていることが必要）
 - 目的を達成できる見込みのある事業であること
 - 広く市民が参加できるように広報等で呼びかけをしていること
 - 事業規模に合う実施場所や実施時期、スケジュールが計画されていること
 - 費用が適切に積算され、資金計画に問題がないこと（補助金以外の収入確保の観点）
 - 事業の参加予定人数に対し、主催する団体側の人員を十分配置できること
 - 専門的な知識や技能を持つ方を講師等としてお招きする場合は、団体の構成員以外に、20人以上の市民が参加する事業であること。（福祉目的で、事業の計画的な運営のために会員制を採用している事業（例：障がい児・者の水泳療育等）は除く。）

投票シート

市川民話の会

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

※1【団体要件】

- 市内に主たる事務所を有し、かつ、市内において活動をしていること
- 市民活動団体の目的、名称、その行う活動の種類及び活動に係る事業の種類その他規則で定める事項を記載した規約、会則、定款等（以下「規約等」という。）を有していること
- 5人以上の者で構成されていること
- 申請書の提出時において、1事業年度以上継続して活動していること（任意団体からNPO法人に組織を変更した場合を含む）
- 法令、条例等に違反する活動をしていないこと
- 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていないこと
- 申請書の提出に係る年度から起算して5年以内に、偽りその他の不正の手段により補助金の交付の決定を受けたことにより当該決定の全部又は一部を取り消されていないこと
- 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団並びに同条第6号に規定する暴力団員及び市川市暴力団排除条例第9条第1項に規定する暴力団密接関係者が市民活動団体の代表者、役員その他これらと同等の責任を有する者として当該市民活動団体の事業活動の支配をしていないこと

※2【事業要件】

- 規則で定める20分野の事業であること
- 市内において実施するものであること（市内に活動拠点があり（市の市民が中心となり）、その活動が市のPRやイメージアップ又は市川市民の生活に何らかの形で貢献するもの）
※市外での活動（例：市外のキャンプ場での野外活動）や、インターネットによる事業開催も、市川市民にとって価値ある情報の提供、又は市川市民を対象にした内容であると認められる場合には対象となります。
- 営利を目的としないものであること
- 市民を主たる対象とするものであること
- 団体を構成する者のみを対象とするものでないこと（障がい者向けの団体などで、安定した団体運営のために会員制を採用している場合は対象となります。）
- 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成するものでないこと
- 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれらに反対するものでないこと
- 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推進し、支持し、又はこれらに反対するものでないこと
- 補助金の交付を受けようとする年度に本市から助成金その他相当の反対給付を受けない給付金の交付を受けていないこと

※3【実施基準】

- 市の税金を使って補助金を支出するにふさわしい市民の理解が得られる事業であること
 - 事業実施団体として
 - 市民が日頃の生活の中で抱えている課題や問題を、自主的自発的に解決、改善しようとしている（※国外や日本全体に及ぶ問題は当該補助金の対象とするか要検討）
 - 事業に参加する市民から見
 - 団体の規約等に定められた目的と合致した事業で、地域の課題や問題が解決されると感じられる（※スポーツ大会や演奏会、会員の活動を発表する事業は、市民の観覧や参加が可能な環境を備えていることが必要）
 - 目的を達成できる見込みのある事業であること
 - 広く市民が参加できるように広報等で呼びかけをしていること
 - 事業規模に合う実施場所や実施時期、スケジュールが計画されていること
 - 費用が適切に積算され、資金計画に問題がないこと（補助金以外の収入確保の観点）
 - 事業の参加予定人数に対し、主催する団体側の人員を十分配置できること
 - 専門的な知識や技能を持つ方を講師等としてお招きする場合は、団体の構成員以外に、20人以上の市民が参加する事業であること。（福祉目的で、事業の計画的な運営のために会員制を採用している事業（例：障がい児・者の水泳療育等）は除く。）

投票シート

特定非営利活動法人みんなのサンタ

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

※1【団体要件】

- 市内に主たる事務所を有し、かつ、市内において活動をしていること
- 市民活動団体の目的、名称、その行う活動の種類及び活動に係る事業の種類その他規則で定める事項を記載した規約、会則、定款等（以下「規約等」という。）を有していること
- 5人以上の者で構成されていること
- 申請書の提出時において、1事業年度以上継続して活動していること（任意団体からNPO法人に組織を変更した場合を含む）
- 法令、条例等に違反する活動をしていないこと
- 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていないこと
- 申請書の提出に係る年度から起算して5年以内に、偽りその他の不正の手段により補助金の交付の決定を受けたことにより当該決定の全部又は一部を取り消されていないこと
- 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団並びに同条第6号に規定する暴力団及び市川市暴力団排除条例第9条第1項に規定する暴力団密接関係者が市民活動団体の代表者、役員その他これらと同等の責任を有する者として当該市民活動団体の事業活動の支配をしていないこと

※2【事業要件】

- 規則で定める20分野の事業であること
- 市内において実施するものであること（市内に活動拠点があり（市の市民が中心となり）、その活動が市のPRやイメージアップ又は市川市民の生活に何らかの形で貢献するもの）
※市外での活動（例：市外のキャンプ場での野外活動）や、インターネットによる事業開催も、市川市民にとって価値ある情報の提供、又は市川市民を対象にした内容であると認められる場合には対象となります。
- 営利を目的としないものであること
- 市民を主たる対象とするものであること
- 団体を構成する者のみを対象とするものでないこと（障がい者向けの団体などで、安定した団体運営のために会員制を採用している場合は対象となります。）
- 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成するものでないこと
- 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれらに反対するものでないこと
- 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推進し、支持し、又はこれらに反対するものでないこと
- 補助金の交付を受けようとする年度に本市から助成金その他相当の反対給付を受けない給付金の交付を受けていないこと

※3【実施基準】

- 市の税金を使って補助金を支出するにふさわしい市民の理解が得られる事業であること
 - 事業実施団体として
 - 市民が日頃の生活の中で抱えている課題や問題を、自主的自発的に解決、改善しようとしている（※国外や日本全体に及ぶ問題は当該補助金の対象とするか要検討）
 - 事業に参加する市民から見
 - 団体の規約等に定められた目的と合致した事業で、地域の課題や問題が解決されると感じられる（※スポーツ大会や演奏会、会員の活動を発表する事業は、市民の観覧や参加が可能な環境を備えていることが必要）
 - 目的を達成できる見込みのある事業であること
 - 広く市民が参加できるように広報等で呼びかけをしていること
 - 事業規模に合う実施場所や実施時期、スケジュールが計画されていること
 - 費用が適切に積算され、資金計画に問題がないこと（補助金以外の収入確保の観点）
 - 事業の参加予定人数に対し、主催する団体側の人員を十分配置できること
 - 専門的な知識や技能を持つ方を講師等としてお招きする場合は、団体の構成員以外に、20人以上の市民が参加する事業であること。（福祉目的で、事業の計画的な運営のために会員制を採用している事業（例：障がい児・者の水泳療育等）は除く。）

投票シート

市川わんぱく広場実行委員会			
審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価	
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない		
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。		

投票シート

特定非営利活動法人M&M Table				
審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	▲	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	▲	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	▲	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

令和6年度いちサボ補助金補助決定団体・実績一覧表【全44団体・団体番号順】

申請・確認状況					交付可否決定に係る額			概算払い関係	取消又は軽微変更			実績報告に係る額		精算			財務システム		実績報告提出日	事業概要説明	実施時期、方法、場所	
事業No.	団体番号	団体名	代表者	申請回数	事業名	事業費総額	補助対象経費	交付申請額 (交付決定額)	概算払いの有無	内容	主な変更	理由	事業費総額	補助対象経費	概算払額	返金額	交付決定額	負担行為番号				命令番号
1	2	ケアカフェいちかわ	梶 貴雄	6	在宅医療介護啓蒙の為に市民まつり出展事業	248,850	196,850	98,425	有				242,626	144,206	98,425	26,322	72,103			R7.3.31		
2	8	市川市マンション管理組合協議会	栗原 豊	6	マンション管理セミナー・交流会・相談会	335,900	321,900	150,000	有				245,616	221,705	150,000	39,148	110,852			R7.3.28		
3	10	緑のみずがき隊	森角 武久	9	環境教育プログラム『みどりの寺子屋』【緑の楽交】	190,000	170,000	85,000	有	軽微変更	事業一部中止	雨天のため	190,029	170,000	85,000	0	85,000			R7.2.26		
4	14	アシカちゃんクラブ	須子 博方	9	知的障害児・者のための水泳療育	714,500	696,000	150,000	有				672,500	660,000	150,000	0	150,000			R7.3.31		
5	17	特定非営利活動法人ニッポンアクティブライフクラブ市川拠点「ナルク市川」	柴田 守	9	「市民公開講座」事業	440,000	400,000	150,000	有	軽微変更	講座の開催日程および内容の一部変更	会場の都合上	358,427	348,000	150,000	0	150,000			R7.3.31		
6	18	MOA食育ネットワーク千葉・ハビネスクラブ	佐藤 静子	9	健康を守る自然食中心の食育推進事業	384,350	184,700	92,350	有				309,627	123,591	92,350	30,555	61,795			R7.2.28		
7	19	古事記に親しむ会	宇野 友章	8	第2回 古事記を落語で <エピソード2>	275,000	220,000	110,000	有				283,221	173,063	110,000	23,469	86,531			R6.12.11		
8	20	NPO法人市川子どもの外遊びの会	和田 京子	9	子どもが安心して自由に外遊びするためのプレーパーク事業	456,500	456,500	150,000	有				550,120	455,110	150,000	0	150,000			R7.3.24		
9	25	市川ジュニアBリーグ	篠崎 義治	9	子どもの健全育成を図る小学校低学年野球大会の開催事業	730,000	521,000	150,000	有				1,163,209	513,570	150,000	0	150,000			R7.3.14		
10	27	傾聴ボランティアサークル「うさぎの耳」	村山 慎一	7	「傾聴ボランティア養成講座」	200,000	200,000	100,000	有				161,677	160,837	100,000	19,582	80,418			R7.1.10		
11	31	鬼越ふるさと会	山田 昌男	8	真間川歩け歩け大会	399,800	199,800	99,900	有	全部中止			0	0	99,900	99,900	0			中止		
12	34	子育て応援メッセ実行委員会	花蜜 ユカ	9	子育て家庭・妊婦さん向けイベント開催事業	510,000	340,000	150,000	有				494,686	324,997	150,000	0	150,000			R7.3.10		
13	35	特定非営利活動法人 いちかわ子育てネットワーク	幸前 文子	9	子育てに関わる人たちのためのつながる勉強会開催事業	80,000	50,000	25,000	有	軽微変更	開催時期変更・追加開催	ゲストとの日程調整および参加者からのニーズによる追加開催によるもの	65,524	40,380	25,000	4,810	20,190			R7.3.17		
14	36	子育て交差点実行委員会	花蜜 ユカ	9	子育て交差点行徳開催事業	250,000	154,000	77,000	有				198,955	117,476	77,000	18,262	58,738			R7.1.10		
15	37	NPO法人市川にオオムラサキを生息させる会	川添 茂	9	オオムラサキの飼育活動を通しての自然環境保全啓発事業	221,642	162,402	81,201	有				268,571	162,402	81,201	0	81,201			R7.2.2		
16	45	市川児童合唱団	柴田 裕子	8	「ひびけ！とどけ！子どもらの歌声、市川の街に」事業	1,269,720	370,000	150,000	有	軽微変更	代表者の変更	代表者退団のため	1,187,288	330,000	150,000	0	150,000			R7.2.25		
17	47	特定非営利活動法人市民後見センターちば	渡邊 誠志	9	市民に広く成年後見人制度を広め、その活用を推進する事業	590,600	500,600	150,000	無（実績払い）	軽微変更	講師料の変更	外部講師が諸事情により来れず、内部講師にて事業を行ったため	251,659	218,423	0	40,789	109,211			R7.3.31		
18	53	ラーラ・マンドリンクラブ	浅井 好男	6	マンドリン合奏を通じての地域文化活動	778,450	754,450	150,000	有	軽微変更	代表者の変更	代表者の任期満了のため	642,557	620,557	150,000	0	150,000			R7.2.17		
19	54	アンサンブル・市川	吉田 直	7	「上質な吹奏楽に包まれて感動の生涯教育を！」	315,200	308,240	150,000	有				389,202	279,590	150,000	10,205	139,795			R7.2.24		
20	57	国分川鯉のぼり実行委員会	服部 英信	8	国分川鯉のぼりフェスティバル	699,100	584,100	150,000	有				761,355	555,905	150,000	0	150,000			R7.1.10		
21	59	赤レンガをいかす会	吉原 廣 高木 彬夫	9	赤レンガ保存活動2024	322,700	312,700	150,000	有				328,900	306,880	150,000	0	150,000			R7.3.14		
22	60	特定非営利活動法人アート・空の会	中村 哲夫	9	市川みんなのアート	145,400	123,480	61,740	有	軽微変更	イベント名称の変更・開催日の変更	他団体と混同しないため、参加者からの要望によるもの	170,318	116,726	61,740	3,377	58,363			R7.3.21		
23	66	サンシャインクラブ	大貫 和久	9	第44回サンシャインクラブ自然体験キャンプ	1,087,250	670,250	150,000	有				885,901	572,564	150,000	0	150,000			R7.2.28		
24	68	元気！市川会	田平 和精	9	千葉県の玄関口に相応しい、風格・賑わい・活気溢れる街づくり	552,000	310,000	150,000	有	全部中止			0	0	150,000	150,000	0			中止		
25	70	特定非営利活動法人いちかわ市民文化ネットワーク	吉原 廣	9	チャレンジド・ミュージカル劇団JAMBO！創立10周年記念公演	1,621,000	300,000	150,000	有	軽微変更	会場・日程変更	申請後に予約決定したことによるもの	1,404,465	300,000	150,000	0	150,000			R7.2.27		
26	73	いちかわ歩こう会	川田 友行	9	健康づくりのための"ウォーキング実践"	300,000	300,000	150,000	有				429,148	300,000	150,000	0	150,000			R7.3.31		
27	75	特定非営利活動法人市川市ユネスコ協会	吉岡 昭一	9	ユネスコ市民公開講座	50,000	48,440	24,220	有				52,104	48,440	24,220	0	24,220			R7.3.11		
28	81	特定非営利活動法人市川子ども文化ステーション	加藤 香都代	9	子どもがつくるまち「ミニ☆いちかわ2024」	1,528,000	815,000	150,000	有				1,545,000	768,000	150,000	0	150,000			R6.12.26		
29	85	行徳芝桜の会	武田 紀昭	9	芝桜花壇とバラ花壇の再生、維持管理事業	200,000	200,000	100,000	有				227,968	200,000	100,000	0	100,000			R7.2.24		
30	86	戦争はいやだ！市民の会	菊池 嘉久 塩川 希代子	9	戦争はいやだ！いのち・人権こそ！	131,800	131,800	65,900	有				94,296	93,281	65,900	19,260	46,640			R7.2.19		
31	91	ASB	岩崎 仁士	8	家族向け野外活動や伝承遊びの普及事業	58,710	58,710	29,355	有				83,217	57,910	29,355	400	28,955			R7.3.31		
32	92	市川でよい芝居をみる会	松藤 恒夫	4	第24回公演「行きたい場所をどうぞ」（青年劇場）演劇鑑賞会	1,340,000	820,000	150,000	有				1,207,416	807,650	150,000	0	150,000			R6.12.30		
33	100	Q P杯少年野球リーグ	瀧寄 一雄	6	小学生の健全育成を図る野球大会の開催事業	500,000	325,000	150,000	有				510,229	302,045	150,000	0	150,000			R7.3.31		
34	104	おはなし大好き！市川の会	加形 ふみ子	4	第5回いちかわおはなしフェスティバル	451,100	399,100	150,000	有				429,787	349,445	150,000	0	150,000			R6.12.11		
35	107	実践人市川読書会	宇野友章	2	実践人市川読書会 講演会&上映会	430,000	400,000	200,000	有				267,890	228,820	200,000	85,590	114,410			R6.6.3		
36	111	市川わんぱく広場実行委員会	安田 知佐子	3	一日プレーパーク「わんぱく広場」	296,300	204,300	102,150	有				308,036	204,300	102,150	0	102,150			R7.3.5		
37	113	ふくろう画廊	田邊 保徳	3	いちかわのほほん古本市	479,500	357,500	178,750	有				508,708	357,500	178,750	0	178,750			R6.11.18		
38	114	中津攸子の文学展望の会	青沼 知子	2	第3回中津攸子の歴史講演会【徳川家康】	174,000	95,000	47,500	有				177,886	88,760	47,500	3,120	44,380			R7.1.14		
39	115	特定非営利活動法人ケアラー健康協会	小菅 亨	2	ケアラー健康セミナー（シニア世代向け）	86,000	86,000	43,000	有				80,270	79,250	43,000	3,375	39,625			R6.5.29		
40	116	行徳郷土文化懇話会	田中 愛子	2	行徳の歴史の伝承と次世代への継承	208,870	118,370	59,185	有				212,419	97,424	59,185	10,473	48,712			R7.3.23		
41	117	いちかわみんなのほけんしつ実行委員会	藤井 和世	2	いちかわみんなのほけんしつ・暮らしの保健室開催事業	738,596	485,276	242,638	有				657,903	411,203	242,638	37,037	205,601			R7.3.31		
42	118	オレンジスマイルいちかわ実行委員会	桜井 健司	2	オレンジスマイルいちかわ2024	697,000	364,000	182,000	有				787,909	177,056	182,000	93,472	88,528			R7.3.10		
43	119	本八幡子どもミュージカル	奥村 健一	2	本八幡子どもミュージカル 令和7年3月公演	4,187,000	733,900	300,000	有	全部中止			0	0	300,000	300,000	0			中止		
44	120	市川ウインドオーケストラ	福留 理紗	1	吹奏楽演奏会の開催による「心豊かで多様性のある社会の形成」推進事業	1,010,910	790,900	300,000	有	軽微変更	代表者の変更	婚姻による姓の変更	973,839	790,900	300,000	0	300,000			R7.2.28		

団体数 44

25,685,748 15,240,268 5,705,314

19,780,458 12,277,966 5,555,314 1,019,146 4,686,168

1,873,600